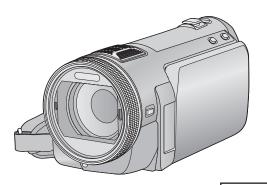
Panasonic®

取扱説明書

デジタルハイビジョンビデオカメラ

品番 HDC-TM750

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（128 ～ 134 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

英語のクイックリファレンスガイドを 144 ～ 146 ページに記載しております。
どうぞご利用ください。
The English Quick Reference Guide is indicated on P144 to 146. Refer to the pages if you prefer English.

HDMI

LEICA
DICOMAR

VQT2W48

デジタルハイビジョン
ビデオカメラで

カンタンに撮る/再生する 基本

おまかせ iA…P27、28

撮りたいものにカメラを向けるだけで
カメラがシーンを自動で認識して、
最適な設定で撮影できます。

ビデオを撮る…P24

写真を撮る…P25、26

ビデオ/写真を再生する…P29、30

3Dで撮る※1/再生する※2 応用

3D映像を撮る…P90～92

3D映像を再生する…P93、94

3D映像を残す…P95、96

※1. 3DコンバージョンレンズVW-CLT1(別売)が必要です。
※2. 3D映像を見るには3D対応テレビが必要です。

ベンリな機能を使う　応用

ネットで使い方ガイド

本機とインターネットに接続したビエラをHDMIミニケーブル（別売）で接続し、ビエラのリモコンのメニューボタンを押したときに表示されるメニューから「ネットで使い方ガイド」を選ぶと、本機の使いかたや便利な機能などをビエラの画面でわかりやすく教えてくれます。

●対応機種は2009年2月以降に発売されたビエラです。
●本機とビエラをHDMIミニケーブルで接続するには88ページをお読みください。

撮った映像を残す　コピー/ダビング

ハイビジョン画質 で撮った映像を保存して、大切な思い出をきれいな映像で残しておきましょう。

従来の標準画質 で保存すると、ハイビジョン（AVCHD）対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などにおすすめです。

ハイビジョン画質

ハイビジョン画質　従来の標準画質

ハイビジョン画質

従来の標準画質

ハイビジョン画質　従来の標準画質

もくじ

はじめに

使う前に

準備する

基本

撮る / 再生する

設定する

応用

撮る（応用）

再生する（応用）

編集する

応用（つづき）

テレビで見る

3D 映像を楽しむ

コピー/ダビング

本機 / 他の機器で

パソコンで使う

使う前に

準備する

パソコンで使う

大事なお知らせなど

画面表示

付属品

以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2010 年 7 月現在のものです。

□ バッテリーパック VW-VBG130	□ AV マルチケーブル K1HY12YY0005
□ AC アダプター VSK0696	□ USB 接続ケーブル K1HY04YY0032
□ 電源コード K2CA2CA00024	□ タッチペン VGQ0C14
□ DC コード K2GJYDC00004	□ レンズフード VDW2053
□ ワイヤレスリモコン （電池内蔵） N2QAEC000024	□ シューアダプター VYC0996
□ CD-ROM （パソコン専用）	

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

CLUB Panasonic

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。

http://p-mp.jp/cpm

必ずお読みください

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影のときには、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません

本機および SD カードや内蔵メモリーの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、本機を修理した場合においても同様です。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

■ 本書での記載について

以下のように記載しています。

- バッテリーパック→「バッテリー」
- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード→「SD カード」
- ビデオ撮影 / ビデオ再生で使える機能→ **ビデオ**
  写真撮影（ビデオ撮影モードでの写真撮影を含む）/ 写真再生で使える機能→ **写真**
- 参照いただくページ→ P00

■ 内蔵メモリーの取り扱い

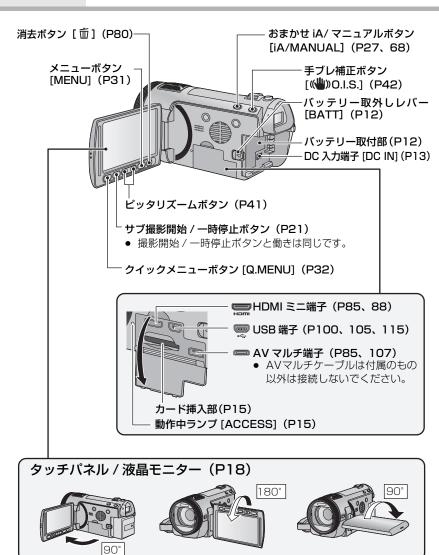
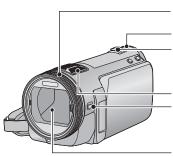
本機は 96 GB のメモリーを内蔵しています。ご使用の際は、以下の点に十分お気をつけください。

定期的に保存（バックアップ）をする

内蔵メモリー は一時的な保管場所です。静電気や電磁波、破損、故障などで大切なデータが消失しないよう、パソコンや DVD ディスクなどにコピーしてください。(P99、108)

- 内蔵メモリー、カードアクセス（認識、記録、再生、消去など）中に動作中ランプ [ACCESS]（P8）が点灯します。点灯中に下記の動作を行わないでください。内蔵メモリーが破損したり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
  - 電源を切る（バッテリーを外す）
  - USB 接続ケーブルを抜き差しする
  - 振動や衝撃を与える
- 本機の廃棄 / 譲渡につきましては 136 ページをご参照ください。

各部の名前

消去ボタン［ ］（P80）
メニューボタン
[MENU]（P31）
おまかせ iA/ マニュアルボタン
[iA/MANUAL]（P27、68）
手ブレ補正ボタン
[( )O.I.S.]（P42）
バッテリー取外しレバー
[BATT]（P12）
バッテリー取付部（P12）
DC 入力端子 [DC IN]（P13）
ピッタリズームボタン（P41）
サブ撮影開始 / 一時停止ボタン（P21）
● 撮影開始 / 一時停止ボタンと働きは同じです。
クイックメニューボタン [Q.MENU]（P32）
HDMI ミニ端子（P85、88）
USB 端子（P100、105、115）
AV マルチ端子（P85、107）
● AVマルチケーブルは付属のもの以外は接続しないでください。
カード挿入部（P15）
動作中ランプ [ACCESS]（P15）
タッチパネル / 液晶モニター（P18）
90°
180°
90°

マルチマニュアルリング（P68、71）

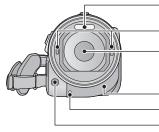
フォトショットボタン［ ］（P25）

撮影時：ズームレバー［W/T］（P41）
再生時：ボリュームレバー［−VOL+］（P30）
サムネイル表示切り換え［ / ］（P30）

内蔵マイク

カメラファンクションボタン
[CAMERA FUNCTION]（P68）

レンズカバー

● ビデオ撮影モードまたは 写真撮影モードにすると開きます。（P17）

フラッシュ（P48）

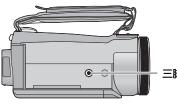
3D コンバージョンレンズ取付部（P90）

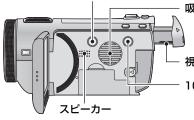
レンズ（LEICA DICOMAR）

● 付属のレンズフードの取り付けについては22 ページを参照してください。

リモコン受信部（P40）

撮影ランプ（P35）

AF 補助光ランプ（P67）

三脚取付穴

電源ボタン［⏻/I］（P16）

吸気口（冷却用ファン）（P21）

視度調整ダイヤル（P19）

1080/60p ボタン（P45）

スピーカー

付属のシューアダプターをお使いください。

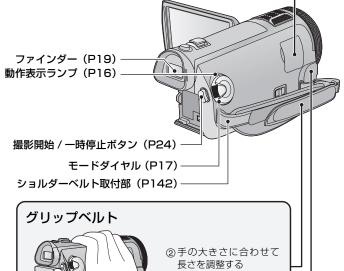
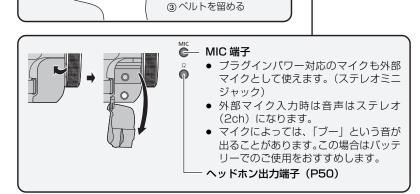
グリップベルト

②手の大きさに合わせて長さを調整する

①ベルトをめくる
③ベルトを留める

MIC 端子

- プラグインパワー対応のマイクも外部マイクとして使えます。（ステレオミニジャック）
- 外部マイク入力時は音声はステレオ（2ch）になります。
- マイクによっては、「ブー」という音が出ることがあります。この場合はバッテリーでのご使用をおすすめします。

ヘッドホン出力端子（P50）

電源の準備

本機で使えるバッテリー（2010 年 7 月現在）

本機で使えるバッテリーは **VW-VBG130/VW-VBG260/VW-VBG6** です。

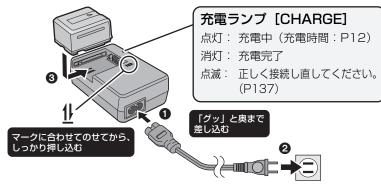
- 本機には、使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー（**VW-VBG130/VW-VBG260/VW-VBG6**）は、この機能に対応しています。（この機能に対応していない従来のバッテリーは使用できません）（P137）
- **VW-VBG6** を使うには、バッテリーパックホルダーキット **VW-VH04**（別売）が必要です。

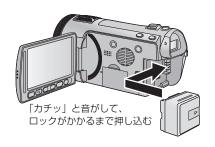
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

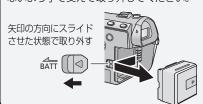
バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

- DC コードは AC アダプターから抜いておいてください。DC コードがつながっていると、バッテリーの充電はできません。

AC アダプターに電源コードをつないで、バッテリーを取り付ける

バッテリーを付ける / 外す

バッテリーを図の向きに取り付ける

バッテリーを外すには

必ず動作表示ランプが消灯するまで、電源ボタンを押し続けて電源を切り、落下させないよう手で支えて取り外してください。

充電時間と撮影可能時間のめやす

■ 充電時間 / 撮影可能時間（温度 25 ℃ / 湿度 60%RH）

バッテリー品番 [電圧 / 容量（最小）]	充電時間	記録モード	連続撮影 可能時間	実撮影 可能時間
付属バッテリー / VW-VBG130（別売） [7.2 V/1250 mAh]	約 2 時間 35 分	1080/60p	約 1 時間 35 分	約 55 分
		HA、HG、 HX、HE	約 1 時間 40 分	約 1 時間
VW-VBG260（別売） [7.2 V/2500 mAh]	約 4 時間 40 分	1080/60p	約 3 時間	約 1 時間 50 分
		HA、HG、 HX、HE	約 3 時間 10 分	約 1 時間 55 分
VW-VBG6 ※（別売） [7.2 V/5400 mAh]	約 9 時間 25 分	1080/60p	約 7 時間 30 分	約 4 時間 40 分
		HA、HG、 HX	約 7 時間 50 分	約 4 時間 50 分
		HE	約 7 時間 55 分	約 4 時間 55 分

※ バッテリーパックホルダーキット VW-VH04（別売）が必要です。

● **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。高温 / 低温時など、使用状況によって充電時間、撮影可能時間は変わります。**

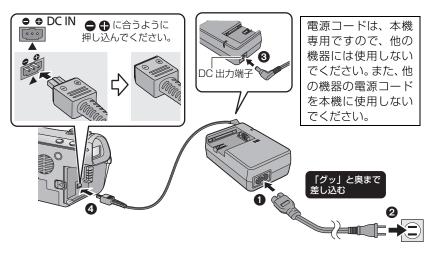
お知らせ

- 実撮影可能時間とは、撮影 / 停止、電源の入 / 切、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなりますが、異常ではありません。
- 海外でお使いになる場合は 143 ページをご覧ください。

バッテリー残量表示について

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、[battery icons]→→→→と表示が変わります。3 分以下になるとが赤色になり、容量がなくなるとが点滅します。
- パナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量時間が表示されます。
バッテリー残量時間は使用状況によって変わります。
- 残量時間が9時間59分を超える場合、表示が緑色になり9時間59分未満になるまで変わりません。
- AC アダプターや他社製バッテリー使用時は、バッテリー残量時間は表示されません。

電源コンセントにつないで使う

- **AC アダプターは、付属の AC アダプターまたは VW-AD21-K(別売)をお使いください。他の機器の AC アダプターは使用しないでください。**

1 電源コードを AC アダプターにつなぐ

- ❶❷ の順に差し込んでください。

2 DC コードを AC アダプターの DC 出力端子に差し込む

3 DC 入力端子 [DC IN] に DC コードをつなぐ

お知らせ

- AC アダプターを外すときは、必ず動作表示ランプが消灯するまで、電源ボタンを押し続けて電源を切り、外してください。

カードに記録するには

本機は SD カードまたは内蔵メモリーにビデオや写真を記録することができます。
SD カードに記録したい場合は下記をお読みください。

本機は SDXC 対応機器（SD メモリーカード /SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカードに対応した機器）です。SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカードを他の機器で使う場合は、各メモリーカードに対応しているか確認してください。

本機で使えるカード（2010 年 7 月現在）

ビデオ撮影時は、SD スピードクラス※が 4 以上の SD カードをお使いください。

カードの種類	記録容量	ビデオ撮影	写真撮影
SD メモリーカード	8 MB/16 MB/32 MB	使用できません。	使用できます。
SD メモリーカード	64 MB/128 MB/256 MB	動作保証しておりません。	使用できます。
SD メモリーカード	512 MB/1 GB/2 GB まで	使用できます。	使用できます。
SDHC メモリーカード	4 GB/6 GB/8 GB/12 GB/16 GB/24 GB/32 GB まで	使用できます。	使用できます。
SDXC メモリーカード	48 GB/64 GB	使用できます。	使用できます。

※ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

使用可能な当社製 SD メモリーカード /SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカードについての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/video/connect/

- SDHCロゴのない4 GB以上のメモリーカードやSDXCロゴのない48 GB以上のメモリーカードは、SD 規格に準拠していないため使用できません。
- SD カードの書き込み禁止スイッチを図のように「LOCK」側にすると、書き込みやデータの消去、フォーマットができなくなります。戻すと可能になります。

SD カードを入れる / 出す

当社製以外の SD カードや他の機器でお使いになった SD カードを本機ではじめてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。（P37）フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。

動作中ランプの消灯を確認してください。

動作中ランプ［ACCESS］
- 内蔵メモリーやカードアクセス（認識、記録、再生、消去など）中に点灯します。

ラベル面

1 液晶モニターを開ける

2 カード/端子カバーを開いて、カード挿入部にSDカードを入れる（出す）

- 入れるときはラベル面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む。
- 出すときは、SD カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜く。

3 カード / 端子カバーを閉じる

- 「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。

お知らせ

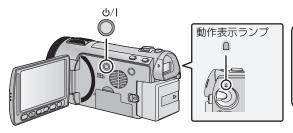
- SD カードの裏の接続端子部分に触れないでください。
- SD カードの取り扱いについて詳しくは 138 ページをご覧ください。

準備する

3 電源を入れる / 切る

電源ボタン、液晶モニターまたはファインダーを使って電源を入 / 切できます。

電源ボタンで電源を入れる / 切る

電源ボタンを押して、電源を入れる

【電源を切るには】
動作表示ランプが消灯するまで、電源ボタンを押し続けてください。

動作表示ランプが点灯します。

液晶モニター / ファインダーで電源を入れる / 切る

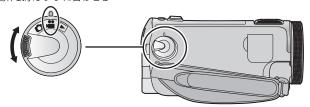
液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出すと電源が入り、閉じると電源が切れます。
通常ご使用の際は、液晶モニターまたはファインダーで電源を入 / 切すると便利です。

入 :　　**切 :**

- 液晶モニターとファインダーの両方を閉じないと電源は切れません。
- ビデオ撮影中は、液晶モニターとファインダーを閉じても電源は切れません。
- 以下の場合は、液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出しても電源は入りません。電源ボタンを押して、電源を入れてください。
  – お買い上げ時
  – 電源ボタンで電源を切った場合

モードを選ぶ

モードダイヤルを回して、撮影・再生を切り換えます。

モードダイヤルを 🎥、📷または ▶ に合わせる

🎥	**ビデオ撮影モード（P24）**	ビデオを記録します。
📷	**写真撮影モード（P25）**	写真を記録します。
▶	**再生モード（P29、72）**	ビデオや写真を再生します。

液晶モニター/ファインダーを調整する

タッチパネルの使いかた

指で液晶モニター（タッチパネル）を直接タッチして操作します。
指で操作しにくい場合や細かな作業には、タッチペン（付属）が便利です。

■ タッチする

タッチパネルを押して離す動作で選択します。

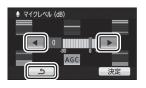
- アイコンの中央部をタッチしてください。
- タッチパネルに触れている状態で、他の個所をタッチしても動作しません。

■ ドラッグする

タッチパネルを押したまま動かす動作です。
ダイレクト再生時と再生ズーム時に使います。

■ よく使うアイコンについて

▲/▼/◀/▶：
メニューやサムネイル表示でページを切り換えたり、設定するときにタッチします。

⮌：
メニュー設定時など、前の画面に戻るときにタッチします。

お知らせ

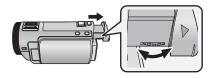
- ボールペンなど、先のとがった硬いものでタッチしないでください。
- タッチしても認識されない場合や異なるところが認識される場合は、「タッチパネル調整」をしてください。（P38）

ファインダーの調整

■ 視度調整

ファインダーの画像がよく見えるように調整します。

視度調整ダイヤルを動かして調整する

- ファインダーを引き出し、液晶モニターを閉じて、ファインダーを点灯させてください。

撮影する相手に内容を見せながら撮影する（対面撮影）

● モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

ファインダーを引き出し、液晶モニターをレンズ側に回転させる

- 対面撮影時は、ファインダーを引き出すと液晶モニターとファインダーが同時に点灯します。
- 液晶モニターに映る映像が鏡のように左右反転しますが、記録される映像は通常どおりです。
- 対面撮影時は、ファインダーで映像を見ながら撮影してください。

お知らせ

- 画面表示は一部だけになります。[!] が表示されたときは、液晶モニターを元に戻して、メッセージ表示を確認してください。（P122）

時計を設定する

電源を入れたとき、「時計を設定してください。」というメッセージが表示される場合があります。「はい」を選んで、下記手順2からの操作で時計設定をしてください。

● モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせせる

1 メニュー設定する

MENU :「セットアップ」→「時計設定」

2 合わせる項目(年/月/日/時/分)をタッチし、▲/▼で数字を合わせる

ワールドタイム設定表示（P33）:
🏠（ホーム）/ ✈（旅行先）

- 2000 年から 2039 年まで設定できます。
- 時間は 24 時間表示です。

3「決定」をタッチする

- 決定すると秒が 0 から始まります。
- ワールドタイム設定を促すメッセージが表示されることがあります。画面をタッチして、ワールドタイム設定をしてください。(P33)
- 「終了」をタッチする、またはメニューボタンを押して設定を終了します。

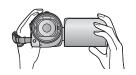
お知らせ

- 出荷時は時計設定されています。時刻表示が「−−」のときは、内蔵日付用電池が消耗しています。内蔵日付用電池を充電するには、本機に AC アダプターをつなぐかバッテリーを取り付けてください。約 24 時間そのままにしておくと、約 6ヵ月間時計設定を記憶します。(電源を切った状態でも充電しています)

撮影前の確認

■ 基本的な構えかた

両手でしっかりと持つ

グリップベルトに手をとおす

腰のあたりで構えるときは
サブ撮影開始 / 一時停止
ボタンを使うと便利です

- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突する恐れがある場所では周囲に十分お気をつけください。
- 屋外では、なるべく太陽を背にして撮影してください。逆光では被写体が暗く撮影されます。
- わきをしめ、足を少し開き、体が安定した状態で構えてください。
- マイク部や冷却用ファンの吸気口を手などでふさがないでください。

■ 基本的なビデオ撮影のしかた

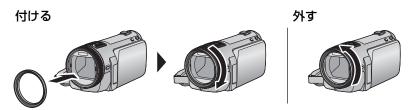
- 本機を固定して撮影するのが基本です。
- 本機を動かして撮影する場合は、ゆっくりと一定の速さで動かします。
- ズーム操作は近くで撮影できない被写体を撮影するときに便利ですが、ズームイン / ズームアウトを多く使いすぎると、見づらい映像になる場合があります。

■ 撮影場面に合わせた設定例

大切な撮影の前には、どの設定でどのように撮れるか、ためしておきましょう。
以下の設定は目安です。

体育館	白バランス（P69）→ （屋内 2）または （セットモード）
披露宴 / 舞台 / 発表会など	おまかせ iA ● おまかせ iA モードで白バランス調整が正しく働かない場合は、白バランスを場面ごとに設定してください。
動きの速いシーン（ゴルフのフォームなど）	シーンモード（P51）→ （スポーツ） 白バランス（P69）→オート フォーカス（P71）→マニュアル
打ち上げ花火	シーンモード（P51）→ （花火）
運動会	白バランス（P69）→オート

■ レンズフードを付ける / 外す

日差しの強い中や逆光時などにレンズに入る余分な光を軽減し、よりきれいに撮影できます。

- フィルターキット（別売）やコンバージョンレンズ（別売）、3D コンバージョンレンズ（別売）をお使いの場合は、レンズフードを外してお使いください。

記録するメディアを選ぶ

ビデオを記録するメディアと写真を記録するメディアを、それぞれカードまたは内蔵メモリーに設定できます。

1 モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

2 メニュー設定する

MENU :「メディア選択」

3 ビデオを記録するメディアと写真を記録するメディアをタッチする

- ビデオと写真それぞれに設定したメディアが黄色の枠で囲まれます。

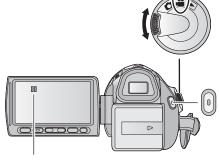
4「決定」をタッチする

3 ビデオを撮る ビデオ

1 モードダイヤルを 🎥 に合わせる

2 液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出す

3 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して撮影を始める

4 撮影開始/一時停止ボタンをもう一度押して撮影を停止する

撮影を開始すると ❚❚ が ● に変わります。

お知らせ

- **ビデオ撮影中に写真を記録することもできます。（P26）**
- 撮影を開始してから停止するまでが 1 シーンとして記録されます。
- （SD カード 1 枚、または内蔵メモリーの最大記録数）
  シーンの最大記録数：約 3900
  日付別の最大記録数：約 200（P75）
- 撮影中に液晶モニターとファインダーを閉じても撮影は続きます。
- 外部マイクの端子を MIC 端子に抜き差しする場合は、一時停止状態で行ってください。

■ 撮影時の画面表示について

HX1920 ： **記録モード**
残 1 時間 20 分 ： 残り記録可能時間のめやす
（1 分未満になると赤色点滅します）
0h00m00s ： 撮影の経過時間
（h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です）
撮影の一時停止ごとに 0h00m00s に戻ります。

撮影したビデオの互換性について

1080/60p については 45 ページをお読みください。

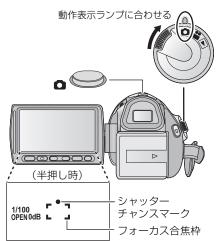
- AVCHD 対応機器以外とは互換性がありません。AVCHD に対応していない機器（従来の DVD レコーダーなど）では再生できませんので、お使いの機器の説明書で対応を確認してください。
- AVCHD 対応機器であっても再生できない場合があります。この場合は、本機で再生してください。

写真を撮る 写真

1 モードダイヤルを に合わせる

2 液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出す

3 （オートフォーカス時のみ）フォトショットボタンを半押しする

4 全押しする

シャッターチャンスマーク

○（白点滅）：ピント合わせ中
●（緑点灯）：ピントが合ったとき
マークなし ：ピントが合わなかったとき

お知らせ

- 手ブレ補正（P42）を 1（MODE1）に設定していると、フォトショットボタンの半押し時に、MEGA（MEGA OIS）が表示され手ブレ補正の効果が高くなります。
- 暗い場所では AF 補助光が光ります。
- 「個人認証」を「入」にしたときは、シャッターチャンスマークが登録したフォーカスアイコンになります。（P56）
- 暗い場所ではシャッター速度が遅くなりますので、三脚やフラッシュの使用をおすすめします。
- シャッター速度が 1/30 以下のときは、半押し時に画面が暗くなります。
- 写真をプリントする場合は SD カードに写真を保存し（P97）、パソコンやプリンターを使って印刷してください。

■ 写真撮影時の画面表示について

📷	：写真動作表示（P121）
ϟ	：フラッシュ（P48）
ϟ－	：フラッシュ明るさ（P48）
◎	：赤目軽減（P49）
MEGA	：MEGA OIS（P25）
(手)1	：手ブレ補正（P42）
(クオリティ)	：クオリティ（P65）
14.2M	：記録画素数（P64）
残 3000	：残り記録可能枚数（「0」になると赤色点滅します）
AF*	：AF 補助光（P67）

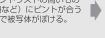
■ シャッターチャンスマークについて

- マニュアルフォーカス時は、シャッターチャンスマークは出ません。
- 以下のような場合は、シャッターチャンスマークが表示されない、または表示されにくくなります。
  - 遠近が共存している場面
  - 低照度で暗い場面
  - 明るい部分が入っている場面
  - 横線しかない場面

■ フォーカス合焦枠について

ピントが合わない（合焦しない）場合は、合焦枠を以下のようにしてください。

フォーカス合焦枠

コントラストの高いもの（柵など）にピントが合うので被写体がぼける。

フォーカス合焦枠から外すとピントが合います。

少し画面をずらす。

または

少しズームインするまたは被写体に近づく。

- 以下の場合はフォーカス合焦枠は表示されません。
  - おまかせ iA（人物）モード時
  - 追っかけフォーカス時
  - EX 光学ズーム使用時
  - AF 補助光の発光が必要と判断されたとき

ビデオ撮影モードでの写真撮影について

ビデオ撮影モード時でも写真を記録することができます。

● **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

フォトショットボタンを全押し（下まで押す）して撮影する

- ビデオ撮影中でも写真を記録することができます。（同時記録）
- 写真記録中に、残り記録可能枚数が表示されます。

お知らせ

- フラッシュ、赤目軽減、セルフタイマー（P49）は働きません。
- ビデオ撮影中の同時記録や PRE-REC 中は、ビデオ撮影を優先するため、通常の写真撮影時と画質が異なります。
- ビデオ撮影中に同時記録をすると、ビデオ撮影の残り記録可能時間が短くなります。電源を切るかモードダイヤルを切り換えると、残り記録可能時間が長くなる場合があります。

おまかせ iA ビデオ 写真

撮りたいものに本機を向けるだけで、撮影状況に適した以下のモードになります。

おまかせ iA/ マニュアルボタン
ボタンを押して、おまかせ iA モードとマニュアルモードを切り換えます。

- マニュアルモードについては68 ページをお読みください。

モード		場面	効果
	人物	被写体が人物の場面	顔を検出し、自動でピントを合わせ、きれいに映るように明るさを調整します。
	風景	屋外での撮影時に	背景の空が白とびする場面でも、白とびをさせず風景全体を鮮やかに撮影できます。
※ 1	スポットライト	スポットライトがあたる場面など	極端に明るい被写体をきれいに撮影できます。
※ 1	ローライト	薄暗い部屋、夕暮れ時など	薄暗い屋内や夕暮れ時でもきれいに撮影できます。
※ 2	夜景 & 人物	夜の人物撮影時に	人物とともに背景も見た目に近い明るさで撮影できます。
※ 2	夜景	夜景での撮影時に	シャッタースピードを遅くすることにより、夜景を鮮やかに撮影できます。
※ 2	マクロ	花などをアップで撮影する場面に	被写体に近づいて撮影できます。
※ 1 ※ 2	ノーマル	その他の場面	コントラストを調整し、きれいな映像にします。

※ 1. ビデオ撮影モード時のみのモード
※ 2. 写真撮影モード時のみのモード

お知らせ

- 撮影状況によっては、希望のモードにならない場合があります。
- 人物 / スポットライト / ローライトモード時は、より大きく画面の中心に近い顔が、オレンジ色の枠で囲まれます。(P57)
- 夜景 & 人物 / 夜景モード時は、三脚の使用をおすすめします。
- 顔の大きさや傾きまたはデジタルズーム使用時など、撮影状況によっては顔が検出できないことがあります。
- おまかせ iA モード時は、「マイク設定」は「サラウンド」になります。(P60)

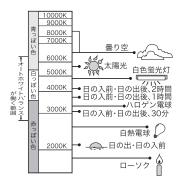
■ おまかせ iA について

おまかせ iA モード時は、オートホワイトバランスとオートフォーカスが働き、自動で色合い（白バランス）やピント（フォーカス）を合わせます。また、絞りとシャッター速度で明るさを自動的に調整します。

- 光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動で合いません。このような場合は、手動（マニュアル）で調整してください。（P69、71）

オートホワイトバランスについて

オートホワイトバランスが働く範囲は図のとおりです。

オートホワイトバランスが正常に働かない 場合は、手動で白バランスを調整してください。（P69）

オートフォーカスについて

自動的にピントを合わせます。

- 次のようなシーンでは、オートフォーカスが正しく働きません。マニュアルフォーカスでの撮影をおすすめします。（P71）
  – 遠くと近くのものを同時に撮る
  – 汚れたガラスの向こう側のものを撮る
  – キラキラと光るものが周りにある

ビデオ/写真を再生する ビデオ 写真

動作表示ランプに合わせる

プレイモード選択アイコン

サムネイル表示
（SD カードにビデオ撮影をした場合の画面です）

1 モードダイヤルを ▶ に合わせる

2 プレイモード選択アイコンをタッチする

3 再生したいメディアとビデオ / 写真をタッチする

- 「決定」をタッチしてください。

4 再生するシーンまたは写真をタッチする

- 手順３でビデオ（1080/60p）をタッチした場合は 1080/60p が、ビデオ（AVCHD）をタッチした場合は AVCHD が表示されます。
- ▲/▼をタッチすると、次の（前の）ページが表示されます。

5 操作アイコンをタッチして再生操作する

操作アイコン

- F / F をタッチすると操作アイコンが表示/非表示されます。

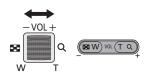
ビデオ再生		写真再生	
▶/❚❚	再生 / 一時停止	▶/❚❚	スライドショーの開始 / 一時停止
◀◀	早戻し再生	◀❚❚	前の写真を再生
▶▶	早送り再生	❚❚▶	次の写真を再生
■	停止してサムネイル表示に戻る	■	停止してサムネイル表示に戻る
▶	ダイレクト再生バーを表示 (P72)		

■ サムネイル表示の切り換え

サムネイル表示時に、ズームレバーまたはピッタリズームボタンを 側、 側に操作すると、サムネイル表示が以下の順で切り換わります。

20 シーン ⟷ 9 シーン ⟷ 1 シーン ⟷ ハイライト & 時間検索※（P73）

※ ハイライト & 時間検索はビデオ再生時のみとなります。

- 電源を切るかモードダイヤルを切り換えると 9 シーン表示に戻ります。
- ビデオ再生時は 1 シーン表示に切り換えると、撮影日と記録時間を、写真再生時は 1 枚表示に切り換えると、撮影日とファイル番号を確認できます。

■ 音量調整

ビデオ再生時のスピーカー/ヘッドホン音量を調整するには、ボリュームレバーまたはピッタリズームボタンを操作してください。

＋側　：音量を上げる

－側　：音量を下げる

お知らせ

- 通常のビデオ再生以外では音声は出ません。
- ビデオ再生の一時停止を 5 分続けると、サムネイル表示に戻ります。
- ビデオ再生の経過時間表示は、シーンごとに 0h00m00s に戻ります。

ビデオの互換性について

1080/60p については 45 ページをお読みください。

- 本機は AVCHD 規格に準拠しています。
- 本機で再生できるビデオ信号は 1920×1080/60i、1920×1080/24p、または 1440×1080/60i です。
- AVCHD 対応の機器でも、他の機器で記録したビデオの本機での再生、本機で記録したビデオの他の機器での再生は、正常に再生されなかったり、再生できない場合があります。

写真の互換性について

- 本機は社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できる写真のファイル形式はJPEGです。（JPEG形式でも再生できないものもあります）
- 他の機器で記録/作成した写真の本機での再生、本機で記録した写真の他の機器での再生は、正常に再生されなかったり、再生できない場合があります。

メニュー設定する

1 メニューボタンを押す (MENU)

2 トップメニューをタッチする

3 サブメニューをタッチする

● [▲]/[▼]をタッチすると、次の（前の）ページが表示できます。

4 項目をタッチして設定する

5 「終了」をタッチする、または メニューボタンを押して メニュー設定を終了する

■ [ガイド] ガイド表示について

[ガイド]をタッチしてからサブメニューや項目をタッチすると、機能の説明と設定確認のメッセージが表示されます。

● メッセージ表示後、ガイド表示設定は解除されます。

クイックメニューを使う

一部のメニューをすばやく設定することができます。

1 クイックメニューボタンを押す

以下のメニューが設定できます。希望のメニューをタッチしてください。

- モードダイヤルの位置や設定によって、表示される項目は変わります。

アイコン	機能	ページ
HX 1920	記録モード	P52
OFF	インターバル記録	P53
14.2M / 13.3M	写真の記録画素数	P64
ON	画面表示	P33
A	パワー LCD	P36
OFF	撮影ガイドライン	P50
AUTO	マイクレベル	P61
ON	MF アシスト	P71
OFF	ゼブラ	P62
MNL	輝度表示	P63
MNL	ヒストグラム表示	P63

2 項目をタッチして設定する

3 「終了」をタッチする、またはクイックメニューボタンを押してクイックメニューを終了する

セットアップメニューを使う

● **モードダイヤルの位置や設定により、表示されるメニュー項目は変わります。**

メニュー設定する

MENU :「セットアップ」→希望のメニュー項目

画面表示

「切」/「入」

画面の表示を「切」(一部の情報を表示)、または「入」(すべての情報を表示)に切り換えられます。

● クイックメニューで設定することもできます。(P32)

時計設定

20 ページをお読みください。

ワールドタイム設定

お住まいの地域と旅行先を選び、旅行先の時刻を表示、記録することができます。

1)「ワールドタイム設定」をタッチする

● 時計設定がされていない場合は、まず現在の時刻に合わせてから行ってください。
● 「ホーム」(お住まいの地域)が設定されていない場合、メッセージが表示されます。「決定」をタッチして、手順 3 に進んでください。

2) (お住まいの地域を設定する場合のみ)
「ホーム」をタッチする

● 「決定」をタッチしてください。

3) (お住まいの地域を設定する場合のみ)
◀/▶をタッチしてお住まいの地域を選択し、「決定」をタッチする

● サマータイム(夏時間)にするには、「サマータイム設定」をタッチしてください。☼◷ が表示されサマータイム設定になり、GMT(グリニッジ標準時)との時差が 1 時間進みます。もう一度タッチすると元に戻ります。

現在の時刻

GMT(グリニッジ標準時)との時差

4) (旅行先の地域を設定する場合のみ)
「旅行先」をタッチする

● 「決定」をタッチしてください。
● はじめてホームを設定した場合のみ、続けてホーム/旅行先の選択画面が表示されます。すでにホームを設定している場合は、手順 1 のメニュー設定を行ってください。

5)（旅行先の地域を設定する場合のみ）

◀/▶をタッチして旅行先の地域を選択し、「決定」をタッチする

- サマータイム（夏時間）にするには、「サマータイム設定」をタッチしてください。☼◷ が表示されサマータイム設定になりホームとの時差と旅行先の時刻が 1 時間進みます。もう一度タッチすると元に戻ります。
- メニューボタンを押して設定を終了してください。✈ が画面に表示され旅行先の時刻になります。

旅行先の時刻

ホームとの時差

【時刻表示をホームに戻すには】

手順 1 ～ 3 でホームを設定し、「終了」をタッチ、またはメニューボタンを押して設定を終了してください。

お知らせ

- 画面に表示される地域で旅行先が見つからない場合は、ホームからの時差を参考に設定してください。

日時表示　「切」/「日時」/「日付」

年月日・時刻の表示を切り換えられます。

- ワイヤレスリモコンの年月日 / 時刻ボタンでも切り換えられます。

表示スタイル　「年 / 月 / 日」/「月 / 日 / 年」/「日 / 月 / 年」

年月日の表示スタイルを切り換えられます。

エコモード　「切」/「5 分」

約 5 分間操作しなかった場合、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。

- 以下の場合は「エコモード」を「5 分」にしていても自動的に電源が切れません。
  - AC アダプター使用時
  - USB 接続ケーブル使用時
  - PRE-REC 中

クイックパワーオン　「切」/「入」

モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせた状態で電源を入れると、約 1 秒で撮影の一時停止状態になります。

お知らせ

- 撮影条件によっては起動時間が 1 秒より遅くなる場合があります。
- クイックパワーオンすると、ズーム倍率は約 1 倍の位置になります。

クイックスタート　「切」/「入」

液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出すと約 0.6 秒で撮影の一時停止状態になります。

- 「メディア選択」が「カード」で SD カードが入っていない場合は、クイックスタートは働きません。

● **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**

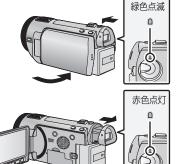
1)「クイックスタート」を「入」に設定する

2) モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせた状態で液晶モニターとファインダーを閉じる

クイックスタートの待機状態になります。

- レンズカバーは閉じません。

3) 液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出す

撮影の一時停止状態になります。

お知らせ

- **クイックスタートの待機状態では、撮影一時停止状態の約 8 割の電力を消費するため、撮影可能時間は短くなります。**
- 以下の場合には、クイックスタートの待機状態が解除され、電源が切れます。
  - 約 5 分経過する
  - モードダイヤルを ▶ に合わせる
- デジタルシネマ設定時は、クイックスタートする時間が 0.6 秒より遅くなります。
- 写真撮影モード時は、撮影条件によってはクイックスタートする時間が 0.6 秒より遅くなる場合があります。
- 白バランスが自動で調整されるまでに時間がかかることがあります。
- クイックスタートすると、ズーム倍率は約 1 倍の位置になります。
- エコモード（P34）が働いて、自動的にクイックスタートの待機状態になった場合は、液晶モニターとファインダーを閉じて、再度液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出してください。
- 電源を切る場合は、電源ボタンで電源を切ってください。
- リモコンではクイックスタートの待機状態を解除できません。

リモコン　「切」/「入」

39 ページをお読みください。

撮影ランプ　「切」/「入」

撮影ランプは、撮影中に点灯し、リモコン受信時やセルフタイマー動作時に点滅します。「切」にすると、撮影中にランプは点灯しません。

お知らせ音　「切」/ 小 / 大

タッチパネル操作時や、撮影の開始や停止、電源の入 / 切などを音で確認できます。
「切」にすると、撮影の開始 / 終了時などに音が鳴りません。

小（音量小）/ 大（音量大）

- エラーが起こったときは「ピピッ、ピピッ…（連続 4 回）」と鳴ります。画面に出るメッセージ表示（P122）の内容を確認してください。

パワー LCD　[+2] / [+1] / [0] / [-1] / [A]

屋外などの明るい場所でも液晶モニターを見やすくします。

- 実際に記録される映像には影響しません。
- クイックメニューで設定することもできます。（P32）

[+2]（さらに明るい）/ [+1]（明るい）/ [0]（標準）/ [-1]（暗い）/ [A] ※（自動調整）
※マニュアルモード時、または再生モード時は表示されません。

お知らせ

- AC アダプター使用時は、自動的に [+1] になります。
- 液晶モニターを明るくしているときは、撮影可能時間は短くなります。

液晶調整

液晶モニターの明るさや色の濃さを調整します。

- 実際に記録される映像には影響しません。

1）「液晶調整」をタッチする

2）設定する項目をタッチする

明るさ　：液晶モニターの明るさ
色レベル：液晶モニターの色の濃さ

3）◀/▶をタッチして調整する

4）「決定」をタッチする

- 「終了」をタッチ、またはメニューボタンを押して設定を終了します。

EVF 明るさ

ファインダーの明るさを調整します。

- 実際に記録される映像には影響しません。

1）ファインダーを引き出して、液晶モニターを開く

2）「EVF 明るさ」をタッチする

- ファインダーが点灯します。

3）◀/▶をタッチして調整する

- ファインダーで映像を見ながら調整してください。

4）「決定」をタッチする

- 「終了」をタッチ、またはメニューボタンを押して設定を終了します。

AV マルチ接続先　「D 端子」/「映像端子」

87 ページをお読みください。

コンポーネント出力　「D1」/「D3」

87 ページをお読みください。

HDMI 出力解像度　「オート」/「1080p」/「1080i」/「480p」

87 ページをお読みください。

ビエラリンク　「切」/「入」

88 ページをお読みください。

接続するテレビ　「ワイド」/「4:3」

86 ページをお読みください。

3D テレビ出力　「3D」/「2D」

93 ページをお読みください。

初期設定

メニューをお買い上げ時の設定に戻します。
- 「メディア選択」、「時計設定」、「LANGUAGE」の設定は変わりません。

フォーマット

フォーマットすると、すべてのデータは消去されます。大切なデータはパソコンやDVD ディスクなどに保存しておいてください。(P99、108)

1)「フォーマット」をタッチする

2)「カード」または「内蔵メモリー」をタッチする

- フォーマット完了後、「終了」をタッチしてメッセージ画面を閉じてください。
- 本機を廃棄 / 譲渡するときは、内蔵メモリーの物理フォーマットをしてください。(P136)

お知らせ

- フォーマット中は電源を切ったり、SD カードを抜かないでください。また、本機に振動や衝撃を与えないでください。

フォーマットは本機で行ってください。(パソコンなど他の機器ではフォーマットしないでください。本機で使用できなくなる場合があります。)

メディア情報表示

SD カードや内蔵メモリーの空き容量を確認できます。
（モードダイヤルが ▶ のときのみ）

- 「メディア切換」をタッチすると SD カードと内蔵メモリーの表示が切り換わります。
- 「終了」をタッチする、またはメニューボタンを押して終了してください。

お知らせ

- SDカードや内蔵メモリーは、ファイルシステムなどの管理情報を保存している領域があるため、実際に使える容量が少なくなります。本機やパソコン、一部のソフトウェアでは、表示される値は小さくなります。
- ビデオ撮影の残り記録可能時間は、ビデオ撮影モードでご確認ください。（P24）

タッチパネル調整

タッチしたものと違うものが選択される場合などに、タッチパネルの調整をします。

1）「タッチパネル調整」をタッチする

- 「決定」をタッチしてください。

2）画面に表示される「＋」を付属のタッチペンでタッチする

- 「+」を順番に（左上→左下→右下→右上→中央）タッチしてください。

3）「決定」をタッチする

お知らせ

- 液晶モニターを 180° 回転した状態では調整できません。

デモモード　「切」/「入」

本機の紹介（デモ）を始めます。
（モードダイヤルが 🎥 または 📷 のときのみ）
AC アダプター使用時に、SD カードが入っていない状態で「デモモード」を「入」に設定し、「終了」をタッチするとデモが始まります。何か操作をするとデモは中断しますが、約 10 分以上操作がないと、再び自動的に始まります。SD カードを入れるか、「デモモード」を「切」にすると解除されます。

手ブレ補正デモ

手ブレ補正の紹介（デモ）を始めます。
（モードダイヤルが 🎥 のときのみ）
「手ブレ補正デモ」をタッチすると、デモが始まります。「終了」をタッチすると解除されます。

LANGUAGE　「日本語」/「English」

画面に表示される言語を「日本語」または「English」（英語）に設定できます。

ワイヤレスリモコンを使う

メニュー設定する

MENU：「セットアップ」→「リモコン」→「入」

電源 ON/OFF ボタン [⏻]

液晶モニターを開いているとき、またはファインダーを引き出しているときに、電源を入/切できます。

- 電源を切ってから約 36 時間経過すると、電源 ON/OFF ボタンでは電源が入らなくなります。本機の電源ボタンを押して電源を入れ直してください。
- パソコンや DVD バーナーと接続時は電源は切れません。

ズーム / ボリューム / サムネイル表示切り換えボタン [T、W、▦ /VOL] ※

撮影開始 / 停止ボタン [START/STOP] ※

フォトショットボタン [📷] ※

表示出力ボタン [EXT DISPLAY]（P86）

年月日 / 時刻ボタン [DATE/TIME]（P34）

再生操作部（P29、72）
画面に表示される再生の操作アイコンと同じ働きをします。（スキップ再生（P72）を除く）

メニューボタン [MENU] ※

方向ボタン ▲、▼、◀、▶（P40）

OK ボタン（P40）

消去ボタン [🗑] ※

※本体のボタンと同じ働きをします。

絶縁シートを引き抜いてからお使いください。

- 絶縁シートは抜いたあと、適切に処理をしてください。

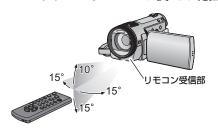
コイン電池を交換する

- 本機の近くで操作しても動作しない場合は、新しいコイン電池（CR2025）と交換してください。（電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です）

押しながら引き抜く

+マークを上にする

安全上のご注意
はじめに
基本
応用
コピー/ダビング
パソコンで使う
大事なお知らせなど

■ ワイヤレスリモコンが使える範囲について

距離： 約 5 m 以内
角度： 上に約 10°、下･左右に約 15°

- 室内での値です。屋外やリモコン受信部に強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。

方向ボタン /OK ボタンの操作

1 方向ボタンを押す

- 選択している項目が黄色で表示されます。

2 方向ボタンで上下左右に動かし、項目を選ぶ

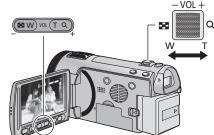
3 OK ボタンを押して決定する

お知らせ

- 操作アイコン、サムネイル表示などの選択 / 決定もできます。
- 指でタッチできる個所はリモコンで操作できます。（一部機能を除く）

1 ズーム

光学で最大 12 倍まで拡大できます。
お買い上げ時の「ズームモード」の設定は「iA ズーム 18×」です。ビデオ撮影モード時は、最大 18 倍まで拡大できます。（P52）

● **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**

ズームレバー/ピッタリズームボタン

T 側 ：大きく撮る（ズームイン：拡大）
W 側 ：広く撮る（ズームアウト：広角）

- ズームレバーは動かす幅によって、ズーム速度が変わります。
- ピッタリズームボタンはズーム倍率の微調整時に使うと便利です。

リングズーム ビデオ 写真

マルチマニュアルリングを使ってズーム操作をすることもできます。

A 側 :大きく撮る（ズームイン：拡大）
B 側 :広く撮る（ズームアウト：広角）
●リングを回す速さによって、ズーム速度が変わります。

EX 光学ズーム 写真

写真撮影モード時は、最大記録画素数以外の記録画素数に設定すると、画質を劣化させずにズーム倍率を最大 25 倍まで拡大して写真を撮影することができます。

- EX 光学ズームの倍率は、「記録画素数」と「画像横縦比」の設定によって変わります。（P64、65）

■ EX 光学ズームの仕組み

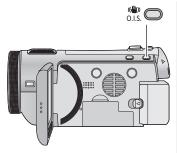
例えば 0.3M に設定すると、最大記録画素数 12.2M の領域のうち 0.3M 分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

お知らせ

- ズーム操作中にズームレバーから指を離すと、操作音が記録されることがあります。レバーを元の位置に戻すときは、静かに戻してください。
- ズーム倍率が 12 倍のときは、約 1.2 m 以上でピントが合います。
- ズーム倍率が 1 倍のときは、レンズから約 4 cm まで近づいて撮ることができます。
- ピッタリズームボタンおよびワイヤレスリモコンでは、ズーム速度は変わりません。

手ブレ補正 ビデオ 写真

手ブレ補正により、撮影時の手ブレを軽減できます。
本機の手ブレ補正は、ハイブリッド手ブレ補正（ハイブリッドO.I.S）を使用できます。
ハイブリッド手ブレ補正とは、光学式と電子式のハイブリッドの手ブレ補正です。

● **モードダイヤルを または に合わせる**

手ブレ補正ボタン

ボタンを押して、手ブレ補正の入 / 切を切り換えます。

（ビデオ撮影モード時）

/ →切

- 「ハイブリッド O.I.S.」が「入」の場合は 、「切」の場合は が表示されます。
- ビデオ撮影モードで三脚を使用して撮影する場合は、切にすることをおすすめします。

（写真撮影モード時）

1/ 2→切

「手ブレ補正」が「MODE1」の場合は 1、「MODE2」の場合は 2が表示されます。

■ 手ブレ補正モードを切り換えるには

（ビデオ撮影モード時）

MENU ：「撮影設定」→「ハイブリッド O.I.S.」→「入」または「切」

「入」に設定すると、歩きながら撮影する場合や手持ちで遠い被写体をズームして撮影する場合に、より強い手ブレ補正ができます。

- お買い上げ時の設定は「入」です。

（写真撮影モード時）

MENU ：「撮影設定」→「手ブレ補正」→「MODE1」または「MODE2」

MODE1：
常に手ブレを補正します。

MODE2：
フォトショットボタンを押すと、手ブレを補正します。写真撮影モードで自分を撮影する場合や、三脚を使用して撮影する場合におすすめします。

手振れロック機能 ビデオ 写真

ビデオ撮影モード時に、手振れロックアイコンをタッチし続けている間は、より強い手ブレ補正ができます。ズーム時に起こりやすい手ブレをさらに軽減できます。

- 手ブレ補正ボタンを押して、手ブレ補正を入にしてください。
- タッチし続けている間は が表示されます。
- タッチしている指を離すと、手振れロック機能が解除されます。
- 「画面表示」を「切」にして操作しない状態が続くと、操作アイコンが消えます。
  画面をタッチすると再度表示されます。

■ 手振れロックアイコンの表示を切り換えるには

MENU :「撮影設定」→「手振れロック表示」→「入」または「切」

お知らせ

- ブレが大きいときは、補正できないことがあります。
- 本機を速く動かして撮影する場合は、手振れロック機能を解除してください。

追っかけフォーカス ビデオ 写真

タッチした被写体にピントや露出を合わせることができます。
被写体が動いても自動でピントや露出を合わせ続けます。（動体追尾）

● モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる

1 [追っかけ] をタッチする

- [icon] が画面に表示されます。
- 「個人認証」（P54）が「入」のときに、登録した人物を検出すると、自動でターゲットロックします。

2 被写体をタッチしてターゲットロックする

ターゲット枠

- 被写体の顔をタッチした場合は、顔にターゲット枠がロックされ、追尾を開始します。
- ターゲットを変更する場合は、変更する被写体にタッチし直してください。
- おまかせ iA モード時は [iA]（ノーマル）になり、タッチした被写体を追尾します。顔にターゲット枠がロックされている場合は、[i人物]（人物）になります。（スポットライトが当たる場面や暗い場面のときは、顔にターゲットロックしていても [iA]（ノーマル）になる場合があります）

3 撮影する

- 「戻る」をタッチすると、追っかけフォーカスが解除されます。

■ ターゲット枠について

- ターゲットロックに失敗したときは、ターゲット枠が赤く点滅したあと消えます。被写体の特徴的な部分（色など）をタッチして、再度ターゲットロックしてください。
- 写真撮影時にフォトショットボタンを半押しすると、ロックした被写体にピントを合わせます。ピントが合うと、ターゲット枠が緑色になりターゲットを変更できなくなります。

お知らせ

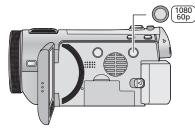
- マニュアル設定時は使用できません。写真撮影モードでのマニュアル設定時は、シーンモードの一部でのみ使用できます。
- 以下の場合など、撮影状況によって他の被写体を追尾したりターゲットロックができないことがあります。
  - 被写体が大きすぎる、または小さすぎるとき
  - 背景と被写体の色が似ているとき
  - 撮影場所が暗いとき
- 写真撮影モード時は、ターゲットロックするときに画面が暗くなったり、AF 補助光が光る場合があります。
- 以下の場合は、追っかけフォーカスが解除されます。
  - モードダイヤルを切り換える
  - 電源を切る
  - シーンモードを設定する
  - おまかせ iA/ マニュアルモードに切り換える
  - 対面撮影に切り換える
- 「画面表示」を「切」にして操作しない状態が続くと、操作アイコンが消えます。画面をタッチすると再度表示されます。追っかけフォーカス中は消えません。

1080/60p 記録 ビデオ

最高画質※で記録できる 1080/60p（1920×1080/60 プログレッシブ）記録モードです。
※本機においての最高画質を意味します。

本機で 1080/60p 記録したシーンを再生できる当社製テレビやブルーレイディスクレコーダーなどの最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
（2010 年 7 月現在）

http://panasonic.jp/support/video/connect/

● **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

1080/60p ボタン

1080/60p が表示されるまでボタンを押し続けて 1080/60p 記録モードにしてください。

- 通常の記録モードに戻すには 1080/60p が消えるまでボタンを押し続けてください。

お知らせ

- 記録可能時間のめやすについては 148 ページを参照してください。

1080/60p について

- 1080/60p 記録したシーンは、本機または HD Writer AE 2.6T で保存や再生が可能です。

操作アイコンを選んで
撮影機能を使う

操作アイコンを選ぶと、いろいろな効果をつけて撮影できます。

● **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**

1 をタッチして、画面に操作アイコンを表示する

- 画面右下の ▶ をタッチするとページが切り換わり、/ をタッチすると操作アイコンが表示 / 非表示されます。

2 （例：逆光補正）
操作アイコンをタッチする

- 解除するには、もう一度操作アイコンをタッチしてください。（笑顔オートシャッター機能とフラッシュの解除は 48 ページ、セルフタイマーの解除は 49 ページ、撮影ガイドラインの解除は 50 ページをお読みください）

操作アイコン一覧

アイコン	機能
	フェード※1
	コントラスト視覚補正※1、2
PRE-REC	PRE-REC※1
	笑顔オートシャッター機能※1
	フラッシュ※3
	赤目軽減※2、3
	セルフタイマー※3
i	暗部補正※2、3
	逆光補正
	美肌モード※2
	テレマクロ
	撮影ガイドライン
	カラーナイトビュー※1、2
	ヘッドホン音量調整※4

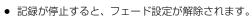
※ 1. 写真撮影モード時は表示されません。
※ 2. おまかせ iA モード時は表示されません。
※ 3. ビデオ撮影モード時は表示されません。
※ 4. ヘッドホン端子に接続したときのみ表示されます。

- PRE-REC、セルフタイマー、逆光補正、テレマクロ、カラーナイトビューは電源を切るかモードダイヤルを ▶ に合わせると解除されます。フェードは電源を切ると解除されます。
- メニューから設定することもできます。（PRE-REC、ヘッドホン音量調整を除く）
- 「画面表示」を「切」にして操作しない状態が続くと、操作アイコンが消えます。画面をタッチすると再度表示されます。

フェード　ビデオ

撮影を開始すると映像と音声が数秒かけて徐々に現れ（フェードイン）、撮影を一時停止すると、映像と音声が数秒かけて徐々に消えます（フェードアウト）。

（フェードイン）

● 記録が停止すると、フェード設定が解除されます。

（フェードアウト）

■ フェードする色を選ぶには（白または黒）

MENU：「撮影設定」→「フェード色」→「白」または「黒」

お知らせ

● フェードインで撮影した映像は、再生時のサムネイル表示が白一色（または黒一色）になります。

コントラスト視覚補正　ビデオ

暗くて見えにくい部分を明るくするのと同時に、明るい部分の白とびを抑えることで、暗いところも明るいところもきれいに撮れます。

お知らせ

● 極端に暗い部分や明るい部分があるとき、または明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。

PRE-REC PRE-REC（プリレック）　ビデオ

撮影開始 / 一時停止ボタンを押す約 3 秒前からの映像や音声を記録します。

● PRE-REC が画面に表示されます。

お知らせ

● **事前に本機を被写体に向けて構えてください。**
● お知らせ音は鳴りません。
● 以下の場合には、PRE-REC が解除されます。
  – モードダイヤルを切り換える
  – 「メディア選択」を「ビデオ / カード」に設定しているときに、SD カードを抜く
  – メニューボタン、1080/60p ボタンを押す
  – 電源を切る
  – 撮影を開始する
  – 3 時間経過する
● PRE-REC を設定してから約 3 秒以内に撮影を開始した場合や、クイックスタートして約 3 秒以内の PRE-REC 表示点滅中は、3 秒前からの映像は記録できません。
● 再生モード時のサムネイル表示の画像は、再生開始の映像と異なります。

笑顔オートシャッター機能　写真

ビデオ撮影中に笑顔を検出すると、自動で写真を撮影します。

アイコンをタッチするごとに切り換わります。

（入）→（個人認証）→切

：笑顔が検出されると撮影します。

：「個人認証」（P54）で登録した人物の笑顔が検出されたときのみ撮影します。

切　：設定を解除します。

- 笑顔オートシャッター記録中は、笑顔を検出した人物の顔が緑色の枠で囲まれ、 / が赤色になります。
- 以下の場合は、笑顔オートシャッター機能が働きません。（ / が点滅します）
  - 「メディア選択」で「写真 / カード」に設定しているときに、SD カードが入っていない場合
  - マニュアルフォーカス時
  - インターバル記録時
  - 「個人認証」を「切」に設定時、または登録していない場合（の場合のみ）

お知らせ

- 撮影状況（笑いかたや手ブレなど）によっては、正しく検出できない場合があります。
- 記録画素数は 13.3M（4864×2736）、8.3M（3840×2160）または 2.1M（1920×1080）で記録されます。（P64）
- 笑顔オートシャッターで撮影された写真は再生時のサムネイル表示に が表示されます。
- 追っかけフォーカス時に被写体の顔をターゲットロックしている場合は、ターゲットロックした被写体の笑顔が検出されたときのみ撮影されます。（個人認証）設定時は「個人認証」で登録した人物の顔をターゲットロックした場合のみとなります。

フラッシュ　写真

フォトショットボタンを押すとフラッシュが発光し、写真が記録されます。暗い場所での写真撮影時にお使いください。

アイコンをタッチするごとに切り換わります。

（入）→ A（オート）→（切）

- フラッシュを に設定していても、周囲の明るさを感知し、フラッシュの発光が必要かどうかを自動判別します。（フラッシュを必要と判断したときは、 が赤色で点灯します）

■ フラッシュの明るさを調整するには

MENU：「写真設定」→「フラッシュ明るさ」→希望の設定

−：弱い　±0：通常　+：強い

お知らせ

- フラッシュ撮影が禁止されている場所では、 に設定してください。
- レンズフードを付けていると、フラッシュの発光がレンズフードにさえぎられる場合があります。
- ND フィルター（別売）やコンバージョンレンズ（別売）を取り付けた状態で使用しないでください。
- フォトショットボタンの半押し時に、 などの表示が点滅中は、フラッシュは発光しません。
- フラッシュの使用可能範囲（めやす）は、暗い部屋で約 1 m ～ 2.5 m です。
- フラッシュを発光させると、シャッター速度は、1/500 以下になります。

◎ 赤目軽減 写真

フラッシュ発光時に人物の目が赤く写るのを軽減します。

お知らせ

- フラッシュが 2 回発光します。
- 撮影状況や個人差によっては、目が赤く写る場合があります。
- おまかせ iA モード時に顔が検出された場合は、赤目軽減が働きます。

セルフタイマー 写真

タイマーを使って写真を撮影できます。

アイコンをタッチするごとに切り換わります。

$_{10}$（10 秒後に撮影）→ $_{2}$（2 秒後に撮影）→設定解除

- フォトショットボタンを押すと、$_{10}$または $_{2}$表示と撮影ランプが設定した時間点滅したあと撮影されます。撮影後、セルフタイマーは解除されます。
- オートフォーカス時は、フォトショットボタンを半押ししてから全押しすると、半押ししたときにピントを合わせます。一度に全押しすると、撮影直前にピントを合わせます。

【セルフタイマーを途中で止めるには】

メニューボタンを押す

お知らせ

- セルフタイマーを$_{2}$に設定すると、三脚使用時などフォトショットボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。

i◑ 暗部補正 写真

暗くて見えにくい部分を明るくして撮れます。

お知らせ

- 極端に暗い部分があるとき、または明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。

逆光補正 ビデオ 写真

逆光で被写体の後ろ側から光が当たって暗くなるのを防ぐため、画面の映像を明るくします。

美肌モード ビデオ 写真

肌の色をソフトに見せ、よりきれいに撮影できます。人物の胸から上を大きく撮る場合に効果的です。

お知らせ

- 背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
- 人物を小さく撮影すると顔がぼけて映る場合があります。そのときは美肌モードを解除するか、顔を大きく（アップで）撮影してください。

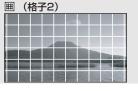
テレマクロ　ビデオ　写真

被写体のみにクローズアップしてピントを合わせ、背景をぼかすことで、より印象的な映像にします。
- 約 70 cm まで近づいて撮影できます。
- ズーム倍率が 12 倍以下のときは、自動的に 12 倍になります。

お知らせ
- ズーム倍率を 12 倍未満にすると、自動的に解除されます。

撮影ガイドライン　ビデオ　写真

映像が水平になっているか確認できます。構図のバランスを見るめやすにもなります。

アイコンをタッチするごとに切り換わります。
（水平）→（格子 1）→（格子 2）→設定解除
- クイックメニューで設定することもできます。（P32）

（水平）
（格子1）
（格子2）
- ガイドラインは実際に記録される映像には影響しません。

■ 再生時にガイドラインを表示させるには

- **モードダイヤルを ▶ に合わせて、プレイモード選択アイコンをタッチして、カード / ビデオ（1080/60p）、内蔵メモリー / ビデオ（1080/60p）またはカード / ビデオ（AVCHD）、内蔵メモリー / ビデオ（AVCHD）にする****（P29）**

MENU：「ビデオの管理」→「再生ガイドライン」→希望の設定
- 再生時のガイドラインを解除するには「切」に設定してください。
- 写真再生時は設定できません。

カラーナイトビュー　ビデオ　写真

暗い場所（最低照度：約 1 lx）でも、カラーで明るく浮かび上がらせて撮影できます。

お知らせ
- **撮影した映像はコマ落としのようになります。**
- 明るい場所で設定すると、しばらくの間画面が白くなることがあります。
- 通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。
- 三脚の使用をおすすめします。
- オートフォーカス時、暗い場所ではピントを合わせるまでに時間がかかります。

ヘッドホン音量調整　ビデオ

撮影時のヘッドホンの音量を調整します。
（液晶モニターの使用時のみ）

▲：音量を上げる
▼：音量を下げる
- 実際に記録される音量は変わりません。

メニュー設定して
撮影機能を使う

シーンモード

ビデオ　写真

撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や絞りが調整されます。

● **モードダイヤルを　または　に合わせる**

MENU ：「撮影設定」→「シーンモード」→希望の設定

切	：設定を解除します。
（スポーツ）	：動きの速い場面を、スロー再生や再生の一時停止で、ブレの少ない映像に
（人物）	：背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる
（スポットライト）	：スポットライトが当たる人物をきれいに
（雪）	：スキー場などまぶしい場面で
（ビーチ）	：海や空などの青色をより鮮やかに
（夕焼け）	：日の出や夕焼けなどの赤色を鮮やかに
（花火）	：夜空に打ち上げられる花火をきれいに
（風景）	：広がりのある風景に
（夜景）	：夕暮れや夜景をきれいに
（ローライト） ※1	：夕暮れなど、暗い場面で
（夜景 & 人物） ※2	：人物とともに背景を明るく撮影

※ 1. ビデオ撮影モード時のみのモード
※ 2. 写真撮影モード時のみのモード

お知らせ

- **（スポーツ / 人物 / スポットライト / 雪 / ビーチ / 夕焼け / 風景モード時）**
  – 写真撮影モード時は、シャッター速度が 1/8 ～になります。
- **（夕焼け / ローライトモード時）**
  – ビデオ撮影モード時は、シャッター速度が 1/30 ～（デジタルシネマ「入」の場合は 1/24 ～）になります。
- **（夕焼け / 花火 / 風景 / 夜景モード時）**
  – 近くのものを撮る場合、映像がぼやけることがあります。
- **（スポーツモード時）**
  – 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかには見えません。
  – 屋内での照明下では色合いや画面の明るさが変わることがあります。
  – 明るさが足りない場合はスポーツモードが働きません。このときは、　が点滅します。
- **（人物モード時）**
  – 屋内での照明下では色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- **（花火モード時）**
  – シャッター速度が 1/30 になります。
  – 明るい場面で撮ると、映像が白っぽくなることがあります。
- **（夜景 / 夜景 & 人物モード時）**
  – 写真撮影モード時は、シャッター速度が 1/2 ～になります。
  – 三脚の使用をおすすめします。
- **（夜景 & 人物モード時）**
  – フラッシュが「入」になります。

ズームモード

ビデオ　写真

ビデオ撮影モード時の最大ズーム倍率を設定します。

● **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

MENU：「撮影設定」→「ズームモード」→希望の倍率

光学ズーム 12×	：光学ズームのみ（最大 12 倍まで）
iA ズーム 18×	：HD 画質の美しさを維持したズーム（最大 18 倍まで）
D. ズーム 30×	：デジタルズーム（最大 30 倍まで）
D. ズーム 120×	：デジタルズーム（最大 120 倍まで）

● デジタルズーム時は、ズーム倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

お知らせ

● 写真撮影モード時は使用できません。

記録モード

ビデオ

記録するビデオの画質を切り換えます。

● **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

MENU：「撮影設定」→「記録モード」→希望の画質
● クイックメニューで設定することもできます。（P32）

「HA」／「HG」／「HX」／「HE」

高画質 ◀━━━━▶ 長時間

お知らせ

● **バッテリーを使って撮影できる時間について****（P12）**

● お買い上げ時の設定は「HX」です。

● 記録可能時間のめやすについては148 ページを参照してください。

● 本機を大きくまたは速く動かしたり、動きの激しい被写体を撮影したとき（特に記録モード「HE」での撮影時）は、再生時にモザイク状のノイズが出る場合があります。

インターバル記録　ビデオ

長時間かけてゆっくり動くシーンを、記録間隔を空けてコマ撮りをし、短時間のビデオとして記録します。設定した記録間隔ごとに 1 コマが記録され、30 コマで 1 秒のビデオになります。

- **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**
- **「ズームモード」を「光学ズーム 12×」にする（P52）**

MENU :「撮影設定」→「インターバル記録」→希望の設定
- クイックメニューで設定することもできます。（P32）

切：設定を解除します。
1 秒 /10 秒 /30 秒 /1 分 /2 分：記録間隔を変更します。

- ⟷ が画面に表示されます。
- 撮影終了後、インターバル記録の設定は解除されます。
- 音声の記録はできません。

設定例	設定時間（記録間隔）	撮影時間	記録される時間のめやす
日没	1 秒	約 1 時間	約 2 分
アサガオの開花	30 秒	約 3 時間	約 12 秒

- 撮影時間は最大 12 時間です。

お知らせ
- 写真撮影はできません。
- 1080/60p 記録モード時は使用できません。
- インターバル記録を設定すると、記録モードの変更はできません。
- 電源を切るかモードダイヤルを ▶ に合わせると解除されます。
- 最短のビデオの記録時間は 1 秒です。
- 光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動で合いません。このような場合は、手動（マニュアル）で調整してください。（P68、71）

デジタルシネマ　ビデオ

より鮮やかな色で、映画のフィルムのような映像を撮影したい場合にお使いください。

- **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**
- **マニュアルモードにする（P68）**
- **「ズームモード」を「光学ズーム 12×」にする（P52）**
- **「記録モード」を「HA」または「HG」にする（P52）**

MENU :「撮影設定」→「デジタルシネマ」→「入」

- シャッター速度が 1/48 ～になります。（オートスローシャッター（2D）「入」時は 1/24 ～）

お知らせ
- おまかせ iA モード時、1080/60p 記録モード時は使用できません。
- 映像の動きがなめらかに見えないことがあります。

リレー記録

ビデオ

ビデオ撮影中に、内蔵メモリーの容量がなくなった場合でも、SD カードへ続けて記録することができます。（内蔵メモリーから SD カードへのみリレー記録できます）

- **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**
- **記録するメディアを内蔵メモリーに設定する（P23）**
- **SD カードを入れる**

MENU ：「撮影設定」→「リレー記録」→「入」

- ⇨ 🗋が画面に表示されます。内蔵メモリーの容量がなくなり、SD カードに記録が始まると⇨ 🗋が消えます。
- リレー記録は 1 回のみ可能です。
- **リレー記録したシーンは、「リレーシーンまとめ」で SD カードにまとめてください。(P84、97)**
- 「リレーシーンまとめ」をすると、リレー記録が再度できるようになります。「リレーシーンまとめ」をせずに「リレー記録」を「入」にするとメッセージが表示されます。「はい」をタッチするとリレー記録できるようになりますが、リレーシーンまとめはできなくなります。

お知らせ

- リレー記録後は、写真も SD カードに記録されます。
- 内蔵メモリーのリレー記録されたシーンには再生時のサムネイル表示に ⇨ が表示されます。

個人認証

ビデオ　写真

個人認証とは、登録された人物の顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

- **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**

MENU ：「撮影設定」→「個人認証」→希望の設定

切	：設定を解除します。
入	：個人認証機能を使用します。
設定	：個人認証の登録 / 編集 / 解除ができます。

■ 個人認証を登録する

「撮影設定」→「個人認証」→「設定」→「登録」

- 最大 6 人まで登録できます。

1）ガイドに顔を合わせる

- 正面を向いて髪の毛で顔の輪郭、目、まゆが隠れないように撮影してください。

2）「撮影」をタッチする、またはフォトショットボタンを全押しする

- 「決定」をタッチしてください。
- 撮影状況によっては登録できない場合があります。もう一度撮影してください。

ガイド

3）名前を入力する

- 画面中央の文字入力アイコンをタッチして入力します。
- 名前を入力後、「決定」をタッチしてください。

文字入力アイコン

【文字を入力するには】

入力方法は携帯電話の標準の入力方法と同じ操作です。

アイコン	操作説明
「あ」など	文字を入力します。
◀	カーソルを左に移動します。
▶	カーソルを右に移動します。
「文字切替」	「かな」（ひらがな）、「カナ」（カタカナ）、「A」/「a」（アルファベット）、「&/1」（記号 / 数字）に文字を切り換えます。
「消去」	文字を消去します。カーソル位置が空白の場合は1つ前の文字を消去します。
「決定」	文字入力を完了します。

（例）「しょうご」と入力する
「さ」を 2 回→「や」を 6 回→「あ」を 3 回→「か」を 5 回→「゛」を 1 回の順にタッチする

- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  「かな」/「カナ」　：最大 6 文字
  「A」/「a」/「&/1」：最大 9 文字

4）「決定」をタッチして登録を完了する

- 「終了」をタッチしてください。

■ 登録した人物の情報を変更するには

1）メニュー設定する

「撮影設定」→「個人認証」→「設定」→「編集」

2）項目をタッチして設定する

- 顔写真は３枚まで登録できます。追加で登録する場合や登録済みの顔写真を変更 / 解除する場合は、[人物アイコン]または顔写真をタッチしてください。
- 同じ人物の顔写真を、表情や撮影環境を変えて複数枚登録（一登録につき最大３枚）すると、個人認証されやすくなります。

個人認証
名前設定
登録順 1
フォーカスアイコン ●
決定

名前設定:
名前を変更します。

登録順:
登録順の設定が１番の人物から優先してピントや露出を合わせます。追っかけフォーカス時は登録順の設定が１番の人物から自動でターゲットロックします。

- 登録順を置き換えたい場合は、置き換えたい人物をタッチしてください。

個人認証
1 ケン 2 アンナ 3 マリー
4 ジェシカ 5 キャシー 6 ジョー

フォーカスアイコン:
写真撮影時に表示されるシャッターチャンスマークのアイコンを変更します。（個人認証時のみ表示されます）

- 表示したいアイコンをタッチしてください。

フォーカスアイコン

3）「決定」をタッチする

■ 登録した人物を解除するには

1）メニュー設定する

「撮影設定」→「個人認証」→「設定」→「解除」または「全解除」

- 「全解除」をタッチすると、登録した人物がすべて解除されます。

2）（「解除」を選んだ場合）
解除する人をタッチする

- タッチすると人物が選択され、[個人認証アイコン]が表示されます。選択した人物を解除するにはもう一度タッチしてください。
- 「決定」をタッチしてください。

お知らせ

- 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証できない場合があります。
- 年齢とともに顔の特徴が変化したときなど、認証が不安定になった場合は、再度登録し直してください。

名前表示

ビデオ　写真

撮影時に「個人認証」で登録した人物を検出した場合、登録した名前を表示します。

● **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**

MENU：「撮影設定」→「名前表示」→希望の人数

切 /1 人 / 2人 /3 人

お知らせ

- 表示された名前はしばらくすると消えます。
- 登録順の設定が 1 番の人物から優先して表示されます。
- 対面撮影時や再生時は表示されません。

顔検出枠表示

ビデオ　写真

検出された顔を枠で表示します。

● **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**

MENU：「撮影設定」→「顔検出枠表示」→希望の設定

切　　　　　：設定を解除します。
優先顔枠表示：優先顔枠のみ表示します。
全表示　　　：顔検出枠をすべて表示します。

- 検出する枠は最大 15 個で、大きいもの、画面の中心に近いものが優先されます。「個人認証」が「入」の場合は登録した人物が優先されます。

■ 優先顔枠について

優先顔枠は、オレンジ色の枠で表示します。優先顔枠にピントを合わせて、明るさを調整します。

- 優先顔枠は、おまかせ iA モード時のみ表示されます。
- 白色の枠は、顔検出のみしています。
- おまかせ iA モードの人物モード時は、優先顔枠にピントを合わせて、明るさを調整します。スポットライト / ローライトモード時は、優先顔枠にピントを合わせます。
- 写真撮影時にフォトショットボタンを半押しした場合は、優先顔枠にピントを合わせます。ピントが合うと、優先顔枠が緑色になります。

オートスローシャッター（2D）

ビデオ　写真

暗い場所でシャッター速度を遅くすることによって、明るく撮ることができます。

● **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**
● **マニュアルモードにする（P68）**

MENU：「撮影設定」→「オートスローシャッター（2D）」→「入」

● シャッター速度が周囲の明るさに応じて 1/30 ～になります。

お知らせ

● 3D コンバージョンレンズ VW-CLT1（別売）使用時は動作しません。
● 写真撮影モード時は使用できません。
● シャッター速度が 1/30 になったときは、画面がコマ落としのようになったり、残像が出る場合があります。

オートスローシャッター（3D）

ビデオ

3D コンバージョンレンズ VW-CLT1（別売）使用時のみ動作するオートスローシャッターです。

MENU：「撮影設定」→「オートスローシャッター（3D）」→「入」

● 詳しくは「オートスローシャッター（2D）」を参照してください。

お知らせ

● お買い上げ時の設定は「入」です。
● 3D コンバージョンレンズ使用時はレンズが暗くなるため、「入」にして撮影することをおすすめします。

うっかり撮り防止

ビデオ

ビデオ撮影中に、本機が水平方向から逆さまや横倒しになると、自動的に撮影を一時停止します。

● **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

MENU：「撮影設定」→「うっかり撮り防止」→「入」

お知らせ

● 真上や真下を撮影すると、撮影が一時停止することがあります。

デジタルシネマカラー

ビデオ

より鮮やかな色でビデオを記録します。

- **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**
- **マニュアルモードにする（P68）**

MENU：「撮影設定」→「デジタルシネマカラー」→「入」

- x.v.Color™に対応したテレビにHDMIミニケーブルでつないで再生すると、より忠実な色を再現できます。

お知らせ

- おまかせ iA モード時は使用できません。
- **「入」で記録したビデオを、x.v.Color™ に対応していないテレビに接続して再生すると、色が正しく再現されない場合があります。**
- デジタルシネマカラーで記録した映像を広色域の鮮やかな色で見るには、x.v.Color™に対応した機器が必要です。x.v.Color™ に対応した機器以外で見る場合は「切」にして撮影することをおすすめします。
- x.v.Color™ とは動画用拡張色空間の国際規格である xvYCC 規格に対応し、信号の伝送のルールにも対応している機器に付ける名称です。

撮影アシスト

ビデオ

本機を速く動かした場合にメッセージが表示されます。

- **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

MENU：「撮影設定」→「撮影アシスト」→「入」

「カメラの動きが速すぎます。」と表示されたときは、本機をゆっくりと動かして撮影してください。

お知らせ

- メッセージは撮影の一時停止中には表示されません。（「デモモード」が「入」の場合は、撮影の一時停止中にもメッセージが表示されます）
- 撮影状況によっては、メッセージが表示されない場合があります。

風音キャンセラー

ビデオ

臨場感を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

- **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**
- **マニュアルモードにする（P68）**

MENU :「撮影設定」→「風音キャンセラー」→「入」

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「入」です。
- おまかせ iA モード時は「入」になり設定は変更できません。
- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
- 風音キャンセラーだけでは風音ノイズを低減できない場合などには、「バスコントロール」を「ローカット」に設定してください。（P61）

マイク設定

ビデオ

内蔵マイクの録音設定を変更できます。

- **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**
- **マニュアルモードにする（P68）**

MENU :「撮影設定」→「マイク設定」→希望の設定

サラウンド	:5.1ch サラウンドマイクで周りの音を臨場感のある音で記録します。
ズームマイク	:ズーム操作に連動して指向性を変えて音を記録します。ズームイン（拡大）するほど前方の音をよりクリアに記録し、ズームアウト（広角）にすると周りの音を臨場感のある音で記録します。
ガンマイク	:センターの指向性を強めて、前方の音をよりクリアに記録します。
ステレオマイク	:2ch ステレオマイクで前方 2 方向からの音を記録します。

お知らせ

- 音楽発表会などで、ズームインしたときも臨場感のある音を記録したい場合は、「サラウンド」に設定して使用することをおすすめします。

マイクレベル　ビデオ

撮影時の内蔵マイクおよび外部マイクの入力レベルを調整します。

- モードダイヤルを 🎥 に合わせる
- マニュアルモードにする（P68）

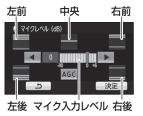
1）メニュー設定する

MENU :「撮影設定」→「マイクレベル」→希望の設定

オート	: AGC が働き、自動的に録音レベルを調整します。
設定＋AGC / 設定	: 好みの録音レベルに設定できます。

- マニュアルモード時は、クイックメニューで設定を選択することができます。(P32) 以前に調整したマイクレベルになり、クイックメニューからマイクレベルを調整することはできません。

2）（「設定＋AGC / 設定」を選んだ場合）◀/▶をタッチしてマイク入力レベルを調整する

- AGC をタッチすると、AGC の入 / 切ができます。AGC を入にすると、アイコンが黄色で囲まれ、音のひずみを軽減することができます。切にすると自然な音で録音されます。
- 音量メーターのバーが 2 本赤く点灯すると、音がひずんでいますので、マイク入力レベルを下げてお使いください。

3）「決定」をタッチしてマイクレベルを決定し、「終了」をタッチする

- □□□■■■■■（マイクレベルメーター）が画面に表示されます。

お知らせ

- おまかせ iA モード時は「オート」になり設定は変更できません。
- 「マイク設定」を「ズームマイク」に設定していると、ズーム倍率によって音量が変わります。
- 「マイク設定」を「ステレオマイク」に設定しているときや外部マイク入力時の音声はステレオ（2ch）となり、左前と右前の音量メーターのみ働きます。
- マイクレベルメーターは各マイクの中で、最も音量の大きいものを表示しています。
- 音を完全に消して記録することはできません。

バスコントロール　ビデオ

内蔵マイクの低音域を好みに応じて変更します。

- モードダイヤルを 🎥 に合わせる
- マニュアルモードにする（P68）

MENU :「撮影設定」→「バスコントロール」→希望の設定

0dB/+3dB/+6dB/ ローカット

- 通常は「0dB」に設定してください。
- 低音に迫力感を出したいときは、「+3dB」または「+6dB」を選択してください。

画質調整

ビデオ 写真

撮影時の映像の画質を調整します。
画質調整時はテレビなどに出力して調整してください。

- **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**
  （ビデオ撮影モードと写真撮影モードを切り換えても設定は変わりません）
- **マニュアルモードにする（P68）**

1）メニュー設定する

MENU ：「撮影設定」→「画質調整」

2）設定する項目をタッチする

シャープネス ：輪郭のメリハリ
色の濃さ ：映像の色の濃さ
明るさ ：映像の明るさ
WB 微調整 ：映像の色合い

3）◀/▶をタッチして調整する

4）「決定」をタッチする

- 「終了」をタッチ、またはメニューボタンを押して設定を終了してください。
- ☀が画面に表示されます。

ゼブラ

ビデオ 写真

白とび（色とび）の起こりそうな部分（極端に明るい場所、光っている場所）を斜線（ゼブラパターン）で表示します。

- **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**
- **マニュアルモードにする（P68）**

ゼブラパターン

MENU ：「撮影設定」→「ゼブラ」→「入」 ● マニュアルモード時は、クイックメニューで設定することもできます。（P32）

- 白とびの少ない映像を撮影するには、ゼブラパターンが表示されなくなるように、マニュアルでシャッター速度やアイリス（絞り / ゲイン）（P70）を調整してください。
- ゼブラパターンは記録されません。

輝度表示

ビデオ 写真

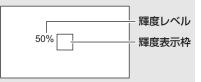
画面の中央部分（輝度表示枠）の輝度レベルを % で表示します。異なる場面で同じ被写体を撮影するときなどに、被写体の輝度レベルを同じにすることで、被写体の明るさを調整しやすくなります。
明るさの調整は「IRIS」（アイリス）調整で行ってください。（P70）

- **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**
- **マニュアルモードにする（P68）**

> **MENU :「撮影設定」→「輝度表示」→希望の設定**
> - マニュアルモード時は、クイックメニューで設定することもできます。（P32）

切　　　：設定を解除します。

常時表示　：常時表示します。

調整時表示：「IRIS」（アイリス）の調整時（P70）のみ表示します。

- 輝度レベルは「0%」～「99%」で表示されます。99%を超える場合は「99%↑」と表示されます。

お知らせ
- 「画面表示」を「切」にしていても、「IRIS」（アイリス）調整時は輝度表示されます。

ヒストグラム表示

ビデオ 写真

横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフを表示します。グラフの分布を見ることにより、画面全体の露出状況を判断することができます。
明るさの調整は「IRIS」（アイリス）調整で行ってください。（P70）

- **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**
- **マニュアルモードにする（P68）**

> **MENU :「撮影設定」→「ヒストグラム表示」→希望の設定**
> - マニュアルモード時は、クイックメニューで設定することもできます。（P32）

切　　　：設定を解除します。

常時表示　：常時表示します。

調整時表示：「IRIS」（アイリス）の調整時（P70）のみ表示します。

■ 表示の一例

暗い ←　標準　→ 明るい

お知らせ
- 「画面表示」を「切」にしていても、「IRIS」（アイリス）調整時はヒストグラム表示されます。

記録画素数

写真

記録画素数が大きいほど、プリント時に鮮明な画像になります。

● **モードダイヤルを 📷 に合わせる**

> MENU :**「写真設定」→「記録画素数」→希望の画素数**
> ● クイックメニューで設定することもできます。（P32）

● 設定できる記録画素数は、選択している画像横縦比によって変わります。（P65）

■ 記録画素数と最大ズーム倍率

記録画素数		画像横縦比	EX 光学ズーム（P41）
12.2M	4032×3024	4:3	—※
7.7M	3200×2400		13.2 倍
4.9M	2560×1920		16.5 倍
0.3M	640×480		25 倍
14.2M	4608×3072	3:2	—※
8.6M	3600×2400		13.2 倍
5.5M	2880×1920		16.5 倍
13.3M	4864×2736	16:9	—※
8.3M	3840×2160		13.2 倍
5.3M	3072×1728		16.5 倍

※ EX 光学ズームはできません。最大ズーム倍率は 12 倍になります。

■ ビデオ撮影モード時の記録画素数について

● **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

> MENU :**「写真設定」→「記録画素数」→希望の画素数**
> ● クイックメニューで設定することもできます。（P32）

記録画素数		画像横縦比
13.3M	4864×2736	16:9
8.3M	3840×2160	
2.1M	1920×1080	

お知らせ

- お買い上げ時の設定は、写真撮影モード時は 14.2M、ビデオ撮影モード時は 13.3M です。
- 写真の記録可能枚数については 149 ページを参照してください。
- 記録画素数によって記録にかかる時間が長くなります。

クオリティ

写真

記録する画質を設定します。

● **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**

MENU :「写真設定」→「クオリティ」→希望の画質

: 高画質な写真を記録します。
: 記録枚数を優先し、標準画質で記録します。

画像横縦比

写真

プリントや再生方法に合わせて、写真の横縦比を選択できます。

● **モードダイヤルを 📷 に合わせる**

MENU :「写真設定」→「画像横縦比」→希望の比率

4:3 : 4:3 テレビの横縦比
3:2 : 一般のフィルムカメラやプリント時（L 版など）の横縦比
16:9 : ハイビジョンテレビなどの横縦比

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「3:2」です。
- 画像横縦比を「4:3」または「3:2」に設定すると、画面の左右に黒い帯が表示されます。
- 本機で記録した横縦比 16:9 の写真は、プリント時に端が切れることがあります。お店やプリンターなどでプリントする場合は事前にご確認ください。

高速連写

写真

1 秒間に 60 枚の写真を連続して記録します。
動きの速い被写体を撮影するときにお使いください。

● モードダイヤルを [カメラ] に合わせる

1）メニュー設定する

(MENU)：「写真設定」→「高速連写」→希望の設定

切	：設定を解除します。
60 コマ / 秒	：1 秒間に 60 枚の写真を、180 枚連続して記録します。 記録画素数は 2.1M（1920×1080）で記録します。

2）フォトショットボタンを押す

- 記録中は [連写] が赤色で点滅します。
- フォトショットボタンを半押ししてから全押しすると、ピントを固定して撮影します。一度に全押しすると自動でピントを合わせるので、前後に移動する被写体を撮影するときに便利です。

3）「記録」または「消去」をタッチする

記録：写真を保存します。
消去：すべて消去します。

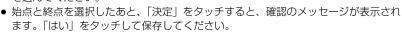
4）（手順３で「記録」を選んだ場合）「全て記録」または「範囲選択」をタッチする

全て記録：すべての写真を保存します。
範囲選択：範囲を選択して保存します。

5）（手順４で「範囲選択」を選んだ場合）保存する範囲（始点と終点）をタッチする

- [▲]/[▼] をタッチすると、前（次）のページが表示されます。

※ 1 枚だけ保存したいときは、始点の写真のみを選んでください。

- 始点と終点を選択したあと、「決定」をタッチすると、確認のメッセージが表示されます。「はい」をタッチして保存してください。

お知らせ

- 電源を切るかモードダイヤルを切り換えると解除されます。
- 1 枚の SD カードまたは内蔵メモリーに記録できる回数は最大 15 回までです。
- 蛍光灯などの照明では色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- 通常の写真撮影時と画質が異なります。

AF 補助光

写真

撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくします。

● **モードダイヤルを 📷 に合わせる**
● **マニュアルモードにする（P68）**

MENU :「写真設定」→「AF 補助光」→「オート」

- 補助光の有効距離は 1.5 m です。

お知らせ

- コンバージョンレンズ（別売）を付けていると、AF 補助光をさえぎるためピントが合いにくくなります。
- おまかせ iA モード時は「オート」になり設定は変更できません。

シャッター音

写真

写真撮影時にシャッター音が出ます。

● **モードダイヤルを 📷 に合わせる**

MENU :「写真設定」→「シャッター音」→希望の設定

切	：なし
🔉	：音量小
🔊	：音量大

お知らせ

- ビデオ撮影モード時はシャッター音は出ません。

安全上のご注意 はじめに 基本 応用 コピー／ダビング パソコンで使う 大事なお知らせなど

7 マニュアルで撮る

液晶モニター使用時とファインダー使用時では、操作手順が異なります。

● **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**
（マニュアルフォーカス、白バランス、シャッター速度、アイリス（絞り・ゲイン）の設定は、ビデオ撮影モードと写真撮影モードを切り換えても変わりません）

おまかせ iA/ マニュアルボタン、またはカメラファンクションボタンを押してマニュアルモードにする

● MNL が表示されます。

FOCUS フォーカス（P71）
WB 白バランス（P69）
SHTR シャッター速度（P70）
IRIS アイリス（絞り・ゲイン）（P70）

【液晶モニター使用時】

1 設定する項目をタッチする

2 ▲/▼をタッチして設定する

● マニュアル設定を解除するには、おまかせ iA/ マニュアルボタンを押してください。
● F / F をタッチすると、マニュアルアイコンが表示 / 非表示されます。

【ファインダー使用時】

1 カメラファンクションボタンを押して項目を選ぶ

● カメラファンクションボタンを押すごとに、選択している項目が切り換わります。

2 マルチマニュアルリングを回して設定を選び、カメラファンクションボタンを押して決定する

● 設定中はマルチマニュアルリングでズーム操作はできません。

白バランス（ホワイトバランス）設定（自然な色合いにする） ビデオ 写真

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

- おまかせiA/マニュアルボタン、またはカメラファンクションボタンを押してマニュアルモードにする(P68)
- ファインダー使用時の設定方法は 68 ページを参照してください。

1 「WB」をタッチする

2 ▲/▼をタッチして、白バランスのモードを選ぶ

- 画面で色合いを確認しながら最適なモードを選んでください。

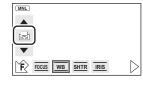
表示	モード	撮影条件
AWB	オート	―
☀	晴れ	屋外の晴天下
☁	曇り	屋外のくもり空の下
屋内1アイコン	屋内 1	白熱電球やスタジオ等のビデオライトなど
屋内2アイコン	屋内 2	電球色蛍光灯や体育館等のナトリウムランプなど
蛍光灯アイコン	蛍光灯	当社のパルック蛍光灯など
セットアイコン	セット	● 水銀灯、ナトリウム灯、一部の蛍光灯 ● ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト ● 日没・日の出など

- 自動設定に戻すには、オートモード AWB にする、またはおまかせ iA/ マニュアルボタンを押してください。

■ 手動で白バランスの設定をするには

1） （セットモード）を選び、画面いっぱいに白い被写体を映す

2）点滅している をタッチする

- ファインダー使用時はカメラファンクションボタンを押し続けてください。
- 画面が一瞬黒くなり、 表示が点滅から点灯に変わると、設定完了です。
- が点滅し続ける場合は、セットモードでの設定ができません。このときは、他のモードを使ってください。

お知らせ

- が点滅している場合は、以前にセットモードで設定した内容が保持されています。撮影条件が変わった場合は、設定し直してください。
- 白バランスとアイリスの両方を設定するときは、白バランスを設定したあとに、アイリスを設定してください。
- AWB 設定後は画面に AWB は表示されません。

シャッター速度 / アイリス（絞り・ゲイン）調整 ビデオ 写真

シャッター速度：
動きの速いものを撮るときなどに調整してください。
アイリス（絞り・ゲイン）：
暗すぎる（明るすぎる）場面で撮るときなどに調整してください。

- **おまかせiA/マニュアルボタン、またはカメラファンクションボタンを押してマニュアルモードにする（P68）**
- **ファインダー使用時の設定方法は 68 ページを参照してください。**

1 **「SHTR」または「IRIS」をタッチする**

2 **▲/▼をタッチして、調整する**

＜シャッター速度の調整＞

1/60 〜 1/8000

- オートスローシャッター（2D）が「入」の場合、1/30 〜 1/8000 になります。
- デジタルシネマ「入」の場合、1/48 〜 1/8000（オートスローシャッター（2D）「入」のときは 1/24 〜 1/8000）になります。
- 1/8000 に近いほど、シャッター速度が速くなります。
- 写真撮影モード時は、1/2 〜 1/2000 になります。

＜アイリスの調整＞

CLOSE ↔ F16 … F1.7 ↔ OPEN ↔ 0dB … 18dB
暗くする ←――――→ 明るくする

- 絞り開放（OPEN）より明るくするときは、ゲイン値の調整になります。
- 自動設定に戻すには、おまかせ iA/ マニュアルボタンを押してください。

■ 動きの速いものを撮影する場合のシャッター速度のめやす

再生時に一時停止したときの残像が少なくなります。

撮影対象	シャッター速度
ゴルフやテニスのスイング	1/500 〜 1/2000
ジェットコースター	1/500 〜 1/1000

お知らせ

- シャッター速度とアイリスの両方を設定するときは、シャッター速度を設定したあとに、アイリスを設定してください。

シャッター速度：

- 写真撮影モードでシャッター速度を 1/15 以下に設定した場合は、三脚の使用をおすすめします。また、白バランスの設定はできなくなります。電源を入れ直したり、クイックスタートした場合は、シャッター速度が 1/30 になります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、周辺に光の帯が出ることがあります。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかに見えないことがあります。
- 極端に明るい被写体や屋内の照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が出たりすることがあります。この場合、おまかせ iA モードで撮影するか、マニュアルでシャッター速度を 1/60 または 1/100 に調整してください。

アイリス：

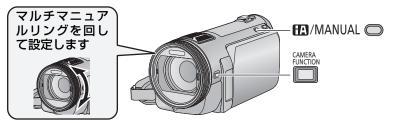
- アイリス調整時に輝度レベルとヒストグラムが表示されます。（P63）
- ゲイン値を上げると、画面にノイズが増えます。
- ズーム倍率によっては、表示されない絞り値（F 値）があります。

マニュアルフォーカスで撮る ビデオ 写真

マルチマニュアルリングを使って、ピントの調整をします。
自動でピントが合いにくいときに、手動で調整してください。

● **モードダイヤルを 🎥 または 📷 に合わせる**

おまかせ iA/ マニュアルボタン、またはカメラファンクションボタンを押してマニュアルモードにする（P68）

● **ファインダー使用時の設定方法は 68 ページを参照してください。**

1 （MF アシストを使う場合）
メニュー設定する

MENU ：「撮影設定」→「MF アシスト」→「入」 ● クイックメニューで設定することもできます。（P32）

● F をタッチして、マニュアルアイコンを表示してください。

2「FOCUS」をタッチする

3「MF」をタッチしてマニュアルフォーカスにする

● **MF** が表示されます。

4 マルチマニュアルリングを回してピントを調整する

ピントの合っている部分が青色で表示されます。
ピント調整操作後の約 2 秒後に通常表示に戻ります。

● ＭＦ アシストを「切」にすると、青色表示されません。
● オートフォーカスに戻すには、手順 3 で「AF」をタッチする、またはおまかせ iA/ マニュアルボタンを押してください。

青色表示部分

お知らせ

● ピント調整中は、マルチマニュアルリングでズーム操作はできません。
● 青色表示は実際に記録される映像には表示されません。

再生操作する

操作アイコンを使ってのビデオ再生操作 ビデオ

基本の再生操作については 29 ページをお読みください。

再生操作	再生表示	操作手順
早送り / 早戻し再生	再生中 ■ ◀◀ ▶/II ▶▶ ▷	**再生中に ▶▶ をタッチすると早送り再生（◀◀ をタッチすると早戻し再生）になります。** ● もう一度タッチすると、早送り / 早戻し速度が速くなります。（画面表示が ▶▶ から ▶▶▶ に変わります） ● ▶/II をタッチすると通常再生に戻ります。
スキップ再生（シーンの頭出し）		再生中に I◀◀ または ▶▶I ボタンを押す（ワイヤレスリモコンでのみ操作） SKIP I◀◀ STOP ■ SKIP ▶▶I
スロー再生	一時停止中 ■ ◀II ▶/II II▶ ▷ ● 操作アイコンを表示させた状態にしておいてください。	**一時停止中に II▶ をタッチし続ける（◀II は逆スロー再生）** タッチしている間スロー再生します。 ● ▶/II をタッチすると通常再生に戻ります。 ● 逆スロー再生は、通常の再生の約 2/3 倍速で連続コマ送り（0.5 秒間隔）されます。
コマ送り再生 映像を1コマずつ再生できます。		**一時停止中に II▶ をポンとタッチする（◀II は逆コマ送り再生）** ● ▶/II をタッチすると通常再生に戻ります。 ● 逆コマ送り再生は、0.5 秒間隔のコマ送りになります。
ダイレクト再生	再生中 ■ ◀◀ ▶/II ▶▶ ▷ ◁ ダイレクト再生バー	**1） ▶ をタッチして、ダイレクト再生バーを表示する** **2） ダイレクト再生バーをタッチ、またはドラッグする（P18）** ● 再生画像が一時停止し、タッチまたはドラッグした位置までスキップします。 ● タッチまたはドラッグしている指を離すと、再生を開始します。 ● 操作アイコンを表示する場合は ◀ をタッチしてください。 ● ダイレクト再生バーはリモコンで操作できません。

ビデオから写真を作成する ビデオ

記録済みのビデオの1コマを写真として保存できます。2.1M（1920×1080）の写真が記録されます。

1 再生中に写真として記録したい場面で一時停止する

- スロー再生やコマ送り再生を使うと便利です。

2 フォトショットボタンを全押しする

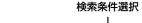
- ビデオが撮影された日時が写真の日時として登録されます。
- 通常の写真撮影時と画質が異なります。

ハイライト＆時間検索 ビデオ

1シーンの映像を設定した検索条件でサムネイル表示します。シーンの途中の見たい場面から再生することができます。

● **ズームレバーまたはピッタリズームボタンを 🔍 側に操作して、サムネイル表示をハイライト＆時間検索に切り換える（P30）**

1 検索条件選択をタッチする

- ▲/▼をタッチすると、次の（前の）シーンを表示します。

2 希望の検索項目をタッチする

3 秒 /6 秒 /12 秒 / 分単位 / 顔認識 / おまかせ

- 「顔認識」を選ぶと、きれいに撮影したと判断した中から、顔認識した部分を抜き出して、サムネイル表示します。
- 「おまかせ」を選ぶと、きれいに撮影したと判断した部分を検出してサムネイル表示します。

3 （手順2で「分単位」を選んだ場合）

▲/▼をタッチして、時間を設定する

- 最大60分まで設定できます。
- 「決定」をタッチしてください。

4 再生を始めたいサムネイルをタッチする

- ◀/▶をタッチすると次の（前の）サムネイルが表示されます。

繰り返し再生 ビデオ

最後のシーンの再生終了後に、最初のシーンの再生を開始します。

MENU :「ビデオの管理」→「リピート再生」→「入」

全画面表示に が表示されます。

- SD カードまたは内蔵メモリー内のすべてのシーンが繰り返し再生されます。（日付別再生のときは、選択されている日付のすべてのシーンが繰り返し再生されます）

前回の続きから再生 ビデオ

途中で停止したシーンをもう一度再生すると、続きからの再生を開始します。

MENU :「ビデオの管理」→「続きから再生」→「入」

再生を停止すると、続きから再生が設定されたシーンのサムネイルに が表示されます。

お知らせ

- 続きから再生の開始位置は、電源を切るかモードダイヤルを切り換えると解除されます。（「続きから再生」の設定は「切」になりません）

再生中の写真を拡大する（再生ズーム）写真

再生中の写真をタッチすると拡大表示することができます。

1 **写真再生中に拡大したい部分をタッチする**
- タッチした部分を中心に拡大表示されます。タッチするごとに拡大表示されます。（1 倍→ 2 倍→ 4 倍）

2 **▲/▼/◀/▶をタッチ、または画面をドラッグ（P18）して拡大部分の位置を移動する**
- 拡大（縮小）時、または表示する位置を移動したときは、約 1 秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。

【拡大表示した写真を縮小するには】

をタッチすると、縮小表示されます。（4 倍→ 2 倍→ 1 倍）

- 1× をタッチすると通常表示（1 倍）になります。

お知らせ

- ズームレバーやピッタリズームボタンでズーム操作することもできます。

いろいろな再生機能

日付別に再生 ビデオ 写真

同じ日に撮影されたシーンまたは写真のみを続けて再生します。

1 日付選択をタッチする

2 再生したい日付をタッチする

同じ日に撮影されたシーンまたは写真のみがサムネイル表示されます。

3 再生を始めたいシーンまたは写真をタッチする

お知らせ

- 電源を切るかモードダイヤルを切り換えると全シーン再生に戻ります。
- 同じ日に撮影されたシーンでも、以下の場合には分かれて表示されます。日付別一覧で表示される日付のあとに -1、-2…が追加されていきます。
  - シーン数が 99 を超えたとき
  - 修復をしたとき
  - インターバル記録をしたとき
- 同じ日に撮影された写真でも、以下の場合には分かれて表示されます。
  - 写真の記録枚数が 999 枚を超えたとき
  - 高速連写で記録したとき（日付別一覧で日付の後ろに ▣ が表示されます）
- ビデオから作成した写真（P73）では、日付別一覧で日付の後ろに ⬇ が表示されます。

顔ハイライト再生 / ハイライト再生 / オートスキップ再生 ビデオ

通常再生以外にも、一部を抜き出して再生できます。

1 [icon] をタッチする

2 希望の再生モードをタッチする

顔ハイライト再生：
長時間撮影したシーンにおいて、きれいに撮影したと判断した中から、顔検出した部分を優先して抜き出し、音楽を付け加えて短時間で再生することができます。

ハイライト再生：
長時間撮影した中から、きれいに撮影したと判断した部分を抜き出し、音楽を付け加えて短時間で再生することができます。

オートスキップ再生：
本機を速く動かしたり、手ブレやピントが合っていないなど、撮影に失敗したと判断されたシーンの一部分を除き、音楽を付け加えて再生することができます。

3 項目をタッチする

●顔ハイライト再生 / ハイライト再生を選んだ場合

シーン設定	：再生したいシーンまたは日付を選択します。（P77）
優先設定※	：再生したい個人認証登録した人物を選択します。（P77）
再生時間設定	：再生する時間を選択します。（P78）
音楽設定	：再生時の音楽を選択します。（P78）

※顔ハイライト再生を選択した場合のみ表示されます。

●オートスキップ再生を選んだ場合

日付設定	：再生したい日付を選択します。（P78）
音楽設定	：再生時の音楽を選択します。（P78）

4 「再生開始」をタッチする

- 顔ハイライト再生、ハイライト再生を選択した場合は再生時間が表示され、再生の一時停止状態になります。

5 再生操作する（P29、72）

- 再生が終了する、または再生を停止すると、「もう一度再生する」、「設定しなおす」、「終了する」を選択する画面が表示されます。お好みの項目をタッチしてください。

お知らせ

- 電源を切るかモードダイヤルを切り換えると、全シーン再生に戻ります。

（ハイライト再生）
- インターバル記録した映像は、ハイライト再生はされません。（P53）

（オートスキップ再生）
- 1 シーンで最大 9 個所までスキップされます。
- スキップするときは一瞬映像が止まります。
- 分割したシーンはスキップされません。
- HD Writer AE 2.6T を使って編集したデータはオートスキップ再生できなくなります。

■ シーン設定

1）「シーン選択」または「日付選択」をタッチする

2）（「シーン選択」を選んだ場合）
再生したいシーンをタッチする

- 最大 99 シーンまで続けて選択できます。
- タッチするとシーンが選択され、√が表示されます。解除するにはもう一度タッチしてください。

（「日付選択」を選んだ場合）
再生したい日付をタッチする

- 最大 7 日まで選択できます。
- タッチすると日付が選択され赤色で囲まれます。解除するにはもう一度タッチしてください。

3）「決定」をタッチする

■ 優先設定

1）「顔指定あり」をタッチする
- 「顔指定なし」をタッチすると、個人認証登録した人物を含む、顔検出した人物が優先されます。

2）（「顔指定あり」を選んだ場合）
指定する顔をタッチする

- 指定できる顔の最大数は6人です。指定した顔が再生時に優先されます。
- タッチすると登録した顔が選択され、赤色で囲まれます。解除するにはもう一度タッチしてください。
- 「決定」をタッチしてください。指定した顔が 1 人の場合は登録名が、複数の場合は人数が表示されます。

■ 再生時間設定

再生時間をタッチする

- 「おまかせ」の再生時間は最大約 5 分です。
- きれいに撮影されたと判断された部分が短い場合、再生時間が設定より短くなったり、再生されない場合があります。

■ 日付設定

再生したい日付をタッチする

■ 音楽設定

1）お好みの音楽をタッチする

- 「音楽なし」を選択した場合は、撮影時の音声を再生します。
- 再生中や試聴中に音楽の音量を調整するには、ボリュームレバーまたはピッタリズームボタンを操作してください。(P30)

2)「決定」をタッチする

（音楽を試聴するには）

「試聴」をタッチする

- 試聴する音楽を変更するには、他の音楽をタッチしてください。
- 「停止」をタッチすると、音楽再生を停止します。

スライドショーの設定をして再生する 写真

1 [icon] をタッチする

2 項目をタッチする

日付設定　　　　　：再生したい日付を選択します。
スライドショー間隔：再生時の表示間隔を選択します。
音楽設定　　　　　：再生時の音楽を選択します。

3 (「日付設定」を選んだ場合)
再生したい日付をタッチする

(「スライドショー間隔」を選んだ場合)
再生間隔をタッチする

短い：約 1 秒
普通：約 5 秒
長い：約 15 秒

(「音楽設定」を選んだ場合)
お好みの音楽をタッチする

- スライドショー中や試聴中に音楽の音量を調整するには、ボリュームレバーまたはピッタリズームボタンを操作してください。(P30)
- 「決定」をタッチしてください。

(音楽を試聴するには)
「試聴」をタッチする

- 試聴する音楽を変更するには、他の音楽をタッチしてください。
- 「停止」をタッチすると、音楽再生を停止します。

4 「再生開始」をタッチする

5 再生操作する（P29）

- 再生が終了する、または再生を停止すると、「もう一度再生する」、「設定しなおす」、「終了する」を選択する画面が表示されます。お好みの項目をタッチしてください。

消去

消去したシーン / 写真は元に戻りませんので、記録内容を十分に確認してから消去の操作を行ってください。

● モードダイヤルを ▶ に合わせる

再生を確認しながら消去するには

消去したいシーン、または写真を再生中に 🗑 ボタンを押してください。

■ 複数のシーンまたは写真を一度に消去する場合

1 サムネイル表示で 🗑 ボタンを押す

2「全消去」または「選択消去」をタッチする

シーンを消去しますか?
(消去したシーンは、もとに戻せません。)
全消去
選択消去
いいえ

- 「全消去」を選ぶと、SD カードまたは内蔵メモリー内のすべてのシーンまたは写真が消去されます。(日付別に再生しているときは、選択している日付のすべてのシーンまたは写真が消去されます)
- プロテクト設定されたシーンまたは写真は消去されません。

3 (手順 2 で「選択消去」を選んだ場合)
消去するシーンまたは写真をタッチする

- タッチするとシーンまたは写真が選択され、🗑 が表示されます。解除するにはもう一度タッチしてください。
- 最大 99 シーンまで続けて選択できます。

4 (手順 2 で「選択消去」を選んだ場合)
「消去」をタッチする、または 🗑 ボタンを押す

- 他のシーンまたは写真も続けて消去するには、手順３～４を繰り返してください。

【消去を途中でやめるには】

消去中に「中止」をタッチする、またはメニューボタンを押す

- 途中まで消去されたシーン / 写真は元に戻りません。

【消去を終了するには】

メニューボタンを押す

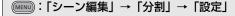
お知らせ

- メニューからも消去できます。
  シーンの消去 ：「シーン編集」→「消去」→「全消去」または「選択消去」
  写真の消去 ：「写真の管理」→「消去」→「全消去」または「選択消去」
- 顔ハイライト再生、ハイライト再生、オートスキップ再生または DVD バーナー接続中のディスク再生にしているときは消去できません。
- 再生できないシーン（サムネイル表示が [!] ）は消去できません。
- 全消去の場合、シーンまたは写真が多数あると消去に時間がかかることがあります。
- 他の機器で記録したシーンや DCF 規格に準拠した写真を本機で消去すると、関連するデータもすべて消去される場合があります。
- 他の機器で SD カードに記録した写真を消去する場合は、本機で再生できない写真（JPEG 以外のファイル）でも消去されることがあります。

シーンの分割消去 ビデオ

シーンから不要な部分を消去するには、分割したあと不要な部分を消去します。

- **モードダイヤルを ▶ に合わせて、プレイモード選択アイコンをタッチして、カード / ビデオ（1080/60p）、内蔵メモリー / ビデオ（1080/60p）、またはカード / ビデオ（AVCHD）、内蔵メモリー / ビデオ（AVCHD）にする（P29）**

1 メニュー設定する

2 分割したいシーンをタッチする

3 ✂ をタッチして分割点を設定する

- スロー再生やコマ送り再生にすると設定しやすくなります。（P72）
- 同じシーンを分割する場合は「はい」を、別のシーンを分割する場合は「いいえ」をタッチして手順 2 ～ 3 を繰り返してください。

4 メニューボタンを押して分割を終了する

5 不要なシーンを消去する（P80）

【分割をすべて解除するには】

「分割」→「全て解除」

- 分割後に消去したシーンは元に戻すことはできません。

お知らせ

- DVDバーナー接続中のディスク再生にしているとき、または 1 つの日付別のシーンが 99 に達した場合は分割できません。
- 記録時間が短いシーンは分割できない場合があります。
- 他の機器で記録や編集したデータは、分割または分割の解除はできません。
- 分割したシーンの個人情報を消去すると、分割を解除したシーンの個人情報は消去されます。

個人情報消去 ビデオ

個人認証されたシーンから個人認証情報を消去します。

● モードダイヤルを ▶ に合わせて、プレイモード選択アイコンをタッチして、カード / ビデオ（1080/60p)、内蔵メモリー / ビデオ（1080/60p)、またはカード / ビデオ（AVCHD)、内蔵メモリー / ビデオ（AVCHD）にする（P29）

1 メニュー設定する

MENU :「ビデオの管理」→「個人情報消去」

2 個人情報を消去したいシーンをタッチする

- 個人認証されたシーンには 👤≡ が表示されます。👤≡ が表示されているシーンをタッチしてください。
- タッチすると 👤≡ が 👤🗑（赤色）になります。解除するにはもう一度タッチしてください。
- 最大 99 シーンまで続けて選択できます。

3「消去」をタッチする、または 🗑 ボタンを押す

- 他のシーンも続けて個人情報を消去するには、手順 2 ～ 3 を繰り返してください。
- メニューボタンを押して個人情報消去を終了してください。

【個人情報消去を途中でやめるには】

消去中に「中止」をタッチする、またはメニューボタンを押す

- 途中まで消去された個人情報は元に戻りません。

お知らせ

- DVD バーナー接続中のディスク再生にしているときは消去できません。

プロテクト ビデオ 写真

誤って消去しないように、プロテクト設定できます。**(プロテクトしていても、SD カードまたは内蔵メモリーをフォーマットした場合は消去されます)**

● モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 メニュー設定する

MENU :「ビデオの管理」または「写真の管理」→「シーンプロテクト」

2 プロテクトするシーンまたは写真をタッチする

- タッチするとシーンまたは写真が選択され、O┳ が表示されます。解除するにはもう一度タッチしてください。
- メニューボタンを押して設定を終了してください。

お知らせ

- DVD バーナー接続中のディスク再生にしているときはプロテクトできません。

DPOF 設定 (ディーポフ) 写真

プリントしたい写真、プリント枚数の情報（DPOF データ）を SD カードに書き込むことができます。(内蔵メモリーに記録されている写真は、SD カードにコピーしてから DPOF 設定してください)

● **モードダイヤルを ▶ に合わせて、プレイモード選択アイコンをタッチしてカード/写真にする** **(P29)**

1 メニュー設定する

MENU :「写真の管理」→「DPOF 設定」→「設定」

2 設定する写真をタッチする

3 プリントする枚数を ▲/▼ をタッチして選ぶ

- 0 から 999 枚まで選べます。(DPOF に対応したプリンターで、設定した枚数をプリントできます)
- 設定を解除するには、0 枚に設定してください。

4 「決定」をタッチする

- 他の写真を続けて設定する場合は、手順 2 ～ 4 を繰り返してください。
- メニューボタンを押して設定を終了してください。

【DPOF 設定をすべて解除するには】

「DPOF 設定」→「全て解除」

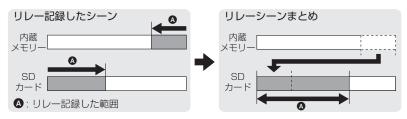
■ DPOF とは

DPOF 対応のシステムで活用できるように、プリント情報を書き込むことができるようにしたものです。

お知らせ

- DVD バーナー接続中のディスク再生にしているときは DPOF 設定できません。
- DPOF 設定で日付プリントを指定することはできません。

リレーシーンまとめ ビデオ

リレー記録（P54）で記録した内蔵メモリーのシーンと、続けて記録した SD カードのシーンを SD カードに 1 つにまとめることができます。

● **モードダイヤルを ▶ に合わせて、プレイモード選択アイコンをタッチして、カード / ビデオ（1080/60p）、内蔵メモリー / ビデオ（1080/60p）、または カード / ビデオ（AVCHD）、内蔵メモリー / ビデオ（AVCHD）にする（P29）**

1 リレー記録した SD カードを入れる

2 メニュー設定する

MENU :「シーン編集」→「リレーシーンまとめ」

3 確認のメッセージが出たら、「はい」をタッチする

- 内蔵メモリーのシーンは消去されます。(内蔵メモリーのシーンがプロテクト設定されている場合は消去されません)

4 リレーシーンまとめ完了のメッセージが出たら、「終了」をタッチする

- SD カードのサムネイル画面が表示されます。
- リレーシーンをまとめると、リレー記録情報は消去され、再度リレー記録を設定することができます。
- リレー記録した内蔵メモリーまたは SD カードのシーンを消去すると、リレーシーンまとめをすることができません。

【リレー記録情報を解除するには】

「シーン編集」→「リレー情報解除」

- リレー情報解除をすると、リレーシーンまとめができなくなります。

SD カードの空き容量が、内蔵メモリーのリレー記録したシーンの容量より少ない場合は、リレーシーンまとめができません。
DVD バーナーや HD Writer AE 2.6T で、リレーシーンをまとめることをおすすめします。

お知らせ

- DVD バーナー接続中のディスク再生にしているときはリレーシーンまとめ、リレー情報解除はできません。
- リレー記録した内蔵メモリーまたは SD カードのシーンの個人情報を消去すると、リレーシーンまとめをしたシーンの個人情報は消去されます。

テレビにつないで見る ビデオ 写真

お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。
接続する端子によって画質が変わります。

高画質 ← HDMI端子 D端子 映像端子

● **付属のAVマルチケーブルを必ずお使いください。AVマルチケーブルでD端子や映像端子につなぐときは出力設定を確認してください。(P87)**
● HDMI端子につなぐときは下記の当社製HDMIミニケーブルをお使いになることをおすすめします。
● 本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影したハイビジョン映像を高画質・高音質で楽しむことができます。

1 本機とテレビをつなぐ

「グッ」と奥まで差し込んで接続してください

HDMI ミニケーブル（別売）は、下記の当社製 HDMI ミニケーブルを推奨します。
品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）

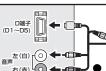
テレビ側の端子

HDMI端子に接続する場合 ハイビジョン画質

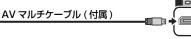
HDMI ミニケーブル（別売）

必ずHDMI入力端子と接続してください

● HDMI 接続時の設定については（P87）
● 5.1ch 音声で聞くには（P87）
● ビエラリンク（HDMI）を使って再生するには（P88）

D端子に接続する場合 D3～D5端子 ハイビジョン画質 D1～D2端子 従来の標準画質

AV マルチケーブル（付属）

● **AV マルチケーブル接続時の設定については（P87）**
● AV マルチケーブルの黄色のプラグは接続不要です。

映像端子に接続する場合 従来の標準画質

AV マルチケーブル（付属）

● **AV マルチケーブル接続時の設定については（P87）**
● AV マルチケーブルの D 端子プラグは接続しないでください。
D 端子プラグを同時に接続すると、映像が表示されない場合があります。

2 テレビの入力切換を選ぶ

- 例：HDMI 端子に接続時「HDMI」、D 端子に接続時「色差ビデオ」、映像端子に接続時「ビデオ 2」（接続するテレビや端子によって入力表示名は変わります）
- テレビの入力設定（入力切換）、音声入力設定を確認してください。（詳しくは、テレビの説明書をお読みください）

3 本機を再生する

■ 画面の比率が 4:3 のテレビで映像を見る場合や画面の端が表示されない場合

メニューの設定を変更すると、映像を正しく表示できるようになります。（テレビの設定を確認してください）

MENU：「セットアップ」→「接続するテレビ」→「4:3」

横縦比 16:9 の映像を 4:3 テレビに映したときの例：

- ワイドテレビではテレビ側の画面モードで調整してください。詳しくは、テレビの説明書をお読みください。

「接続するテレビ」の設定	
ワイド	4:3

テレビ画面に機能表示などを表示するには

ワイヤレスリモコンの表示出力ボタンを押すと、本機の画面に表示されている情報（操作アイコン、カウンター表示など）をテレビ画面に表示 / 非表示することができます。

- 電源を切ると非表示になります。

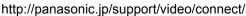
お知らせ

- AV マルチケーブルを本機に接続すると、本機の画面に AV マルチ接続先の設定画面が表示されます。テレビに接続した端子に合わせて、「D 端子」または「映像端子」をタッチしてください。（P87）
- HDMI ミニケーブル、AV マルチケーブルを同時に接続しているときは、HDMI ミニケーブルの出力が優先されます。

当社製テレビの SD カードスロットに、本機で記録した SD カードを直接入れて再生することができます。（2010 年 7 月現在）

- 記録モードによっては再生できない場合があります。

本機で撮影した SD カードを直接入れて再生できるテレビについての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/video/connect/

- 再生操作方法など、詳しくはテレビの取扱説明書をお読みください。

HDMI ミニケーブルで接続時の設定

HDMI 出力の映像方式を切り換えることができます。

MENU :「セットアップ」→「HDMI 出力解像度」→「オート」/「1080p」/「1080i」/「480p」

- 「オート」は接続したテレビからの情報をもとに、自動的に出力解像度を決定します。「オート」に設定していて映像がテレビに出ないときは、「1080p」、「1080i」または「480p」に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。（テレビの説明書もお読みください）
- 以下の場合は、数秒間映像がテレビに表示されません。
  - 撮影モード時に 1080/60p 記録モードを入 / 切したとき
  - 再生モード時に「ビデオ（1080/60p）」をタッチしたとき

5.1ch 音声で聞くには

HDMI ミニケーブルで、本機と 5.1ch 対応の AV アンプ、テレビを接続すると、内蔵マイクで記録した 5.1ch 音声を聞くことができます。
本機と AV アンプ、テレビの接続については AV アンプ、テレビの説明書をお読みください。

- ビエラリンク（HDMI）に対応した当社製 AV アンプと接続すると連動操作（ビエラリンク）が可能になります。（P88）
- 「マイク設定」を「ステレオマイク」に設定して記録した音声、または外部マイクで記録された音声はステレオ（2ch）になります。

AV マルチケーブルで接続時の設定

AV マルチ端子の出力設定を変更することができます。

MENU :「セットアップ」→「AV マルチ接続先」→希望の設定

D 端子　：テレビの D 端子に接続するとき
映像端子：テレビの映像端子に接続するとき

【D 端子の出力設定を変更するには】

MENU :「セットアップ」→「コンポーネント出力」→希望の設定

D1 ：テレビの D1 端子や D2 端子に接続するとき（従来の標準画質で再生されます）
D3 ：テレビの D3 端子、D4 端子や D5 端子に接続するとき（ハイビジョン画質で再生されます）

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)を使って

テレビで再生する ビデオ 写真

ビエラリンク(HDMI)とは

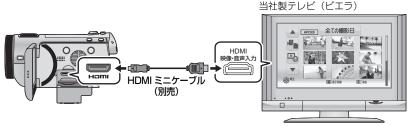
- 本機と HDMI ミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク(HDMI)は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク(HDMI)Ver.5 に対応しています。ビエラリンク(HDMI)Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2009 年 12 月現在)

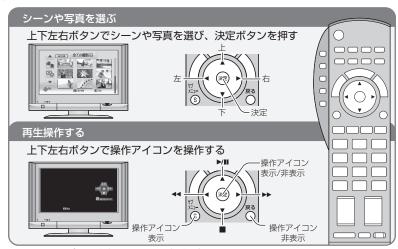
● モードダイヤルを ▶ に合わせる

1 メニュー設定する

MENU :「セットアップ」→「ビエラリンク」→「入」

- ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の設定を「切」にしてください。

2 HDMI ミニケーブルで、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ

- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1 以外に接続することをおすすめします。
- 接続したテレビ側のビエラリンク(HDMI)が働くように設定しておいてください。(設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください)

3 テレビのリモコンで再生操作する

- カラーボタンを押すと以下の操作ができます。
  - 緑：サムネイル表示枚数の切り換え（9 枚→ 20 枚→ 9 枚…）、写真の拡大表示
  - 黄：シーン / 写真の消去
  - 赤：写真の縮小表示

■ その他の連動操作について

電源 OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

HDMI ミニケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）

- テレビの HDMI 端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。

お知らせ

- お使いのテレビやAVアンプがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、接続した当社製機器にビエラリンク（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、それぞれの取扱説明書をお読みください。

- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
  当社製 HDMI ミニケーブルを推奨します。
  品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）

1 3D 映像を撮る ビデオ

本機に 3D コンバージョンレンズ VW-CLT1（別売）を取り付けると、臨場感にあふれた迫力ある 3D 映像を撮影することができます。3D 映像を見るには 3D 対応テレビが必要です。

※イラストはイメージ図です。

- **本機で撮影できる 3D 映像はサイドバイサイド（2 画面構成）方式です。**
- サイドバイサイド方式で3D映像を撮影するため、撮影される3D映像はハイビジョン映像とは画質が異なります。

■ 3D 映像を撮る

3D コンバージョンレンズの取り付けかた、取り付け位置の調整については、3D コンバージョンレンズの取扱説明書をお読みください。

- **本機の電源を切る**
- **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

1 本機に 3D コンバージョンレンズを取り付ける

- レンズフードやフィルター類などと一緒に取り付けることはできません。
- 取り付け時は傾いたりしないよう、しっかりと取り付けてください。
- 3D コンバージョンレンズに付属のレンズフロントキャップを取り付けてください。

2 本機の電源を入れる

- 本機を水平な状態にしてから電源を入れてください。
- 3D コンバージョンレンズ調整モード画面が自動で表示されます。
- **自動的に表示されない場合は、メニューから調整してください。**
  （「セットアップ」→「3D コンバージョンレンズ調整」）
- 電源を入れたときに USB 接続ケーブルが接続されていた場合は、USB 接続が優先されます。

3 画面表示に従い、レンズの取り付け位置を調整する

- 2 画面で表示されます。
- ファインダーで 3D コンバージョンレンズの調整はできません。

4「終了」をタッチして調整を終了する

- 調整後は 1 画面で表示されます。
- [3D]が表示されます。
- **3D コンバージョンレンズを取り付け直した場合や衝撃を与えた場合などは、再度調整することをおすすめします。**

5 撮影する

- レンズフロントキャップを外してから撮影してください。
- 3D コンバージョンレンズ取り付け時はズーム位置が固定になり、ズーム操作ができません。
- 3D 撮影時は、映像の周りに黒枠が表示されます。この黒枠は映像に記録されます。

3D の映像を安全に見るために、撮影時には以下の点にお気をつけください。

- できるだけ本機を水平にして撮影してください。
- 被写体に近づきすぎない。（被写体から 1.2 m 以上離れて撮影してください）
- 本機を動かして撮影するときは、ゆっくりと動かしてください。
- 乗車中や歩行中などは、できるだけ本機を揺らさないようにして撮影してください。

お知らせ

- 安定した映像を撮影するために、三脚の使用をおすすめします。
- ワイヤレスリモコンの使える範囲が狭くなる場合があります。
- 3D コンバージョンレンズの取り付け位置調整時は、エコモードが働きません。
- 3D コンバージョンレンズ取り付け時のオートスローシャッターは、「オートスローシャッター（3D）」になります。「オートスローシャッター（3D）」のお買い上げ時の設定は「入」です。（P58）
- 3D 撮影時には、撮影アシストのメッセージが表示されやすくなります。

■ 3D 撮影時の制限事項

3D コンバージョンレンズを使っての撮影時には、使用できない機能があります。

3D 撮影時に使用できない機能

（ボタン / レバーによる操作）

- ズーム操作※1
- ハイブリッド O.I.S. ※2
- おまかせ iA モード※3
- 追っかけフォーカス
- 1080/60p 記録モード※4
- 写真撮影（写真撮影モード、ビデオ撮影時の写真撮影）
- マニュアル操作※5（フォーカス、シャッター速度、アイリス）
- [EXT DISPLAY](ワイヤレスリモコン)

（セットアップメニュー）

- クイックパワーオン
- クイックスタート
- 初期設定
- 手ブレ補正デモ

（撮影機能）

- コントラスト視覚補正
- 笑顔オートシャッター
- 美肌モード
- テレマクロ
- 撮影ガイドライン
- カラーナイトビュー
- シーンモード
- ズームモード
- デジタルシネマ
- 個人認証
- 名前表示
- 顔検出枠表示
- デジタルシネマカラー
- ズームマイク
- 画質調整
- 輝度表示
- ヒストグラム表示
- 記録画素数
- クオリティ
- MF アシスト

※ 1. ズーム位置は固定になり、ズーム操作はできません。
※ 2. 通常の手ブレ補正 、手振れロック機能 は使用できます。
※ 3. おまかせ iA モードは解除されます。3D コンバージョンレンズを取り外しても、おまかせ iA モードは解除されたままです。おまかせ iA モードに設定するには、おまかせ iA/ マニュアルボタンを押してください。
※ 4. 1080/60p 記録モードは解除され、AVCHD 画質で記録します。3D コンバージョンレンズを取り外しても、AVCHD 画質のままとなります。
※ 5. 白バランスのみ使用できます。 をタッチしてマニュアルアイコンを表示してください。

3D 映像を再生する ビデオ

本機と 3D 対応テレビを接続して 3D 記録したシーンを再生すると、臨場感にあふれた迫力ある 3D 映像を楽しむことができます。

本機で撮影した 3D 映像を再生できる 3D 対応テレビやレコーダーについての最新情報は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/video/connect/

● **モードダイヤルを ▶ に合わせて、プレイモード選択アイコンをタッチして、カード / ビデオ（AVCHD）または内蔵メモリー / ビデオ（AVCHD）にする（P29）**

1 メニュー設定する

MENU :「セットアップ」→「3D テレビ出力」→「3D」

3D: 3D 記録したシーンを 3D で再生します。
2D: 3D 記録したシーンを、3D に対応していないテレビで再生する場合は「2D」に設定してください。

2 本機と 3D 対応テレビをつなぎ、3D 記録したシーンを再生する（P85）

- HDMI ミニケーブル（別売）で、本機と 3D 対応テレビをつないでください。
- 3D 記録されたシーンには、再生時のサムネイル表示に 3D が表示されます。
- 3D 映像と 2D 映像の切り換えが自動で行われます。
- テレビが 3D 映像に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。（詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください）

■ 3D 記録したシーンを 2D（従来の映像）で再生する

MENU :「セットアップ」→「3D テレビ出力」→「2D」

- **3D 対応していないテレビをお使いの場合は「2D」に設定してください。**
- **3D 撮影映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、「2D」に設定してください。**

お知らせ

- 本機の液晶モニターで 3D 映像を再生することはできません。3D で撮影した映像を本機の液晶モニターで再生した場合、2D で再生されます。
- 3D 記録したシーンを日付別再生することもできます。同じ日に撮影されたシーンでも、2D 記録と 3D 記録を切り換えるたびにそれぞれ別の日付として表示されます。(P75)
- 3D 記録したシーンと 2D 記録したシーンを続けて再生する場合は、シーンの切り換わりで数秒間黒画面が表示されることがあります。
- 3D 映像をテレビに出力した場合は、テレビ画面には日時表示のみ表示することができます。日時表示は通常の約 2 倍の大きさで表示されます。
- 1 シーンまたはハイライト& 時間検索のサムネイル表示中は、サムネイルの周りに黒枠が表示されます。9 シーンまたは 20 シーンのサムネイル表示では、修復が行われると黒枠が表示されることがあります。(本機は、異常な管理情報を検出すると、自動でシーン修復を行います)
- 3D 映像のサムネイルを選択時、または 3D 映像再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
- 3D に対応していないテレビに接続して「3D テレビ出力」を「3D」にした場合は、2 画面で再生されます。
- 3D 記録したシーンの再生中は、ビエラリンクのリモコンでの操作ができません。
- お使いの 3D 対応テレビによっては 3D モードへの切り換えが遅く、最初の場面が見えない場合があります。再生の一時停止を利用されると便利です。
- 3D 映像の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。付属のリモコンを使うと離れて操作ができて便利です。

3D 再生時に使用できない / 働かない機能

- ビデオから写真を作成
- ハイライト & 時間検索(顔認識、おまかせ)
- ビエラリンク中の操作アイコン表示と上下左右ボタン機能
- ビエラリンク中の黄色ボタン表示と消去機能(再生中のみ)
- 顔ハイライト再生
- ハイライト再生
- オートスキップ再生

3D 映像を残す ビデオ

DVD バーナーやレコーダー、パソコンを使って、3D 映像を保存することができます。

DVD バーナーでコピーする

- DVD バーナーでのコピーについての詳細は 99 ページをお読みください。

■ 3D 映像のままコピーする

記録画質 :「AVCHD」を選択
本機で 3D 記録したシーンを 3D 映像のままコピー、保存します。映像はサイドバイサイド方式のまま記録されます。

■ 2D 映像に変換してコピーする

記録画質 :「標準（XP/SP)」を選択
本機で 3D 記録したシーンを 2D 映像に変換してコピー、保存します。3D 映像のまま保存することはできません。
- 2D 変換したシーンのサムネイルと映像の周りには黒枠が表示されます。

レコーダーでダビングする

■ ハイビジョン（AVCHD）画質でダビングする（SD カードを直接入れてダビングする・USB 接続ケーブルをつないでダビングする）

- ハイビジョン(AVCHD)画質でのダビングについての詳細は105ページをお読みください。

ハイビジョン（AVCHD）画質でダビングすると、3D 映像を保存することができます。映像はサイドバイサイド方式のまま記録されます。
- ダビングした映像が3D 映像に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。（詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください）

3D 記録したシーンのダビングについて
ダビングできる機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/video/connect/

■ 標準画質でダビングする

- 標準画質でのダビングについての詳細は 107 ページをお読みください。

【3D 映像のままコピーする】

「3D テレビ出力」が「3D」の場合は、サイドバイサイド方式の 3D 映像が録画されます。

MENU :「セットアップ」→「3D テレビ出力」→「3D」

- ダビングした映像が3D 映像に切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。（詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください）

【2D 映像に変換してコピーする】

「3D テレビ出力」を「2D」に設定してください。

MENU :「セットアップ」→「3D テレビ出力」→「2D」

メディア間でコピーする

- メディア間でのコピーについての詳細は 97 ページをお読みください。

■ 3D 映像をコピーする

コピー：「 ▮ ➡ ▮ 」または「 ▮ ➡ ▮ 」を選択

3D 記録したシーンを SD カードと内蔵メモリーの間でコピーすることができます。（「 1080/60p ▮ ➡ ▮ AVCHD 」を選択した場合は 3D 記録したシーンをコピーできません）

- 「ビデオ」→「シーン選択」または「日付選択」→「AVCHD」を選択してください。
- シーン選択時は、サムネイル表示に 3D があるシーンを選択してください。
- 日付選択時は、日付別一覧の 3D がある日付を選択してください。

HD Writer AE 2.6T を使う

- HD Writer AE 2.6T でのコピーについての詳細は 108 ページをお読みください。

3D 記録したシーンを HD Writer AE 2.6T で扱う場合は、以下の操作ができます。

– パソコンにコピーする（3D 映像でコピーされます）
– BD/AVCHD でコピーする（3D 映像でコピーされます）
– DVD ビデオでコピーする（2D 映像に変換されます）
– 編集する（3D 映像は部分削除、分割のみできます）
– ネットで共有（2D 映像に変換してアップロードしてください）
– パソコンで見る（2D 映像として再生されます）

- 3D 記録したシーンをブルーレイディスク（BD）や DVD ディスク、SD カードに書き出すと、サムネイルの周りに黒枠が表示されます。

Mac での使用について

- 3D 記録したシーンは iMovie '09 に対応していません。

SD カード / 内蔵メモリー間で コピーする ビデオ 写真

本機で記録したビデオ / 写真を、本機に入れた SD カードと内蔵メモリーの間でコピーすることができます。

■ コピー先の空き容量を確認する

「メディア情報表示」(P38) で SD カードや内蔵メモリーの空き容量を確認できます。

- SD カードや内蔵メモリーの記録状態により、空き容量のすべてを使用できない場合があります。
- 1枚のSDカードで空き容量が足りない場合は、画面の指示に従って2枚以上のカードにコピーすることができます。この場合、最後にコピーされるシーンはカードの容量に収まるように自動的に分割されます。
- シーンを分割 (P81) して、シーン選択でコピーすると、SD カードや内蔵メモリーの容量に合わせてコピーしたり、必要な個所のみをコピーすることができます。

コピーする

- SDカードに空き容量がほとんどない場合は、SDカードのすべてのデータを消去してコピーするかどうかの確認メッセージが出ます。消去されたデータは元に戻すことができませんので、お気をつけください。
- コピーにかかる時間のめやすは 98 ページをご参照ください。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせる

- 十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。

2 メニュー設定する

MENU :「コピー」

「内蔵 ➡ SD」	: 内蔵メモリーから SD カードにコピーする
「SD ➡ 内蔵」	: SD カードから内蔵メモリーにコピーする
「1080/60p 内蔵 ➡ SD AVCHD」	: 内蔵メモリーに 1080/60p 記録したシーンを通常のシーンに変換して SD カードにコピーする

- リレー記録したシーンがある場合は、メッセージが表示されます。「はい」をタッチして、リレー記録をしたシーンを SD カードにまとめてからコピーしてください。(P84)

3 画面表示に従い、希望の項目をタッチする

- をタッチすると、1 つ前の手順に戻ります。
- （シーン選択時）
  タッチするとシーンが選択され、が表示されます。解除するにはもう一度タッチしてください。
- （日付選択時）
  タッチすると日付が選択され、赤色で囲まれます。解除するにはもう一度タッチしてください。

- 最大 99 シーン /99 日付まで続けて選択できます。
- コピーに必要なSDカードが2枚以上のときは、画面の指示に従ってカードを交換してください。

4 コピー完了のメッセージが出たら、「終了」をタッチする

- コピー先のサムネイル画面が表示されます。

【コピーを途中でやめるには】

コピー中に「中止」をタッチする、またはメニューボタンを押す

コピー時間のめやす

4 GB の容量いっぱいに記録したビデオをコピーした場合：
約 5 分～約 15 分

4 GB の容量いっぱいに 1080/60p 記録したビデオを「1080/60p → AVCHD」した場合：
約 15 分～約 30 分

約 600 MB の写真（記録画素数 14.2M）をコピーした場合：
約 3 分～約 5 分

お知らせ

コピー終了後にビデオや写真を消去する場合は、消去する前に必ずコピーされたビデオや写真を再生して、正常にコピーされていることを確認してください。

- DVD バーナー接続中のディスク再生時はメニュー表示されません。
- 以下の場合、コピーにかかる時間が長くなることがあります。
  – シーン数が多い
  – 本機の温度が高い
- コピー先に記録したビデオや写真がある場合、同一日付になったり、日付別一覧選択時に日付順に表示されない場合があります。
- 他の機器で記録したビデオはコピーできない場合があります。HD Writer AE 2.6T などを使ってパソコンで記録したデータはコピーできません。
- プロテクト設定、DPOF 設定したビデオや写真をコピーしても、コピーされたビデオや写真の設定は解除されます。
- コピーするビデオまたは写真の順番は変更できません。

DVD バーナーをつないで コピー / 再生する ビデオ 写真

DVD バーナー（別売）と本機を、ミニ AB USB 接続ケーブル（DVD バーナーに付属）でつなぐと、本機で記録したビデオや写真を DVD ディスクにコピーできます。また、コピーした DVD ディスクを再生することもできます。
- DVD バーナーの詳しい使用方法は、DVD バーナーの取扱説明書をお読みください。

コピー / 再生の準備をする

当社製 DVD バーナー VW-BN2 を推奨します。（2010 年 7 月現在）
当社で動作確認した DVD バーナー（DVD MULTI ドライブ）、Blu-ray ドライブについての最新情報は下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/video/connect/

■ コピーに使用できるディスクについて

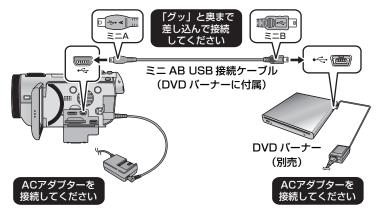
ディスクの種類	DVD-RAM RAM	DVD-RW -RW / +RW +RW	DVD-R -R / DVD-R DL -R DL / +R +R / +R DL +R DL
コピー※ 1	○	○	○
追加コピー※ 2	○	×	×
フォーマット※ 3	○	○	×

※ 1. 新品のディスクを使用してください。DVD-RAM のみ追加でコピーできます。
DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL、+RW、+R、+R DL にコピーすると、ディスクを他の機器で再生できるようにするため、自動でファイナライズされ、追加でコピーできなくなります。
※ 2. DVD バーナーや HD Writer AE 2.6T でコピーした DVD-RAM のみ、追加でコピーできます。
※ 3. 本機と DVD バーナーを接続してフォーマットしてください。使用済みのディスクをフォーマットするとコピーできるようになります。
フォーマットすると、ディスクに記録されているデータはすべて消去されますので、よく確認してからフォーマットしてください。（P104）
- DVD バーナーの推奨ディスクをお使いになることをおすすめします。詳しくは DVD バーナーの取扱説明書をお読みください。

1 DVD バーナーに AC アダプター(DVD バーナーに付属)を取り付ける

- 本機からは電源を供給できません。

2 本機に AC アダプターを取り付けて、モードダイヤルを ▶ に合わせる

3 本機とDVDバーナーをミニAB USB接続ケーブル(DVDバーナーに付属)でつなぐ

4 DVD バーナーにディスクを入れる

- DVD バーナーをお使いの場合、DVD ディスクの記録面を下にして入れてください。

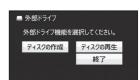
5 項目をタッチする

ディスクの作成：
ディスクにコピーするには(P101)

ディスクの再生：
コピーしたディスクを再生するには(P103)

【DVD バーナーとの接続を終了するには】

「終了」をタッチする

- 本機からミニ AB USB 接続ケーブルを抜いてください。

- 複数の SD カードから 1 枚のディスクへのコピーはできません。(DVD-RAM の場合は追加でコピーできます)
- ビデオと写真、または異なる画質（AVCHD 画質と従来の標準画質）は同じディスクにコピーできません。
- 内蔵メモリーからコピーする場合にリレー記録したシーンがあると、続けて撮影した SD カードのシーンも一緒にディスクにコピーされます。

1 本機と DVD バーナーをつないでコピーの準備をする（P100）

2 「ディスクの作成」をタッチする

3 画面表示に従い、希望の項目をタッチする

- をタッチすると、1 つ前の手順に戻ります。
- (シーン選択時)
  タッチするとシーンが選択され、が表示されます。解除するにはもう一度タッチしてください。
- (日付選択時)
  タッチすると日付が選択され、赤色で囲まれます。解除するにはもう一度タッチしてください。

- 最大 99 シーン /99 日付まで続けて選択できます。

4 「コピー開始」をタッチする

- コピーに必要なディスクが２枚以上のときは、画面の指示に従ってディスクを交換してください。
- 使用済みの DVD-RAM に追加でコピーする場合は、表示枚数より多い枚数が必要になることがあります。
- コピー終了後、ディスクを取り出してください。
- コピーしたディスクを他の機器で再生すると、シーンの一覧表示は日付別に表示されます。

■ ビデオをコピーするときの記録画質について

AVCHD（HA/HG/HX/HE）：

本機で撮影した1080/60p記録したシーンをAVCHD画質に変換してコピーします。通常のシーンは記録時のハイビジョン画質のままコピーします。

- 1080/60p記録したシーンをコピーする場合は記録画質（HA/HG/HX/HE）を選択してください。

「HA」/「HG」/「HX」/「HE」

高画質 ◀━━━━▶ 長時間

標準（XP/SP）：

従来の標準画質に変換してコピーします。

- XP は SP に比べて高画質になるため、データ容量が大きくなり、コピーに必要なディスクの枚数が SP より増える場合があります。

コピー終了後にSDカードまたは内蔵メモリー内のデータを消去する場合は、消去する前に必ずコピーしたディスクを再生して正常にコピーされているか確認してください。（P103）

重要なお知らせ

- 別売のDVDバーナーと本機を接続してビデオをハイビジョン画質でコピーしたディスクは、AVCHD 規格に対応していない機器には入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。
また、AVCHD 規格に対応していない機器では再生できません。
- ビデオまたは写真をコピーしたディスクを他の機器に入れると、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。大切なデータが消去され元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。

ディスクへのコピー時間のめやす

1 枚のディスクの容量いっぱいにビデオをコピーした場合

<table>
<tr><th rowspan="2">ディスクの種類</th><th colspan="3">コピー時間</th></tr>
<tr><th>AVCHD</th><th>標準（XP）</th><th>標準（SP）</th></tr>
<tr><td>DVD-RAM</td><td>約 50 分～
約 1 時間 20 分</td><td rowspan="3">約 1 時間 30 分～
約 2 時間 30 分</td><td rowspan="3">約 3 時間～約 5 時間</td></tr>
<tr><td>DVD-RW※/
+RW※</td><td>約 35 分～
約 1 時間 15 分</td></tr>
<tr><td>DVD-R※/
+R※</td><td>約15分～約45分</td></tr>
</table>

※ コピーするデータの容量が少ないときでも、コピーには上記の表と同じくらいの時間がかかる場合があります。

- 1 枚のディスクに「標準（XP）」は約 1 時間、「標準（SP）」は約 2 時間の標準画質のビデオがコピーできます。

約 600 MB の写真（記録画素数 14.2M）をコピーした場合

ディスクの種類	コピー時間
DVD-RAM/DVD-RW/DVD-R/+RW/+R	約 10 分～約 20 分

約 30 分の 1080/60p 記録したビデオを「AVCHD」/「標準」に変換コピーした場合

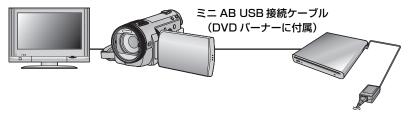
ディスクの種類	コピー時間
DVD-RAM/DVD-RW/DVD-R/+RW/+R	約 45 分～約 1 時間

- DVD-R DL/+R DL は DVD-R/+R の約 2 ～ 3 倍の時間がかかります。
- 以下のような条件やディスクによっては、コピーにかかる時間が上記より長くなる場合があります。コピー終了の表示が出るまでお待ちください。
  – 記録したシーン数が多い場合
  – DVD バーナーの温度が高くなったとき

お知らせ

- **コピーしたディスクは本機と DVD バーナーを接続して再生できます。(一部の当社製ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーで再生することもできます)**
- コピー中は本機やDVDバーナーの電源を切ったり、ミニAB USB接続ケーブルを抜かないでください。また、本機や DVD バーナーに振動を与えないでください。
- コピーを途中でやめることはできません。
- コピーするシーンの順番は変更できません。
- 他の機器で記録したデータはコピーできない場合があります。
- コピーに必要なディスクが2枚以上のとき、ディスクの最後にコピーされるシーンはディスクの容量に収まるように自動的に分割されます。
- シーン分割が自動で行われた場合などは、表示された枚数より多い、または少ない枚数でコピーが終了する場合があります。
- 「標準（XP)」、「標準（SP)」でコピーしたディスクは、顔ハイライト再生、ハイライト再生、オートスキップ再生、ハイライト & 時間検索の「顔認識」と「おまかせ」は選択できません。
- コピー中のコピー残り時間の表示はディスク 1 枚に対してのめやすの時間です。

コピーしたディスクを再生する

- **本機とDVDバーナーを接続してコピーしたディスク、またはHD Writer AE 2.6Tで作成したディスクのみ再生できます。**

1 本機と DVD バーナーをつないで再生の準備をする（P100）

- テレビで見る場合は、本機とテレビを接続コードでつないでください。(P85)

2 シーンまたは写真をタッチして再生する

- 再生の操作方法は、ビデオ再生 / 写真再生と同じになります。(P29、72)
- サムネイル画面で「戻る」をタッチすると、100 ページの手順 5 に戻ります。

お知らせ

- プレイモード選択アイコンをタッチして、再生するメディアを切り換えることもできます。DVD バーナー接続時は、ディスク / ビデオ（AVCHD）またはディスク / 写真が選択できます。
- 4:3 のテレビにつないで再生した場合、左右に黒い帯が出ることがあります。

コピーしたディスクの管理

● 本機と DVD バーナーを接続して、「ディスクの再生」をタッチする（P100）

■ ディスクのフォーマット

DVD-RAM、DVD-RW、+RW のディスクを初期化します。

フォーマットすると、すべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

MENU：「ディスクの管理」→「ディスクフォーマット」

- フォーマット完了後、「終了」をタッチしてメッセージ画面を閉じてください。

お知らせ

- フォーマットは本機と DVD バーナーを接続して行ってください。
  パソコンなど他の機器でフォーマットすると使用できなくなる場合があります。

■ オートプロテクト

DVD-RAM にハイビジョン画質のビデオをコピーする、または DVD-RW にハイビジョン画質のビデオまたは写真をコピーすると、コピー時にプロテクト（ライトプロテクト）します。

1 メニュー設定する

MENU：「ディスクの管理」→「オートプロテクト」→「入」

- 他の機器に入れると、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。誤消去防止のため、「オートプロテクト」を「入」にしてお使いいただくことをおすすめします。

2 ディスクにコピーする（P101）

- コピー完了後、ディスクにライトプロテクトがかかります。

【他の機器で記録できるようにするには】

「ディスクの管理」→「プロテクト解除」

- プロテクト解除を完了後、「終了」をタッチしてメッセージ画面を閉じてください。

■ ディスク情報表示

記録されたディスク種類、シーン数、ファイナライズの状態が表示されます。

MENU：「ディスクの管理」→「ディスク情報表示」

- 終了する場合は、「終了」をタッチしてください。

ブルーレイディスクレコーダーやビデオなどで ダビングする

ハイビジョン画質でダビングする ビデオ 写真

当社製ブルーレイディスクレコーダーやハイビジョン（AVCHD）に対応した DVD レコーダーにダビングできます。

本機で撮影した SD カードを直接入れてダビングできる機器、USB 接続ケーブルでつないでダビングできる機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/video/connect/

1080/60p 記録したシーンのダビングについて

1080/60p 対応した機器にのみダビングできます。1080/60p 非対応の機器と接続すると、1080/60p 記録したシーンは表示されません。ダビングできる機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/video/connect/

■ SD カードを直接入れてダビングする

- 内蔵メモリーのシーンや写真を SD カードにコピーするには（P97）

■ USB 接続ケーブルでつないでダビングする

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。
- **本機の電源を入れる（すべてのモードで使用できます）**

1 本機とブルーレイディスクレコーダーをつなぐ
- 本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

安全上のご注意
はじめに
基本
応用
コピー／ダビング
パソコンで使う
大事なお知らせなど

2 本機の画面上で「レコーダー」をタッチする

- 「レコーダー」以外をタッチした場合は、再度 USB 接続ケーブルを接続し直してください。
- バッテリー使用時は、液晶モニターが約 5 秒後に消灯します。画面をタッチすると点灯します。

3 ダビングするメディアをタッチする

本機の画面表示について

内蔵メモリーにアクセス中は が、SD カードにアクセス中は が表示され、動作中ランプが点灯します。

- 記録内容が失われる原因となりますので、アクセス中はUSB接続ケーブルやACアダプター、バッテリーを外さないでください。

4 ブルーレイディスクレコーダーを操作して、ダビングする

- ダビング中に、本機の画面上の「メディア切換」をタッチしないでください。

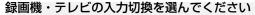
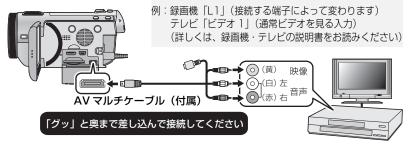
お知らせ

- USB 接続ケーブルは、奥までしっかり差し込んでください。差し込みがゆるいと、正常に機能しません。
- 必ず付属のUSB接続ケーブルをお使いください。(付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません)
- ダビングや再生方法など詳しくは、ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 本機とブルーレイディスクレコーダーをつなぐと、ブルーレイディスクレコーダーと接続したテレビの画面に、ダビング操作の画面が表示される場合があります。その場合でも上記 1 ～ 4 の手順に従って操作してください。
- ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーと接続中は、本機のモードダイヤルを切り換えたり、電源を切ることはできません。USB 接続ケーブルを外してから行ってください。
- バッテリー残量がなくなると、ダビング中にメッセージが表示されます。ブルーレイディスクレコーダーを操作して、ダビングを中止してください。

従来の標準画質でダビングする ビデオ

本機で再生した映像を DVD レコーダーやビデオなどでダビングします。ハイビジョン（AVCHD）対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

例：録画機「L1」（接続する端子によって変わります）
テレビ「ビデオ 1」（通常ビデオを見る入力）
（詳しくは、録画機・テレビの説明書をお読みください）

1 本機と録画機をつないで、本機のモードダイヤルを ▶ に合わせる

2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- 録画（ダビング）を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

お知らせ

- 年月日表示や機能表示が不要な場合は、表示を消しておいてください。（P34、86）

ダビングした映像をワイドテレビで再生すると、縦に引き伸ばされた映像になる場合があります。この場合は、ダビングされる機器の説明書をご確認いただくか、またはワイドテレビの説明書をお読みになり 16:9（フル）に設定してください。

パソコンでできること

■ 付属の CD-ROM の内容

HD Writer AE 2.6T

ビデオや写真のデータをパソコンの HDD にコピーしたり、ブルーレイディスク（BD）や DVD ディスク、SD カードにコピーできます。HD Writer AE 2.6T の詳しい使いかたについては、取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

● すいすいウィザード

HD Writer AE 2.6T がインストールされたパソコンに本機を接続すると(P115)、すいすいウィザードの画面が自動で表示されます。

パソコンにコピー： ビデオや写真をパソコンの HDD にコピーできます。

ディスクにコピー： ハイビジョン画質や従来の標準画質（MPEG2 形式）でディスクにコピーできます。

- 希望する項目を選び、画面表示に従っていくと簡単にコピーすることができます。

できること	データの種類	使うソフトウェア
パソコンにコピー	ビデオ 写真	**付属の CD-ROM：** HD Writer AE 2.6T
BD/AVCHD でコピーする		
DVD ビデオでコピーする： ● 従来の標準画質(MPEG2 形式)に変換されます。	ビデオ	
編集する： パソコンの HDD にコピーされたビデオのデータを編集できます。 ● タイトル追加・切替効果・部分消去・分割 ● ビデオのデータを MPEG2 形式に変換 ● ビデオから静止画切り出し		
ネットで共有： インターネット上にビデオをアップロードして、家族や友人と共有できます。		
パソコンで見る： パソコンでハイビジョン画質のまま再生できます。		
ディスクの初期化： 使用するディスクによってはフォーマットが必要です。		

できること	データの種類	使うソフトウェア
パソコンで再生する	写真	HD Writer AE 2.6T または Windows 標準の画像ビューアや市販の画像閲覧ソフト
パソコンに写真をコピーする（P117）		Windowsエクスプローラ
Mac をお使いの場合は 119 ページをご覧ください。		

重要なお知らせ

- **パソコンでSDXCメモリーカードをご使用の際は、下記サポートサイトをご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/sd_w/
- **HD Writer AE 2.6TでAVCHD記録したディスクは、AVCHD規格に対応していない機器には入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。**
  また、AVCHD 規格に対応していない機器では再生できません。
- **ビデオをコピーしたディスクを他の機器に入れると、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。大切なデータが消去され元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。**

お知らせ

- **本機の内蔵メモリーにパソコンからのデータの書き込みはできません。**
- **他の機器で記録したビデオの取り込みはできません。以前に発売された当社製ハイビジョンビデオカメラで撮影したビデオを取り込むには、その機器に付属の HD Writer をお使いください。**
- 本機付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して、本機にビデオのデータの読み書きを行った場合の動作は保証しません。
- 本機付属のソフトウェアと他のソフトウェアを同時に起動しないでください。本機付属のソフトウェアを起動する場合は他のソフトウェアを、他のソフトウェアを起動する場合は本機付属のソフトウェアを終了してください。

■ 変換アシスト機能とは

記録画質を変換してメディアに書き出す場合は、本機とパソコンを USB 接続ケーブルでつなぐと、本機と HD Writer AE 2.6T の連携機能「変換アシスト機能」が働きます。「変換アシスト機能」を利用すると、メディアに書き出す時間が、パソコンのみの場合より速くなります。

- 本機とパソコンの接続のしかたについては 115 ページ をお読みください。
- 詳しくはソフトウェアの取扱説明書をお読みください。（P118）

動作環境

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- インストールには CD-ROM ドライブが必要です。(BD/DVD 書き込みには、対応したドライブとメディアが必要です)
- 以下の場合は動作を保証しません。
  – 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブや USB 延長ケーブルを使用して接続している場合
  – OS のアップグレード環境の場合
- Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windows Me、Windows NT および Windows 2000 には対応していません。

■ HD Writer AE 2.6T の動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Microsoft Windows XP (32bit) Home Edition Service Pack 2/Service Pack 3 Microsoft Windows XP (32bit) Professional Service Pack 2/Service Pack 3 Microsoft Windows Vista (32bit) Home Basic Service Pack 1/Service Pack2 Microsoft Windows Vista (32bit) Home Premium Service Pack 1/Service Pack2 Microsoft Windows Vista (32bit) Business Service Pack 1/Service Pack2 Microsoft Windows Vista (32bit) Ultimate Service Pack 1/Service Pack2 Microsoft Windows 7 (32bit) Starter Microsoft Windows 7 (32bit/64bit) Home Basic Microsoft Windows 7 (32bit/64bit) Home Premium Microsoft Windows 7 (32bit/64bit) Professional Microsoft Windows 7 (32bit/64bit) Ultimate
CPU	Intel Pentium 4 2.8 GHz 以上の CPU（互換 CPU を含む） ● 再生機能 /MPEG2 出力機能を使用する場合は、Intel Core 2 Duo 2.16 GHz 以上、または AMD Athlon 64 X2 Dual-Core 5200+ 以上を推奨 ● 編集機能、静止画連続再生を使用する場合は、Intel Core 2 Quad 2.6 GHz 以上を推奨 ● 1080/60p の再生、編集機能を使用する場合は、Intel Core i7 2.8 GHz 以上を推奨
メモリ	Windows 7 : 1 GB 以上 (32bit)、2 GB 以上 (64bit) Windows Vista : 1 GB 以上 Windows XP : 512 MB 以上（1 GB 以上を推奨）

ディスプレイ	High Color（16bit）以上（32bit 以上を推奨） デスクトップ領域 1024×768 以上（1280×1024 以上を推奨） Windows Vista/Windows 7: DirectX 9.0c に対応したビデオカード (DirectX 10 に対応したビデオカードを推奨) Windows XP: DirectX 9.0c に対応したビデオカード DirectDraw のオーバーレイに対応 PCI Express™ ×16 対応を推奨
ハードディスクドライブ	Ultra DMA–100 以上 450 MB 以上の空き容量（インストール用） ● BD/DVD/SD 書き込みするときは、作成するディスク容量の 2 倍以上の空き領域が必要です。複数のDVDに自動で分割しながら書き出すときは、17 GB の空き領域が必要です。
サウンド	DirectSound 対応
インターフェース	USB 端子（ハイスピード USB（USB2.0））
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス インターネット接続環境

- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。
- 日本語以外の言語の文字入力はサポートしておりません。
- すべての DVD ドライブについて動作を保証するものではありません。
- Windows XP Media Center Edition、Tablet PC Edition、Windows Vista Enterprise および Windows 7 Enterprise での動作は保証しません。
- マルチブート環境には対応していません。
- マルチモニター環境には対応していません。
- Windows XP は管理者アカウントのユーザーでのみ使用可能です。Windows Vista/Windows 7 は管理者および標準アカウントのユーザーでのみ使用可能です。（インストール、アンインストールは管理者アカウントのユーザーで行ってください）

■ HD Writer AE 2.6T をお使いになるには

お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。動作環境および注意事項をよくお読みください。

お知らせ

- CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ビデオカードのドライバーは常に最新の状態でお使いください。
- パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してお使いください。空き容量が少なくなると、操作ができなくなったり、動作が停止する場合があります。

■ カードリーダー機能（マスストレージ）の動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Microsoft Windows XP (32bit) Home Edition Service Pack 2/Service Pack 3 Microsoft Windows XP (32bit) Professional Service Pack 2/Service Pack 3 Microsoft Windows Vista (32bit) Home Basic Service Pack 1/Service Pack 2 Microsoft Windows Vista (32bit) Home Premium Service Pack 1/Service Pack 2 Microsoft Windows Vista (32bit) Business Service Pack 1/Service Pack 2 Microsoft Windows Vista (32bit) Ultimate Service Pack 1/Service Pack 2 Microsoft Windows Vista (32bit) Enterprise Service Pack 1/Service Pack 2 Microsoft Windows 7 (32bit) Starter Microsoft Windows 7 (32bit/64bit) Home Basic Microsoft Windows 7 (32bit/64bit) Home Premium Microsoft Windows 7 (32bit/64bit) Professional Microsoft Windows 7 (32bit/64bit) Ultimate
CPU	Windows Vista/Windows 7: Intel Pentium III 1.0 GHz 以上 Windows XP: Intel Pentium III 450 MHz 以上、または Intel Celeron 400 MHz 以上
メモリ	Windows 7: 1 GB 以上 (32bit)、2 GB 以上 (64bit) Windows Vista Home Basic: 512 MB 以上 Windows Vista Home Premium/Business/Ultimate/Enterprise: 1 GB 以上 Windows XP: 128 MB 以上（256 MB 以上を推奨）
インターフェース	USB 端子
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

- OS 標準ドライバーで動作します。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアをインストールするときは、ユーザー名を「Administrator」(もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名)にしてパソコンにログオンしてください。(権限がない場合はシステム管理者にご相談ください)

- インストールを始める前に他の起動中のソフトウェアをすべて終了し、インストール中に他の作業をしないでください。
- 操作手順と画面は Windows Vista での説明となります。

1 CD-ROM をパソコンに入れる

- 自動で以下の画面が表示されます。「setup.exe の実行」→「続行」をクリックしてください。
- Windows 7をお使いの場合、または自動で以下の画面が表示されない場合は、「スタート」→「コンピュータ」を選び(またはデスクトップの「コンピュータ」をダブルクリックして)、「Panasonic」をダブルクリックしてください。

2「次へ」をクリックする

3「使用許諾契約」をよく読んで同意される場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックをつけて「次へ」をクリックする

4 インストール先のフォルダを選び、「次へ」をクリックする

5 ショートカットを作成するか選ぶ

- お使いのパソコンの処理能力によっては、ご利用の環境での再生に関するメッセージが表示されることがあります。確認後、「OK」をクリックしてください。

6 インストールが完了すると制限事項が表示されます。
内容を確認し、ウィンドウ右上の「×」をクリックする

7 **「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックをつけて、「完了」をクリックする**

インストール完了後、パソコンを再起動してください。

■ HD Writer AE 2.6T をアンインストールするには

ソフトウェアが不要になったときは、以下の方法でアンインストールしてください。

1 **「スタート」→**
「コントロールパネル」→
「プログラムのアンインストール」を選ぶ

2 **「HD Writer AE 2.6T」を選び、「アンインストール」をクリックする**

- 画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。
- ソフトウェアをアンインストールしたときは、パソコンを再起動してください。

パソコンと接続する

- ソフトウェアのインストール後に接続を行ってください。
- 付属 CD-ROM がパソコンに入っている場合は、取り出してください。

1 AC アダプターを取り付ける

- バッテリー使用時でもパソコンと接続して使うことができますが、本機にデータを書き込むことはできません。AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。
- 変換アシスト機能を使う場合は、AC アダプターを取り付けて接続してください。

2 本機の電源を入れる

- すべてのモードで使用できます。

3 本機とパソコンをつなぐ

- 本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

4 本機の画面上で「パソコン」をタッチする

- HD Writer AE 2.6T をインストールしているときは、すいすいウィザードの画面が自動で表示されます。
- 本機が自動的にパソコンの外付けドライブとして認識されます。(P117)
- 「パソコン」以外をタッチした場合は、再度 USB 接続ケーブルを接続し直してください。
- バッテリー使用時は、液晶モニターが約 5 秒後に消灯します。画面をタッチすると点灯します。

お知らせ

- 必ず付属のUSB接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません）
- **パソコンと接続中は、電源を切ることはできません。USB 接続ケーブルを外してから行ってください。**
- 本機にアクセスしている間は、動作中ランプが点灯します。SD カードにアクセスしている間は が、内蔵メモリーにアクセスしている間は が本機の画面に表示されます。アクセス中はUSB 接続ケーブルや AC アダプターを外さないでください。
- パソコンと SD カードのデータを読み書きするときに、パソコンに内蔵されている SD カードスロットやお使いの SD カードリーダーライターでは SDHC メモリーカードや SDXC メモリーカードに対応していない場合があります。
- パソコンで SDXC メモリーカードをご使用の際は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/

■ USB 接続ケーブルを安全に外すには

1）パソコンの画面でタスクトレイの アイコンをダブルクリックする
- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。

2）「USB 大容量記憶装置」を選び、「停止」をクリックする

3）「MATSHITA HDC-TM750/SD USB Device」または「MATSHITA HDC-TM750/MEM USB Device」が選ばれていることを確認し、「OK」をクリックする

パソコンでの表示について

本機をパソコンと接続すると、パソコンの外付けドライブとして認識されます。

- リムーバブルディスク（例：CAM_SD (G:)）が「コンピュータ」に表示されます。

> ビデオデータをコピーや書き戻しする場合は、HD Writer AE 2.6T を使用することをおすすめします。
> Windows エクスプローラなどで、本機で記録したフォルダやファイルのコピー、移動、名前の変更をすると HD Writer AE 2.6T で使用できなくなります。
> また、本機の内蔵メモリーにパソコンからのデータの書き込みはできません。

SD カードのフォルダ構造例：

内蔵メモリーのフォルダ構造例：

以下が記録されます。

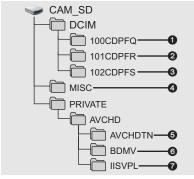
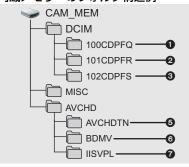
❶ JPEG 規格の写真(最大で 999 枚記録できます。(「S1000001.JPG」など)
❷ 高速連写で撮影した JPEG 規格の写真
❸ ビデオから作成した JPEG 規格の写真
❹ DPOF 設定データ
❺ ビデオのサムネイル
❻ AVCHD 規格のビデオデータ（「00000.MTS」 など）
❼ オートスキップ再生するためのデータ

■ 写真をパソコンにコピーするには

カードリーダー機能（マスストレージ）

［エクスプローラ］などで本機で記録した写真をパソコンにコピーできます。

1）写真が保存されているフォルダ（「DCIM」→「100CDPFQ」など）をダブルクリックする

2）コピー先のフォルダ（パソコンの HDD）に写真ファイルをドラッグ & ドロップする

お知らせ

- SD カード内のフォルダをパソコン上で消去しないでください。本機で読み込めなくなる場合があります。
- パソコン上で本機が対応していないデータを記録した場合、本機では認識できません。
- SD カードのフォーマットは必ず本機で行ってください。

HD Writer AE 2.6T を起動する

- Windows XP をお使いの場合：
  HD Writer AE 2.6T を使うときは、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）にしてパソコンにログオンしてください。これ以外のユーザー名でログオンした場合は、ソフトウェアを使用することはできません。
- Windows Vista/Windows 7 をお使いの場合：
  HD Writer AE 2.6T を使うときは、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）または標準ユーザーアカウントのユーザー名にしてパソコンにログオンしてください。GUEST アカウントのユーザーでログオンした場合は、ソフトウェアを使用することはできません。

（パソコンで）

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「HD Writer AE 2.6T」→「HD Writer AE」を選ぶ

- ソフトウェアの詳しい使いかたについては、ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

ソフトウェアの取扱説明書を読む

- 取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「HD Writer AE 2.6T」→「取扱説明書」を選ぶ

Mac をお使いの場合

- HD Writer AE 2.6T は Mac で使用できません。
- iMovie '09 に対応しています。iMovie '09 の詳細は Apple にお問い合わせください。
- 1080/60p 記録したシーンは Mac に取り込むことができません。
  「1080/60p ➡ AVCHD」で通常のシーンに変換してから取り込んでください。（P97）

■ 動作環境

対応パソコン	Mac
対応 OS	Mac OS X 10.5.8 Mac OS X 10.6
CPU	Intel® Core™ Duo Intel® Core™2 Duo
メモリ	1 GB 以上
インターフェース	USB 端子

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- OS 標準ドライバーで動作します。
- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。

■ 写真をパソコンにコピーするには

1 本機とパソコンを USB 接続ケーブルで接続する

- 本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

2 本機の画面上で「パソコン」をタッチする

- 本機が自動的に Mac の外付けドライブとして認識されます。
- 「パソコン」以外をタッチした場合は、再度 USB 接続ケーブルを接続し直してください。
- バッテリー使用時は、液晶モニターが約 5 秒後に消灯します。画面をタッチすると点灯します。

3 デスクトップに表示される「CAM_SD」または「CAM_MEM」をダブルクリックする

- 「DCIM」フォルダ内の「100CDPFQ」や「101CDPFR」フォルダなどに写真ファイルが保存されています。

4 取り込みたい画像の入っているフォルダや写真ファイルをパソコン上の別のフォルダにドラッグ & ドロップする

■ USB 接続ケーブルを安全に外すには

デスクトップに表示されている「CAM_SD」または「CAM_MEM」を「ゴミ箱」に捨ててから、USB 接続ケーブルを取り外す。

お知らせ

- 本機とパソコンをUSB接続ケーブルで接続しているときは、本機からSDカードを抜かないでください。

画面の表示

■ 撮影表示

（ビデオ撮影モード時）

（写真撮影モード時）

[バッテリー]	バッテリー残量（P13）
1 時間 30 分	バッテリー残量時間（P13）
残1時間20分	残り記録可能時間（P24）
0h00m00s	撮影経過時間（P24）

（h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です）

15:30 2010.12.15	時刻（P20） 年月日（P20）
[飛行機]	ワールドタイム設定（P33）

HA1920 / HG1920 / HX1920 / HE1920
記録モード（P52）

1080/60p	1080/60p 記録（P45）
[内蔵メモリー]	内蔵メモリー記録可能状態
[カード]（白） [カード]（緑）	カード記録可能状態 カード認識中
●/❚❚（赤）	記録中
❚❚（緑）	撮影の一時停止中
PRE-REC	PRE-REC（P47）
[↔]	インターバル記録（P53）
MNL	マニュアルモード（P68）

iA / iA / [i] / [i] / [i] / [i] / [i] / [i] / [i]
おまかせ iA（P27）

[F] / [F]	操作アイコン表示 / 非表示（P46）
MF	マニュアルフォーカス（P71）

AWB / / / / / / /
白バランス設定（P69）

1/100	シャッター速度（P70）
OPEN/F2.0	絞り値（P70）
0dB	ゲイン値（P70）

/ / / / / / / / / / /
シーンモード（P51）

+2 / +1 / -1 / A
パワー LCD（P36）

/ / / / 1 / 2 / /
手ブレ補正（P42、92）/ 手振れロック機能（P43、92）

追っかけ / [追っかけ]	追っかけフォーカス（P44）
⇨ [カード]	リレー記録（P54）
[ゼブラ]	ゼブラ（P62）
[画質調整]	画質調整（P62）
[デジタルシネマ]	デジタルシネマ（P53）
[高速連写]	高速連写（P66）
[デジタルシネマカラー]	デジタルシネマカラー（P59）
AF*	AF 補助光（P67）
ZOOM	ズームマイク（P60）

表示	内容
	ガンマイク（P60）
2ch	ステレオマイク（P60）
	風音キャンセラー（P60）
+3dB / +6dB / LOW CUT	バスコントロール（P61）
/	笑顔オートシャッター機能（P48）
	マイクレベル（P61）
	逆光補正（P49）
	美肌モード（P49）
	テレマクロ（P50）
W / B	フェード（白）/ フェード（黒）（P47）
	カラーナイトビュー（P50）
	コントラスト視覚補正（P47）
i	暗部補正（P49）
99% ↑	輝度レベル（P63）

○（白）/ ●（緑）/ / / / /
シャッターチャンスマーク（P25）

表示	内容
10 / 2	セルフタイマー（P49）
/ A /	フラッシュ（P48）
+ / −	フラッシュ明るさ（P48）
	赤目軽減（P49）
/	クオリティ（P65）

12.2M / 7.7M / 4.9M / 0.3M / 14.2M / 8.6M / 5.5M / 13.3M / 8.3M / 5.3M / 2.1M
写真の記録画素数（P26、64、66、73）
他の機器で記録した写真は、上記以外のサイズの場合は再生時にサイズ表示されません。

表示	内容
残 3000	写真の残り記録可能枚数（P26）
（白） （赤）	写真記録アイコン 写真記録中
MEGA	MEGA OIS（P25）
3D	3D 記録（P91）

■ 再生表示

▶/❚❚/▶▶/ ▶▶▶ /◀◀/ ◀◀◀ /▶❙/❙◀/ ▶▶❙/❙◀◀/❙▶/◀❙/❚❚▶/◀❚❚
再生中表示（P29、72）

表示	内容
/	操作アイコン表示 / 非表示(P29)
0h00m00s	再生時間（P29）
No.10	シーン番号
	リピート再生（P74）
	続きから再生（P74）
100-0001	写真フォルダ / ファイル名
1	DPOF 設定済み（1 枚以上に設定）（P83）
	プロテクト設定済み（P82）
1080/60p	1080/60p 記録したシーン（P29）
AVCHD	AVCHD 記録したシーン（P29）
	リレー記録したシーン（P54）
	インターバル記録したシーン(P53)
	笑顔オートシャッターで記録したシーン（P48）
3D	3D 記録したシーン（P93）

■ 他機器接続表示

表示	内容
	カードアクセス中（P116）
	内蔵メモリーアクセス中(P116)

■ 確認表示

表示	内容
-- (時刻表示)	内蔵日付用電池が消耗したとき（P20）
!	対面撮影時の警告（P19）
	SD カードが入っていないとき、または使用不可カード

■ DVD バーナー接続時の確認表示

表示	内容
	ディスク再生（P103）
XP	「標準（XP）」でコピーしたシーン
SP	「標準（SP）」でコピーしたシーン

RAM / -RW / -R / -R DL / +RW / +R / +R DL
ディスクの種類（P99）

表示	内容
	使用不可ディスク

メッセージ表示

文章で画面に表示される、主な確認 / エラーメッセージの例です。

定期的に内蔵メモリーのバックアップをとることをお勧めします。

内蔵メモリーに記録したビデオや写真は、定期的にパソコンやDVDディスクなどにコピーしてください。（P99、108）このメッセージは内蔵メモリーの異常をお知らせするものではありません。

カードを確認してください。

非対応のカード、または本機で認識できないカードを入れています。
SD カードにビデオや写真が記録されているのにこの表示が出る場合は、SD カードの状態が不安定になっていることが考えられます。SD カードを挿入し直して、電源を入れ直してください。

このバッテリーは使えません。

- 本機で使用できるバッテリーをお使いください。（P11）本機に対応したパナソニック製バッテリーをお使いの場合は、バッテリーを外し、再び取り付けてください。何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
- 本機に対応していないACアダプターをお使いの場合は、付属のACアダプターをお使いください。（P13）

外部ドライブまたはディスクを確認してください。

本機と DVD バーナーを接続して使えないディスクを入れているか、DVD バーナーが正しく認識されていません。ミニ AB USB 接続ケーブルを接続し直して、コピーに使用できるディスクを入れてください。（P99）

修復について

異常な管理情報を検出するとメッセージが表示され、修復が行われます。
（エラー内容によっては時間がかかることがあります）

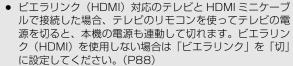
修復の必要なシーンがあります。修復するために再生してください。
（修復できないシーンは消去されます。）

- シーンをサムネイル表示したときに異常な管理情報を検出すると、上記メッセージが表示されます。サムネイル表示の [!] のシーンをタッチして再生し修復してください。ただし、**修復ができなかった場合は、[!] のシーンは消去されます。**

お知らせ

- 十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- データの状態によっては、完全には修復できないことがあります。
- 修復に失敗すると、電源が切れる前に撮影したシーンが再生できなくなります。
- 他の機器で記録されたデータを修復すると、本機や他の機器で再生できなくなる場合があります。
- 修復に失敗したときは、本機の電源を切ってしばらくしてから電源を入れ直してください。何度も繰り返し修復に失敗するときは、本機でフォーマットしてください。フォーマットするとすべてのデータは消去され元に戻すことはできません。
- サムネイル情報が修復されると、サムネイルの表示が遅くなる場合があります。

故障かな!? と思ったら

こんなときは？	ご確認ください
電源が入らない 電源が入ってもすぐに切れる バッテリーの消耗が早い	● 再度バッテリーを十分に充電してください。（P11） ● 低い温度のところでは使用できる時間が短くなります。 ● 十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
電源が勝手に切れる	● ビエラリンク（HDMI）対応のテレビと HDMI ミニケーブルで接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は「ビエラリンク」を「切」に設定してください。（P88） ● 本機と DVD バーナーを接続してコピーや再生などを行っているとき（ディスクアクセス中）に、ミニ AB USB 接続ケーブルを外すと自動的に電源が切れます。
本機を振ると「カタカタ」音がする	● これはレンズが移動する音です。故障ではありません。電源を入れて、モードダイヤルを または に合わせると音はしなくなります。
バッテリー残量時間が正しく表示されない	● バッテリー残量表示はめやすです。バッテリー残量が正しく表示されない場合は、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。
電源が入っているのに何も操作できない 正常に動作しない	● バッテリーやACアダプターを外して1分程度たってから、再度バッテリーや AC アダプターを取り付け、さらに 1 分程度たってから電源を入れ直してください。（内蔵メモリーや SD カードにアクセス中に上記の操作を行うと、データが破壊されることがあります） ● それでも正常に動作しない場合は、電源を外して、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは？	ご確認ください
タッチしたものと違うものが選択される	● タッチパネル調整をしてください。（P38）
ワイヤレスリモコンが働かない	●「セットアップ」メニューの「リモコン」が「切」になっています。（P39） ● リモコンのコイン電池が消耗している可能性があります。新しいコイン電池と交換してください。（P39）
機能表示（残量表示、カウンター表示など）が出ない	●「セットアップ」メニューの「画面表示」が「切」になっています。（P33）
撮影が勝手に止まってしまう	● ビデオ撮影に使用可能なSDカードをお使いください。（P14） ● データ書き込み速度の低下、または記録・消去の繰り返しにより記録可能時間が短くなる場合があります。本機で SD カードまたは内蔵メモリーをフォーマットしてください。（P37） ●「うっかり撮り防止」を「入」にしている場合は、正しく真正面に向けて撮影するか、「切」にしてください。（P58）
自動でピントが合わない	● おまかせ iA モードにしてください。 ● オートフォーカスでピントが合いにくい場面（P28）を撮影しているときは、手動でピントを合わせてください。（P28、71）
体育館などで撮影すると映像の色合いがおかしい	● 体育館やホールなどの光源が複数ある場所では、白バランスの設定を「（屋内 2）」に合わせてください。「（屋内 2）」でうまく撮れないときは「（セットモード）」にしてください。（P69）
シーンや写真が再生できない	● サムネイルが [!] のシーンや写真は再生できません。

こんなときは？	ご確認ください
テレビと正しく接続しているのに映像が出ない 映像が縦長になる	● テレビの説明書をご覧になり、接続した端子に入力切換してください。 ● 「接続するテレビ」の設定がお使いのテレビに合っているか確認してください。(P86) ● テレビと接続するケーブルによって本機の設定を変更してください。(P87)
シーンなどの消去ができない	● プロテクトを解除してください。(P82) ● サムネイル表示が [!] のシーン/写真は消去できないことがあります。不要な場合は SD カードまたは内蔵メモリーをフォーマットしてください。(P37) フォーマットすると SD カードまたは内蔵メモリーに記録されているすべてのデータは消去されます。大切なデータはパソコンやディスクなどに保存しておいてください。
本機にSDカードを入れても認識しない	● パソコンでフォーマットした SD カードを入れると認識しない場合があります。SD カードをフォーマットする場合は本機で行ってください。(P37)
他の機器にSDカードを入れても認識しない	● SD カードを挿入されている機器が、ご使用の SD カードの容量、または種類 (SD メモリーカード /SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカード) に対応しているかご確認ください。詳しくは、お使いの機器の説明書をお読みください。
画面の色合いや明るさが変わったり、画面に横帯が出る 室内で液晶モニターがちらつく	● 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で撮影すると画面の色合いや明るさが変わったり、画面に横帯が出たりしますが故障ではありません。 ● ビデオ撮影モード時は、おまかせ iA モードで撮影するか、シャッター速度を関東地方など 50 Hz の地域では 1/100 秒、関西地方など 60 Hz の地域では 1/60 秒に設定してください。 ● 写真撮影モード時は、撮影する画像には影響しません。
被写体がゆがんで見える	● 本機の撮像素子にMOSを使用しているため、被写体がすばやく横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。

こんなときは？	ご確認ください
撮影した写真にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる	● 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
「電源を入れ直してください。」と表示される	● 本機が異常を検出しました。電源を入れ直して本機を再起動させてください。 ● 電源を入れ直さなかった場合は、約 1 分後に電源が切れます。 ● 再起動させても何度も繰り返し表示されるときは、修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
ビエラリンク（HDMI）が働かない	（本機の設定） ● HDMI ミニケーブル（別売）で接続してください。（P88） ● 「ビエラリンク」の設定を「入」にしてください。（P88） ● 本機の電源を入れ直してください。 （他機の設定） ● テレビの入力切換が自動で切り換わらない場合は、テレビのリモコンを使って入力切換をしてください。 ● 接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。 ● 接続した機器の取扱説明書もお読みください。
USB 接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない	● 本機の SD カードを入れ直してから、付属の USB 接続ケーブルを再度接続し直してください。 ● パソコンに複数の USB 端子がある場合は、USB 端子を変更してください。 ● 動作環境を確認してください。（P110、P119） ● パソコンを再起動して本機の電源を入れ直してから、付属の USB 接続ケーブルを再度接続し直してください。
USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	● USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイの アイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。

こんなときは？	ご確認ください
DVD バーナーの電源が入らない	● DVD バーナーと接続時は、本機と DVD バーナーの両方にそれぞれに付属している AC アダプターを取り付けて使用してください。
HD Writer AE 2.6T の取扱説明書（PDF ファイル）が見られない	● HD Writer AE 2.6T の取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

■ 他の機器で再生すると、シーンの切り換わりがスムーズにできない場合について

以下のような場合には、複数のシーンを連続して再生したときに、シーンの切り換わりで数秒間画像が静止することがあります。

- シーンの連続再生のスムーズさは再生する機器に依存します。再生する機器によっては、下記の条件に該当しない場合でも一瞬映像が静止することがあります。
- 4 GB を超えてビデオを連続記録したデータを他の機器で再生した場合、4 GB ごとに映像が一瞬止まることがあります。
- HD Writer AE 2.6T でシーンの編集を行った場合にも、スムーズに再生できないことがありますが、HD Writer AE 2.6T で「シームレス設定」をすると、スムーズに再生できるようになります。詳しくはHD Writer AE 2.6Tの取扱説明書をお読みください。

スムーズに再生されない主な条件
● 違う日付で記録した場合
● 3 秒未満のシーンを記録した場合
● PRE-REC を使って記録した場合
● インターバル記録をした場合
● シーンを消去した場合
● SD カード / 内蔵メモリー間でシーンを選んでコピーした場合
● 本機と DVD バーナーを接続して、シーンを選んでディスクにコピーした場合
● 同じ日付で 99 シーンを超える記録をした場合

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 危険

■ **指定以外のバッテリーパックを使わない**
■ **バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない**
■ **バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
■ **電子レンジやオーブンなどで加熱しない**
■ **バッテリーパックを炎天下(特に真夏の車内)など、高温 になるところに放置しない**

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、137ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠ 危険

ACアダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーパックは、本機専用のACアダプターで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

・煙が出たり、異常なにおいや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水や異物が入った
・電源プラグが異常に熱い
・本体やACアダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

● ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
● 電源を切り、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V～240 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない

感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

コイン電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状況に十分注意する。

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

⚠警告

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠注意

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

コイン電池は誤った使いかたをしない

・指定以外のコイン電池を使わない
・⊕と⊖は逆に入れない
・加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
・ネックレスなどの金属物といっしょにしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60 ℃以上）になります。本機やバッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災･感電の原因になることがあります。

フラッシュやAF補助光発光中に、近くで発光部を直接見ない
フラッシュを人の目に近づけて発光しない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- カードは、保護のため取り出しておいてください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

⚠注意

3Dの撮影について

■ 3Dコンバージョンレンズをしっかり固定し、不安定な取り付けでは使用しない

■ 3Dコンバージョンレンズを調整せずに使用しない

正しい3D映像が撮影できなくなり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

● 3Dコンバージョンレンズを取り外した場合、再度取り付けたときに調整することをおすすめします。

3Dコンバージョンレンズを付けて最短撮像距離より近い被写体を撮影しない

3D効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

● 本機の最短撮像距離は約1.2 mです。

3Dコンバージョンレンズを付けて撮影の際、本機の揺れに注意する

車に乗車中や歩行中などの大きな揺れは、疲労感、不快感の原因になることがあります。

● 本機を動かして撮影するときは、ゆっくりと動かしてください。
● 三脚での使用をおすすめします。

3Dの視聴について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D撮影映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

● 適度な休憩をとってください。

⚠注意

3Dの視聴について

3D撮影映像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

■ 近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する
■ 3D撮影映像を視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら使用を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影映像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

3D撮影映像を3D対応テレビで見る場合は、画面の有効高さの3倍以上離れて見る

（推奨距離の目安）: 42型 約1.6 m程度　46型 約1.7 m程度
50型 約1.9 m程度　54型 約2.0 m程度
推奨距離より近い距離でのご使用は、視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

使用上のお願い

本機について

使用中は本体やSDカードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。（SD カードの出し入れ時はお気をつけください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障する恐れがあります。

お手入れ

お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障する恐れがあります。
- 本機は業務用ではありません。

長期間使用しない場合について

- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機で内蔵メモリーの「フォーマット」や「消去」をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、内蔵メモリー内のデータは完全には消去されません。市販のデータ復元（修復）ソフトなどで、データを復元される場合があります。
- 廃棄 / 譲渡の際は、本機の内蔵メモリーを物理フォーマットすることをおすすめします。
  物理フォーマットするには、本機をACアダプターとつないで、メニューから「セットアップ」→「フォーマット」→「内蔵メモリー」を選び、下記の画面で消去ボタンを約 3 秒間押し続けます。
  内蔵メモリーデータ消去の画面が表示されますので、「はい」を選び、画面の指示に従ってください。

- 内蔵メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後 5 分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。
また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを外して保管する

- 付けたままにしておくと、本機の電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 端子部に金属が触れないようにビニールの袋に入れて保管してください。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度 : 40%RH ～ 60%RH です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温･多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、本機で充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の 3 ～ 4 倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。

- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P143）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体やACアダプターに付けると、本体や AC アダプターをいためます。

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。

充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ : http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン
電池使用

本機で使用できるバッテリーについて

- 専用バッテリー（VW-VBG130/VW-VBG260/VW-VBG6）以外に当社が認定する他社製バッテリーについては、当社ホームページでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/info/cer_battery.html
  なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質・性能・安全性などについては、当社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。
  品質・性能・安全性などについては、その製造者が責任を負います。

AC アダプターについて

- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
- 充電ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーや AC アダプターの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。
  ごみや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから取り除いてください。
  それでも充電ランプが点滅する場合は、温度が高すぎるまたは低すぎるか、バッテリーまたはACアダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています）
- AC アダプター、バッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

SD カードについて

- SD カードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護･管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。
- SD カードに強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 電気ノイズや静電気、本機やSDカードの故障などにより SD カードのデータが壊れたり、消失することがあります。
- 長時間ご使用になると本機表面や SD カードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

SD カードにアクセス中（ 表示中や動作中ランプ点灯中）は、以下の動作を行わない

– SD カードを抜く
– 電源を切る
– USB 接続ケーブルを抜き差しする
– 振動や衝撃を与える

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
- 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、本機でメモリーカードを物理フォーマットすることをおすすめします。
  物理フォーマットするには、本機を AC アダプターとつないで、メニューから「セットアップ」→「フォーマット」→「カード」を選び、下記の画面で消去ボタンを約 3 秒間押し続けます。SD カードデータ消去の画面が表示されますので、「はい」を選び、画面の指示に従ってください。

- メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

取り扱い上のお願い

- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- 次のような場所に置かない。
  – 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  – 湿気やほこりの多いところ
  – 温度差の激しいところ（つゆつきが発生します）
  – 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに収める。

液晶モニター / ファインダーについて

- 液晶面が汚れたときは、めがねふきのような柔らかい布でふいてください。
- 液晶モニターをつめを立ててタッチしたり、強い力でこすったり、押したりしないでください。
- 液晶保護シートをはると、見えにくくなったり、タッチしても認識しにくくなることがあります。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。めがねふきのような柔らかい布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニター / ファインダーの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。
液晶モニター / ファインダーのドットについては99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下でドット欠けや常時点灯するものがあります。また、これらのドットは映像には記録されませんのでご安心ください。

個人情報について

個人認証機能を設定した場合、本機内および撮影した映像に個人情報が含まれます。
- 修理依頼または譲渡/廃棄されるときは、個人情報保護のため、個人情報を消去してください。（P82）

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が「つゆつき」です。
つゆつきが起こっていると、レンズがくもったり、正常に動作しない場合があります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

- 下記のように温度差、湿度差があると起こります。
  - 寒い屋外（スキー場のゲレンデなど）から暖かい屋内に持ち込んだとき
  - 冷房の効いた車などから車外へ持ち出したとき
  - 寒い部屋を急に暖房したとき
  - エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
  - 夏の夕立のあと
  - 湯気がたち込めるなど湿度の高いところ（温水プールなど）

寒いところから暖かいところなどの温度差の激しい場所へ持ち込むときは

例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密封してください。約 1 時間その状態で、移動先の室温になじませてからご使用ください。

レンズがくもっているときの処置

バッテリーや AC アダプターを外して、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

別売品のご紹介

本機では以下の別売品がお使いいただけます。

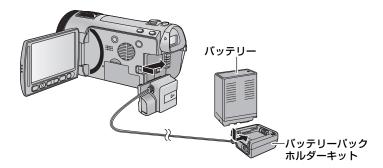
品名 (品番)

- AC アダプター (VW-AD21-K ※1)
- バッテリーパック (VW-VBG130/VW-VBG260/VW-VBG6 ※2)
- バッテリーパックホルダーキット (VW-VH04)
- カーバッテリーチャージャー (VW-KBG1)
- ワイドコンバージョンレンズ (VW-W4607H)
- ワイドエンドコンバージョンレンズ (VW-WE08H ※3)
- 3D コンバージョンレンズ (VW-CLT1)
- フィルターキット (VW-LF46N ※4)
- ショルダーベルト (VW-CMD2)
- ソフトバッグ (VW-SB051/VW-SBJ3)
- ソフトケース (VW-SCGS5 ※5/VW-SCDJ3 ※5)
- ビデオ DC ライト (VW-LDC103)
- ビデオ DC ライト用交換ランプ (VZ-LL10)
- ステレオマイクロホン (VW-VMS2 ※6)
- シューアダプター (VW-SK12)
- 標準三脚 (VW-CT45)
- ミニ AB USB 接続ケーブル (VW-CUS2)
- HDMI ミニ端子用ケーブル (RP-CDHM15/RP-CDHM30)
- DVD バーナー (VW-BN2)

※ 1. VW-AD21-K に付属の DC コードは、本機で使用できません。
※ 2. VW-VBG6 を使うには、バッテリーパックホルダーキット VW-VH04 が必要です。
※ 3. VW-WE08H をお使いの場合、ズームを W（広角）側にしてお使いください。
T（望遠）側にするとピントが甘くなりますので、T（望遠）側で撮影する場合は VW-WE08H を外してご使用ください。
※ 4. VW-LF46N をお使いの場合、付属のレンズフードを外し、フラッシュの設定を ⚡（切）にしてお使いください。
※ 5. 3D コンバージョンレンズ VW-CLT1 を装着したまま収納することはできません。
※ 6. 外部マイクが映り込むことがあります。ズームを W（広角）側にして、外部マイクを映り込まない位置まで上向きにしてからお使いください。記録する音声には影響ありません。

別売品の品番は、2010 年 7 月現在のものです。変更されることがあります。

バッテリーパックホルダーキットについて

バッテリーパックホルダーキット VW-VH04 は図のように取り付けてください。

- DC コードを液晶モニターで挟まないようにしてください。

ワイドコンバージョンレンズ / ワイドエンドコンバージョンレンズ / フィルターキットについて

ワイドコンバージョンレンズVW-W4607H やワイドエンドコンバージョンレンズVW-WE08H、フィルターキット VW-LF46N の ND フィルターや MC プロテクターは、レンズ前部に取り付けてください。

- レンズフードの前部に取り付けることはできません。
- フラッシュが使用できなくなります。フラッシュの設定を ⚡ (切) にしてください。(P48)

お気をつけください

NDフィルターとワイドコンバージョンレンズなどを２枚重ねて取り付けることもできますが、ズームを W 側にすると、四隅が暗くなる（ケラレ）場合がありますので、おすすめできません。

フィルターキット VW-LF46N に付属のレンズキャップを付ける（外す）には

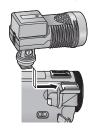
フィルターキット VW-LF46N を使用する場合、本機を使用しないときは、レンズ保護のため、フィルターキットに付属しているレンズキャップを付けてください。

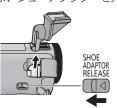
シューアダプターに別売品を取り付けるには

ビデオ DC ライト VW-LDC103 などを取り付けるところです。

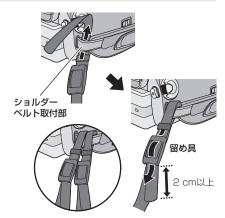
1）シューアダプターカバーを開く

2）シューアダプターを本機に取り付ける

3）ビデオ DC ライトを取り付ける

■ シューアダプターを外すには

シューアダプター取外しレバーをスライドさせたまま、シューアダプターを外す

ショルダーベルトについて

ショルダーベルト VW-CMD2 を、図のように二重になっている部分の間にとおして取り付けることができます。

- もう一方も同様に取り付けてください。

海外で使う

■ 撮ったものを海外で見るには

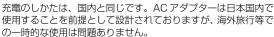
AV マルチケーブルでテレビに接続して見る場合は、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像 / 音声入力端子付テレビが必要です。

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

■ AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

充電のしかたは、国内と同じです。AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

● ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ
北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東･アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

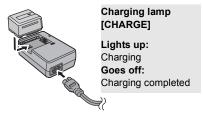
タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

Quick Reference Guide

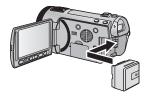
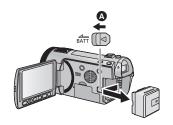
Power supply

■ Charging the battery

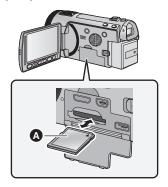
Charging lamp [CHARGE]

Lights up:
Charging
Goes off:
Charging completed

1. **Connect the AC cable to the AC adaptor and the AC outlet.**
2. **Insert the battery into the AC adaptor by aligning the arrows.**

■ Inserting/removing the battery

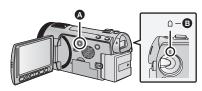
Install the battery by inserting it in the direction shown in the figure.

[Removing the battery]

- Move the BATTERY lever A in the direction indicated by the arrow and remove the battery when unlocked.

Inserting/removing an SD card

1. **Open the LCD monitor.**
2. **Open the SD card/terminal cover and insert (remove) the SD card into (from) the card slot.**

- Face the label side A in the direction shown in the illustration and press it straight in as far as it will go.
- Press the center of the SD card and then pull it straight out.

3. **Securely close the SD card/terminal cover.**

Turning the unit on/off

■ Turning the unit on and off with the power button

Press the power button A to turn on the unit.

[To turn off the unit]
Hold down the power button until the status indicator B goes off.

■ Turning the unit on and off with the LCD monitor/viewfinder

[To turn on the unit]

Open the LCD monitor or extend the viewfinder.

[To turn off the unit]

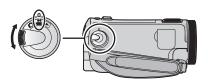
Close the LCD monitor and retract the viewfinder.

In the following cases, opening the LCD monitor or extending the viewfinder does not turn on the unit. Press the power button to turn on the unit.

– When the unit is purchased
– When you have turned off the unit using the power button

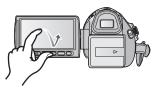
Selecting a mode

Change the mode to recording or playback.

Operate the mode dial to change the mode to , or .

	Motion picture recording mode
	Still picture recording mode
	Playback mode

How to use the touch screen

You can operate by directly touching the LCD monitor (touch screen) with your finger.
It is easier to use the stylus pen (supplied) for detailed operation or if it is hard to operate with your fingers.

Touch and release the touch screen to select icon or picture.

Switching the language

1 Press the MENU button, then touch [セットアップ (SETUP)] Ⓐ.

2 Touch [LANGUAGE].

3 Touch [English].

4 Touch [EXIT] or press the MENU button to exit the menu screen.

Recording

■ Recording motion pictures

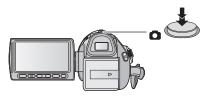
- **Change the mode to** [motion picture icon] **.**
- **Press the MENU button, then touch [MEDIA SELECT] → [VIDEO/SD CARD] or [VIDEO/Built-inMemory].**

1 Press the recording start/stop button to start recording.

2 Press the recording start/stop button again to pause recording.

■ Recording still pictures

- **Change the mode to** [camera icon] **.**
- **Press the MENU button, then touch [MEDIA SELECT] → [PICTURE/SD CARD] or [PICTURE/Built-inMemory].**

Press the [[camera icon]] (PHOTO SHOT) button to take the picture.

Playback

- **Change the mode to** [playback icon] **.**

1 Touch the play mode select icon Ⓐ to select desired media to be played back motion pictures or still pictures.

- Touch [SD CARD]/[1080/60p], [SD CARD]/[AVCHD] or [SD CARD]/[PICTURE] to play back the SD card.
- Touch [Built-inMemory]/[1080/60p], [Built-inMemory]/[AVCHD] or [Built-inMemory]/[PICTURE] to play back the built-in memory.

2 Touch the scene or the still picture to be played back.

3 Select the playback operation by touching the operation icon.

Motion picture playback	
▶/❚❚	: Playback/Pause
◀◀	: Review playback
▶▶	: Fast forward playback
■	: Stops the playback and shows the thumbnails

Still picture playback	
▶/❚❚	: Slide show start/pause
◀❚❚	: Plays back the previous picture
❚❚▶	: Plays back the next picture
■	: Stops the playback and shows the thumbnails

- Touch [icon] / [icon] to display/not-display the operation icon.

著作権について

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、 ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition　Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- “x.v.Color” は商標です。
- LEICA/ ライカはライカマイクロシステムズ IR GmbH の登録商標です。
- DICOMAR/ ディコマーはライカカメラ AG の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®およびWindows Vista®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Intel®、Core™、Pentium® および Celeron® は、Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- AMD Athlon™ は Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- iMovie、Mac は 米国 および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PowerPC は 米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com) をご参照ください。

記録可能時間のめやす

- SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。記載している時間は連続記録可能時間のめやすです。

記録モード		1080/60p	HA	HG	HX	HE
画素数		1920 × 1080	1920 × 1080	1920 × 1080	1920 × 1080	1920 × 1080
SD カード	4 GB	約 19 分	約 30 分	約 40 分	約 1 時間	約 1 時間 30 分
	8 GB	約 40 分	約 1 時間	約 1 時間 20 分	約 2 時間	約 3 時間 20 分
	16 GB	約 1 時間 20 分	約 2 時間	約 2 時間 40 分	約 4 時間 10 分	約 6 時間 40 分
	32 GB	約 2 時間 40 分	約 4 時間 10 分	約 5 時間 30 分	約 8 時間 20 分	約 13 時間 40 分
	48 GB	約 4 時間	約 6 時間 20 分	約 8 時間 10 分	約 12 時間 30 分	約 20 時間 20 分
	64 GB	約 5 時間 20 分	約 8 時間 30 分	約 11 時間	約 16 時間 50 分	約 27 時間 30 分
内蔵メモリー	96 GB	約 8 時間 10 分	約 12 時間 40 分	約 16 時間 30 分	約 25 時間 20 分	約 41 時間 10 分

- 長時間撮影する場合は、撮影したい時間の３～４倍のバッテリーを準備してください。(P12)
- お買い上げ時の設定は「HX」です。
- 1 シーンの最大連続記録時間：12 時間
- 1 シーンの記録時間が 12 時間になると撮影を一度停止し、数秒後に自動で撮影が再開されます。
- 動きの激しい被写体を記録した場合、記録可能時間は短くなります。
- 短いシーンの撮影を繰り返すと、記録可能時間が短くなる場合があります。
- DVD ディスク 1 枚 (4.7 GB) にコピーできる時間は、上記の表の 4 GB をめやすにしてください。

写真の記録可能枚数

- SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。記載している枚数は記録可能枚数のめやすです。

(写真撮影モード時)

画像横縦比		4:3							
記録画素数		12.2M 4032×3024		7.7M 3200×2400		4.9M 2560×1920		0.3M 640×480	
クオリティ									
SD カード	512 MB	70	110	110	180	180	290	3600	6100
	1 GB	140	220	220	360	360	580	7400	12000
	2 GB	300	450	450	740	740	1200	15000	25000
	4 GB	610	940	940	1500	1500	2400	30000	50000
	8 GB	1200	1900	1900	3000	3000	4800	60500	102000
	16 GB	2500	3900	3900	6200	6200	9700	122000	205000
	32 GB	5000	7900	7900	12500	12500	19500	246000	414000
	48 GB	7200	11000	11000	18000	18000	28000	364000	613000
	64 GB	10000	15800	15800	25000	25000	39000	492000	829000
内蔵メモリー	96 GB	15000	23700	23700	37500	37500	58500	738000	899100

画像横縦比		3:2					
記録画素数		14.2M 4608×3072		8.6M 3600×2400		5.5M 2880×1920	
クオリティ							
SD カード	512 MB	60	90	100	160	160	250
	1 GB	120	180	200	320	320	500
	2 GB	240	390	400	650	650	1000
	4 GB	500	800	850	1300	1300	2000
	8 GB	1000	1600	1700	2700	2700	4200
	16 GB	2100	3300	3400	5500	5500	8500
	32 GB	4200	6700	7000	11000	11000	17500
	48 GB	6200	9800	10000	16000	16000	25000
	64 GB	8400	13400	14000	22000	22000	35000
内蔵メモリー	96 GB	12600	20100	21000	33000	33000	52500

画像横縦比		16:9					
記録画素数		13.3M 4864×2736		8.3M 3840×2160		5.3M 3072×1728	
クオリティ							
SD カード	512 MB	65	100	100	160	160	270
	1 GB	130	200	200	320	320	540
	2 GB	270	400	400	700	700	1100
	4 GB	550	850	850	1420	1420	2200
	8 GB	1100	1700	1700	2800	2800	4500
	16 GB	2200	3400	3400	5600	5600	9000
	32 GB	4500	7000	7000	11500	11500	18200
	48 GB	6600	10000	10000	17000	17000	26000
	64 GB	9000	14000	14000	23000	23000	36400
内蔵メモリー	96 GB	13500	21000	21000	34500	34500	54600

（ビデオ撮影モード時）

画像横縦比		16:9					
記録画素数		13.3M 4864×2736		8.3M 3840×2160		2.1M 1920×1080	
クオリティ							
SD カード	512 MB	65	100	100	160	440	690
	1 GB	130	200	200	320	900	1400
	2 GB	270	400	400	700	1800	2800
	4 GB	550	850	850	1420	3600	5600
	8 GB	1100	1700	1700	2800	7300	11000
	16 GB	2200	3400	3400	5600	14000	23000
	32 GB	4500	7000	7000	11500	29000	46000
	48 GB	6600	10000	10000	17000	44000	69000
	64 GB	9000	14000	14000	23000	59000	93000
内蔵メモリー	96 GB	13500	21000	21000	34500	89000	140000

- **、が混在している場合や撮影される被写体によっては、写真の記録可能枚数は変動します。**
- 写真の残り記録可能枚数の表示は最大 99999 枚です。残り記録可能枚数が 99999 枚を超える場合、写真を記録しても表示は 99999 枚未満になるまで変わりません。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

デジタルハイビジョンビデオカメラ

電源 DC 9.3 V（AC アダプター使用時）/7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力 録画時： 4.7 W

信号方式：1080/60p、1080/60i

記録規格：1080/60p; 独自規格、HA/HG/HX/HE; AVCHD 規格準拠

撮像素子：1/4.1 型 MOS 固体撮像素子× 3
総画素 ；約 305 万× 3
有効画素 ビデオ；約 253 万× 3（16:9）
写真 ；約 232 万× 3（4:3）、約 263 万× 3（3:2）、
約 253 万× 3（16:9）

レンズ ：自動絞り光学 12 倍電動ズーム、テレマクロ付き（フルレンジ AF）
F1.5 ～ F2.8（f = 3.45 mm ～ 41.4 mm）
35 mm 換算 ビデオ；35 mm ～ 420 mm（16:9）
写真； 38.8 mm ～ 466 mm(4:3)、35.7 mm ～ 428 mm(3:2)、
35 mm ～ 420 mm（16:9）
最短撮像距離 通常時 ；約 4 cm（WIDE 端）/ 約 1.2 m（TELE 端)
テレマクロ時 ；約 70 cm（TELE 端)
iA マクロ時 ；約 1 cm（WIDE 端）/ 約 70 cm（TELE 端)

フィルター径：46 mm

ズーム ：光学 12 倍・iA 18 倍・デジタル 30 倍 /120 倍

手ブレ補正 ：光学式（ハイブリッド手ブレ補正、アクティブモード搭載、手振れロック機能搭載）

モニター ：3 型ワイド液晶モニター（約 23 万ドット）

ファインダー：0.27 型ワイド EVF（約 12.3 万ドット）

マイク ：5.1ch サラウンドマイクロホン（ズームマイク / ガンマイク機能付き）

スピーカー：丸型　ダイナミック型　1 個

白バランス調整：自動追尾ホワイトバランス方式

標準被写体照度：1400 lx

最低照度：約 1.6 lx（シーンモードローライト 1/30 時）、カラーナイトビュー時　約 1 lx

AV マルチ端子映像出力：
　D 端子用映像出力
　　Y；1.0 Vp-p 75 Ω　　Pb；0.7 Vp-p 75 Ω　　Pr；0.7 Vp-p 75 Ω
　映像端子用映像出力
　　1.0 Vp-p 75 Ω　NTSC 方式

HDMI ミニ端子映像出力：HDMI™（x.v.Color™）1080p/1080i/480p

AV マルチ端子音声出力：316 mV　出力インピーダンス 600 Ω　2ch

ヘッドホン出力：77 mV　32 Ω 負荷時（ステレオミニジャック）

HDMI ミニ端子音声出力：Dolby Digital/ リニア PCM

マイク入力：－ 70 dBV（マイク感度－ 50 dB 相当　0 dB=1 V/Pa 1 kHz）（ステレオミニジャック）

USB：
　リーダーライター機能
　　SD カード　；読み込み / 書き込み（著作権保護機能無し）
　　内蔵メモリー；読み込みのみ
　ハイスピード USB（USB 2.0）、mini-AB 端子
　Host 機能（DVD バーナー用）

フラッシュ：使用可能範囲；約 1 m ～ 2.5 m

外形寸法（突起部含む）：幅 66 mm× 高さ 69 mm× 奥行き 138 mm

本体質量：約 380 g（バッテリー含まず）

使用時質量：約 440 g（バッテリー使用時）

許容動作温度：0 ℃～ 40 ℃

許容相対湿度：10%RH ～ 80%RH

バッテリー持続時間：12 ページを参照してください。

■ 3D コンバージョンレンズ（別売）使用時

レンズ：
　F3.2
　f = 2.5 mm（35 mm 換算；58 mm）
　最短撮像距離；約 1.2 m

最低照度：約 28 lx（オートスローシャッター（3D）「入」1/30 時）

■ ビデオ

記録メディア：
SD メモリーカード（FAT12、FAT16 形式に対応）
SDHC メモリーカード（FAT32 形式に対応）
SDXC メモリーカード（exFAT 形式に対応）
本機で使用できる SD カードについては、14 ページを参照してください。
内蔵メモリー；96 GB

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

記録モード：
1080/60p ；約 28 Mbps（VBR）
HA ；約 17 Mbps (VBR)
HG ；約 13 Mbps (VBR)
HX ；約 9 Mbps (VBR)
HE ；約 5 Mbps (VBR)
記録可能時間は 148 ページを参照してください。

記録画素数：
1080/60p ；1920×1080/60p
HA/HG/HX/HE；1920×1080/60i

音声圧縮形式：Dolby Digital/5.1ch（内蔵マイク）、2ch（内蔵 / 外部マイク）
ドルビーデジタル 5.1 クリエーター搭載

■ 写真

記録メディア：
SD メモリーカード（FAT12、FAT16 形式に対応）
SDHC メモリーカード（FAT32 形式に対応）
SDXC メモリーカード（exFAT 形式に対応）
本機で使用できる SD カードについては、14 ページを参照してください。
内蔵メモリー；96 GB

圧縮方式：JPEG（DCF/Exif2.2 準拠）、DPOF 対応

記録画素数：
画像横縦比 [4:3] ；4032×3024 画素 /3200×2400 画素 /2560×1920 画素 / 640×480 画素
画像横縦比 [3:2] ；4608×3072 画素 /3600×2400 画素 /2880×1920 画素
画像横縦比 [16:9]；4864×2736 画素 /3840×2160 画素 /3072×1728 画素 / 1920×1080 画素
記録可能枚数は 149 ページを参照してください。

AC アダプター

電源	AC 100 V ― 240 V　50/60 Hz
入力容量	25 VA（AC 100 V 時）/34 VA（AC 240 V 時）
DC 出力	DC 9.3 V　1.2 A（ビデオカメラ）
充電出力	DC 8.4 V　0.65 A（充電）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理･使いかた･お手入れなどは・・・

■ まず､お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは・・・

「メッセージ表示」「故障かな！？と思ったら」（122～127ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルハイビジョンビデオカメラ
●品　番	HDC-TM750
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　8年

当社は、このデジタルハイビジョンビデオカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	住所
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241 （函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

地区	拠点	電話番号	所在地
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 0510

さくいん

英・数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で
「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためて
プレゼントに応募！アンケートにもご協力をお願い申し上げます。

PC http://club.panasonic.jp/

携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで！

■ 撮りかたのコツや新製品情報	http://panasonic.jp/
■ サポート情報	http://panasonic.jp/support/
■ 便利なビデオカメラ修理サービス	http://panasonic.jp/dvc/repair/

愛情点検 **長年ご使用のデジタルハイビジョンビデオカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やACアダプターが破損した ・その他の異常や故障がある

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

F0710MU1070 (1000 Ⓑ)